

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査②－

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

飯岡沢田遺跡

飯岡才川遺跡

向中野館遺跡

細谷地遺跡

矢盛遺跡

南仙北遺跡

2009.3

独立行政法人 都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査②－

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

飯岡沢田遺跡

飯岡才川遺跡

向中野館遺跡

細谷地遺跡

矢盛遺跡

南仙北遺跡

2009.3

独立行政法人 都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である零石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その骨格は、約400年前に南部氏により築城された盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、零石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工されています。

それに伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備事業によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行っており、現在もなお継続しているところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成5年度から12年度に実施した発掘調査のうち、稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡の調査成果について報告するものです。区画整理事業及び発掘調査は現在も継続中ではありますが、不幸なことに平成12年12月に当市文化財調査室が火災のため全焼し、整理・収蔵中であった当該調査資料の多くが罹災しております。本書は、残存した調査資料をまとめて作成したものですが、市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るためにご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成21年3月

盛岡市教育委員会

教育長 八巻 恒雄

例　言

- 1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・飯岡新田・南仙北に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に伴い平成5年度から12年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち稲荷遺跡、本宮熊堂A遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡、飯岡沢田遺跡、飯岡才川遺跡、向中野館遺跡、細谷地遺跡、矢盛遺跡、南仙北遺跡の調査成果を報告する。
- 2 本書の編集は盛岡市遺跡の学び館が行い、資料整理作業を今野公顯（平成19年度）・津嶋知弘（平成20年度）が、編集・執筆作業を津嶋知弘が主に担当した。
- 3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した（一部調査を除く）。
 - ・調査座標軸は、日本測地系第X系に準じる
 - ・調査座標原点

稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B・野古A遺跡	X -35,000 Y +25,000 → RX ± 0 RY ± 0
飯岡沢田遺跡	X -35,550 Y +25,750 → RX ± 0 RY ± 0
飯岡才川・向中野館・細谷地遺跡	X -35,000 Y +26,000 → RX ± 0 RY ± 0
矢盛遺跡	X -36,050 Y +26,000 → RX ± 0 RY ± 0
南仙北遺跡	X -36,000 Y +27,000 → RX ± 0 RY ± 0

- 4 高さは、標高値をそのまま使用した（一部調査を除く）。
- 5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記号	
遺構堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土(遺物包含層含む)	I(ローマ数字)～層

- 6 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴住居跡	R A	溝跡	R G
建物跡	R B	配石・集石遺構	R H
柱列跡	R C	井戸跡	R I
土坑	R D	土器埋設	R P
竪穴建物跡	R E	古墳・円形周溝ほか	R X
焼土遺構	R F	土坑墓ほか	R Z

7 遺構番号は、県埋文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。

縄文時代～古代の本調査精査遺構：3桁の遺跡内連続番号（基本的に県埋文センター調査遺構番号に連続）

試掘確認調査の検出・精査遺構：上2桁が調査次数番号+下3桁が次数内連続番号

8 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線	————
推定	破線	- - - - -
時期差	一点鎖点	— · — · —

9 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心（焼き口）から煙道先端（煙出し）を結んだ線の方向の傾きとした。

10 古代の土器区分は、土師器・あかやき土器・須恵器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器（坏類、甕類、鉢）に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の杯類は土師器に分類した。

11 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存1/4以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存1/4以上かつ全体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。

11 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。

12 平成12年12月24日未明に発生した盛岡市教育委員会文化財調査室火災により、平成12年度までの調査資料の多くが罹災・焼失した。そのため、本書は残存した資料および一部復元した資料をもって編集せざるを得なかった。なお、本件の詳細については、『盛岡市遺跡の学び館平成16年度館報』(2006)にて報告を行っている。

13 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に係る発掘調査報告書(平成19年度末現在)

<財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）>

- 1995年3月『本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書-盛岡開発事業関連遺跡発掘調査』第226集
- 1996年3月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業』第244集
- 1996年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度)』第246集〔小幅遺跡6次〕
- 1996年11月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第265集
- 1997年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成8年度)』第266集〔宮沢遺跡4次、本宮熊堂A遺跡7次〕
- 1998年3月『小幅遺跡第5次・第7次発掘調査報告書-盛岡西バイパス建設事業関連発掘調査』第267集
- 1998年3月『大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第265集〔大宮北遺跡4次、本宮熊堂A遺跡6次〕
- 1998年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成9年度)』第282集〔稲荷遺跡3次、野古A遺跡9次・10次〕
- 1999年3月『熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第293集
- 1999年1月『本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第308集
- 1999年3月『台太郎遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第309集
- 1999年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成10年度)』第311集〔飯岡才川遺跡2次〕
- 2000年1月『向中野館遺跡第3次・小幅遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第388集
- 2000年1月『向中野館遺跡第4次・小幅遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第321集
- 2000年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成11年度)』第340集〔小幅遺跡13次・14次〕
- 2001年3月『台太郎遺跡第22次発掘調査報告書-盛岡東警察署警察官待機宿舎建設事業関連発掘調査』第365集
- 2001年3月『台太郎遺跡第18次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第369集
- 2001年3月『台太郎遺跡第26次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第416集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成12年度)』第370集〔鬼柳A遺跡7次、本宮熊堂B遺跡9次・11次、小幅遺跡15次・16次、飯岡才川遺跡4次〕
- 2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第377集
- 2002年3月『飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第393集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成13年度)』第397集〔台太郎遺跡36次、細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月『台太郎遺跡第23次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第415集
- 2003年3月『台太郎遺跡第35次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第417集
- 2003年3月『台太郎遺跡第44次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第422集
- 2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書-第4・5次調査-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第418集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第419集
- 2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第420集
- 2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第421集
- 2003年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成14年度)』第423集〔矢盛遺跡4次、稻荷遺跡5次〕
- 2004年2月『矢盛遺跡第3次・熊堂B遺跡発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第451集
- 2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第453集
- 2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第454集
- 2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成15年度)』第455集〔稲荷遺跡6次、本宮熊堂B遺跡19次、台太郎50次・52次、野古A遺跡19次・20次、飯岡才川遺跡5次・6次、細谷地遺跡7次〕

- 2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第467集
- 2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書-国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査』第458集
- 2005年2月『台太郎遺跡第51次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第468集
- 2005年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査報告書(平成16年度)』第469集〔稲荷遺跡8・9次,台太郎遺跡53次,矢盛遺跡5次〕
- 2005年12月『矢盛遺跡第6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第488集
- 2006年2月『飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第489集
- 2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査』第470集
- 2006年3月『台太郎遺跡第54次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第486集
- 2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第487集
- 2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔宮沢遺跡11次,本宮熊堂B遺跡30次・31次〕
- 2007年2月『飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第494集
- 2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第500集
- 2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第501集
- 2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第502集
- 2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第503集
- 2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第504集
- 2008年1月『飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第515集
- 2008年1月『矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第516集
- 2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査』第508集
- 2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第513集
- 2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第514集
- 2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次,矢盛遺跡14次〕

＜盛岡市教育委員会＞

- 1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報-平成5・6年度』〔南仙北遺跡12・13・14次〕
- 2002年3月『盛岡市内遺跡群-平成13年度発掘調査報告』〔台太郎遺跡40・41次〕
- 2005年3月『盛岡市内遺跡群-平成15年度・16年度発掘調査報告』〔台太郎遺跡55次〕
- 2007年3月『盛岡地区遺跡群発掘調査報告書 I-盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①-大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡』〔大宮北遺跡8・9次,小幅遺跡8・12・17次,宮沢遺跡5次,鬼柳A遺跡5次〕

目 次

第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 調査体制	3

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	6

第3章 調査成果

第1節 稲荷遺跡（第1次・2次調査）	7
第2節 本宮熊堂A遺跡（第2次・2次補足調査）	8
第3節 本宮熊堂B遺跡（第3次・3次補足・8次・12次調査）	9
第4節 野古A遺跡（第6次・6次補足・7次・8次・11次調査）	13
第5節 飯岡沢田遺跡（第1次・2次調査）	21
第6節 飯岡才川遺跡（第1次調査）	22
第7節 向中野館遺跡（第1次・2次調査）	23
第8節 細谷地遺跡（第2次調査）	24
第9節 矢盛遺跡（第2次調査）	25
第10節 南仙北遺跡（第15～17次・22～24次・27次・28次・30～32次・35次調査）	27

第4章 調査成果のまとめ	39
--------------	----

挿図

表

写真図版

抄録

挿図目次

第1図 盛南地区遺跡群位置図	45
第2図 地形分類と遺跡分布図	46
第3図 稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B遺跡全体図	47
第4図 野古A遺跡全体図	51
第5図 飯岡沢田・飯岡才川遺跡全体図	55
第6図 向中野館・細谷地遺跡全体図	59
第7図 矢盛遺跡全体図	63
第8図 南仙北遺跡全体図	67
第9図 本宮熊堂B遺跡第8次調査区全体図	71
第10図 本宮熊堂B遺跡第8次調査RG070・074溝跡	72
第11図 本宮熊堂B遺跡第8次調査RG070・071・072・073溝跡	73
第12図 本宮熊堂B遺跡第12次調査区全体図	74
第13図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027竪穴住居跡	75
第14図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA028竪穴住居跡	76
第15図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA029竪穴住居跡	77
第16図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030竪穴住居跡	78
第17図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA031竪穴住居跡	79
第18図 野古A遺跡第6次調査区全体図	80
第19図 野古A遺跡第6次調査RA005・007竪穴住居跡	81
第20図 野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡平面図	82
第21図 野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡断面図	83
第22図 野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡炭化材出土状況平面図	84
第23図 野古A遺跡第6次調査RB001掘立柱建物跡, RD002・003・004・005・006・007・008土坑	85
第24図 野古A遺跡第6次調査RB002掘立柱建物跡, RD009・010・011土坑	86
第25図 野古A遺跡第6次調査RD012土坑, RG001溝跡, RX001円形周溝	87
第26図 野古A遺跡第6次調査RZ001竪穴状遺構	88
第27図 野古A遺跡第11次調査区全体図	89
第28図 野古A遺跡第11次調査RA008・009・010・011竪穴住居跡, RD016土坑	90
第29図 野古A遺跡第11次調査RA012・013竪穴住居跡, RD015土坑, RG005・006・007溝跡	91
第30図 矢盛遺跡第2次調査区全体図	92
第31図 南仙北遺跡第15次調査区全体図	93
第32図 南仙北遺跡第15次調査RA012竪穴住居跡, RD133陥し穴	94
第33図 南仙北遺跡第22次調査区全体図	95
第34図 南仙北遺跡第22次調査RA013竪穴住居跡	95

第35図 南仙北遺跡第27次調査区全体図	96
第36図 南仙北遺跡第27次調査RD114・115・116・117・118土坑, RG115・116・117・118溝跡, RG119方形周溝	97
第37図 南仙北遺跡第27次調査RB001掘立柱建物跡, RD119・120土坑	98
第38図 南仙北遺跡第28次調査区全体図	99
第39図 南仙北遺跡第28次調査RD122・123土坑, RD124陥じ穴, RG120溝跡	100
第40図 南仙北遺跡第28次調査RD121土坑, RG121・122溝跡	101
第41図 南仙北遺跡第30次調査RA3001・3002竪穴住居跡, RD3001土坑, RG3001・3002・3003溝跡	102
第42図 南仙北遺跡第31次調査区全体図	103
第43図 南仙北遺跡第32次調査区全体図	104
第44図 南仙北遺跡第32次調査RG131・133・134・138溝跡	105
第45図 南仙北遺跡第32次調査RG131・132・136・137溝跡	106
第46図 南仙北遺跡第32次調査RG138溝跡	107
第47図 南仙北遺跡第32次調査RD128土坑, RG130・145・146溝跡	108
第48図 南仙北遺跡第32次調査RG139・140・141・142・143・144溝跡	109
第49図 南仙北遺跡第35次調査区全体図	110
第50図 南仙北遺跡第35次調査RA017竪穴住居跡	110
第51図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(1)	111
第52図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(2)	112
第53図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(3)	113
第54図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA028出土遺物	114
第55図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA029出土遺物	114
第56図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030出土遺物(1)	115
第57図 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030出土遺物(2)	116
第58図 野古A遺跡第6次調査RA005出土遺物	117
第59図 野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(1)	117
第60図 野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(2)	118
第61図 野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(3)	119
第62図 野古A遺跡第11次調査RA008出土遺物	120
第63図 野古A遺跡第11次調査RA009出土遺物	120
第64図 野古A遺跡第11次調査RA010出土遺物	121
第65図 野古A遺跡第11次調査RA011出土遺物	121
第66図 野古A遺跡第11次調査RA012出土遺物	122
第67図 野古A遺跡第11次調査RA013出土遺物	122
第68図 南仙北遺跡第15次調査RA012出土遺物	123
第69図 南仙北遺跡第28次調査出土遺物	123
第70図 南仙北遺跡第35次調査RA017出土遺物	123
第71図 南仙北遺跡第30次調査RA3001出土遺物	124
第72図 南仙北遺跡第32次調査出土遺物	125

第73図	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器集成図(1)	126
第74図	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器集成図(2)	127
第75図	野古A遺跡第6次調査出土土器集成図	128
第76図	野古A遺跡第11次調査出土土器集成図	129
第77図	南仙北遺跡第15・30・32・35次調査出土土器集成図	130

表目次

第1表	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成5～12年度〕(1)	133
第2表	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成5～12年度〕(2)	134
第3表	本宮熊堂B遺跡第8次調査土層観察表	135
第4表	本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(1)	136
第5表	本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(2)	137
第6表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(1)	138
第7表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(2)	139
第8表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(3)	140
第9表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(4)	141
第10表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(5)	142
第11表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(6)	143
第12表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(7)	144
第13表	矢盛遺跡第2次調査土層観察表	145
第14表	南仙北遺跡第27次調査土層観察表	146
第15表	南仙北遺跡第28次調査土層観察表	147
第16表	南仙北遺跡第30次調査土層観察表	148
第17表	南仙北遺跡第31次調査土層観察表	148
第18表	南仙北遺跡第32次調査土層観察表	149
第19表	南仙北遺跡第35次調査土層観察表	149
第20表	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器観察表	150
第21表	野古A遺跡第11次調査出土土器観察表	151
第22表	野古A遺跡第6次調査出土土器観察表	152
第23表	南仙北遺跡第15・28・30・32・35次調査出土土器観察表	152
第24表	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土坏検討表	153
第25表	野古A遺跡第6次・11次調査RA008～011出土坏検討表	154

写真図版目次

第1図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土遺物	157
第2図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(1)	158
第3図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(2)	159
第4図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(3)	160
第5図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(4)	161
第6図版	野古A遺跡第6次・11次調査出土遺物	162
第7図版	野古A遺跡第6次調査出土土器(1)	163
第8図版	野古A遺跡第6次調査出土土器(2)	164
第9図版	野古A遺跡第11次調査出土土器(1)	165
第10図版	野古A遺跡第11次調査出土土器(2)	166
第11図版	南仙北遺跡第15次・28次・30次調査出土土器	167
第12図版	南仙北遺跡第32次調査出土土器	168
第13図版	南仙北遺跡第35次調査出土土器	169
第14図版	墨書・刻書き土器	170

第1章 経過

第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地の南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市、平成4年4月合併）の3者が、地域振興整備公團（以下「公團」と呼ぶ、現独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い、公團は実施計画を作成、翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土府長官から実施許可が下り、事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては、昭和50年の国土府長官・建設省からの行政指導に則して、公團と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」、およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日）　記の7(3)

県、市及び村は、環境の保全及び文化財の保護につき、協力して所要の調整を行い、事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日）　記の5

「覚書」の記の7の(3)の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について、国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については、公團が県、市及び村に委託するものとし、その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため、県、市及び村は、土地区画整理事業の認可までに、公團からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し、これを県、市、村及び公團で確認の上、他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより、事業の円滑な推進を図るものとする。

なお、事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には、県、市及び村は、適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果、遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し、その結果を受けての本調査を市、村及び公團から委託を受けて財團法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。

しかし、本調査対象面積が広大であることから、平成10年度以降は市教育委員会も本調査の実施を開始。平成11年度以降は市教育委員会も公團と受委託契約を締結し、県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施することで、現在に至っている。

第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業とともに埋蔵文化財の発掘調査は、平成4年度から継続して実施されている。土地区画整理事業の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行っている。しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行っている。

本書で報告の対象としている各遺跡の平成5～12年度の調査成果の概要は、第1・2表のとおりである。

第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、本事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公團と発掘調査の受委託契約を締結し、公團施工範囲（都市計画道路分）の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にあった文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。

当然、本事業の発掘調査成果（図面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。

市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の（仮称）盛岡市中央公園内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業とともに発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行い、現在に至っている。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

本報告書は、上記指針に基づく2分冊目の報告書である。なお、報告にあたっては、罹災し復元不可能な部分はその旨を明記した表現を行っている。

第4節 体制

〔委託者〕 地域振興整備公團（～平成16年6月）、独立行政法人都市再生機構（平成17年7月～）

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局文化課（平成5～18年度）、歴史文化課（平成19年度～）

〔調査〕 盛岡市教育委員会事務局文化課文化財係（平成5～15年度）、
盛岡市遺跡の学び館（平成16年度～）

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、罹災資料復元及び報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、下水道部建設課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げる。

〔発掘調査担当者（本書詳細掲載分、氏名は調査当時）〕

稻荷遺跡	第1次調査（平成6年度）	似内啓邦・三浦陽一
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
本宮熊堂A遺跡	第2次調査（平成6年度）	似内啓邦・三浦陽一
	第2次補足調査（平成8年度）	津嶋知弘
本宮熊堂B遺跡	第3次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第3次補足調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第8次調査（平成11年度）	似内啓邦・今野公顕
	第12次調査（平成12年度）	平澤祐子
野古A遺跡	第6次調査（平成5年度）	似内啓邦
	第6次補足調査（平成6年度）	津嶋知弘
	第7次調査（平成6年度）	三浦陽一・黒須靖之
	第8次調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第11次調査（平成12年度）	似内啓邦
飯岡沢田遺跡	第1次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
飯岡才川遺跡	第1次調査（平成8年度）	八木光則・津嶋知弘
向中野館遺跡	第1次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
細谷地遺跡	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
矢盛遺跡	第2次調査（平成11年度）	似内啓邦・今野公顕・平澤祐子
南仙北遺跡	第15次調査（平成7年度）	藤岡光男・太田代由美子
	第16次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第17次調査（平成7年度）	藤岡光男
	第22次調査（平成8年度）	三浦陽一
	第23次調査（平成8年度）	津嶋知弘

南仙北遺跡	第 24 次調査（平成 8 年度）	室野秀文
	第 27 次調査（平成 10 年度）	八木光則・津嶋知弘・平澤祐子
	第 28 次調査（平成 10 年度）	藤岡光男・菊池与志和
	第 30 次調査（平成 10 年度）	八木光則
	第 31 次調査（平成 10 年度）	八木光則
	第 32 次調査（平成 10 年度）	似内啓邦・三浦陽一・今野公顕
	第 35 次調査（平成 12 年度）	今野公顕・岩城志麻

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成 20 年度）

教育長 八巻 恒雄

教育部長 宇夫方正人

教育次長 菊地 誠

歴史文化課（事務局）

課長	武藤英富
課長補佐（文化財・史跡担当）	千葉良高
課長補佐（埋蔵文化財担当、兼務）	佐藤和男
副主幹	千田和文
主査（兼務）	杉浦雄治
文化財主査（兼務）	室野秀文
文化財主査（兼務）	菊地幸裕
文化財主査（兼務）	津嶋知弘
文化財主任	三浦陽一
文化財主任（兼務）	神原雄一郎
文化財主任	権頭祐子
文化財主任	今野公顕
文化財主任	花井正香
文化財主事（兼務）	佐々木亮二
文化財調査員	鎌田聖美
文化財調査員	高橋 史
文化財調査員	小西治子

遺跡の学び館（施設）

館長（兼務）	武藤英富
館長補佐	佐藤和男
主査	杉浦雄治
文化財主査	室野秀文
文化財主査	菊地幸裕
文化財主任	津嶋知弘
文化財主任	神原雄一郎
文化財主事	佐々木亮二
文化財調査員	吉田里和
文化財調査員	浅沼のぞみ
文化財調査員	鈴木賢治
学芸調査員	相馬容子
学芸調査員	佐々木逸人

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口300,746人（平成17年国勢調査人口）、面積886.47km²の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

現在、市街地南西部の313.5haを対象に「盛岡南新都市開発整備事業」に係る土地区画整理事業が実施されている。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工している。これにともない、事業区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成4年度から県埋文センターと市教育委員会が実施している。

「盛南地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稻荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮・字小幡・字宮沢・字鬼柳・字熊堂・字稻荷・字野古・下鹿妻字北・向中野字千刈田・字台太郎・字向中野・字八日市場・字野原・字才川・字細谷地・字鶴子・字幡・飯岡新田1地割沢・2地割・3地割・4地割・南仙北2丁目などに所在する（第1図）。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・零石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である零石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する（第2図）。零石川は奥羽山脈から東流し、鳥泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。零石川の北岸には岩手山を供給源とする火山碎石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘Ⅲ）が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、零石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない零石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。零石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住居跡や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、詳細な時期を特定する要素は乏しいが、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴住居跡を主体とした集落跡が増加する。この時期の集落は、大型竪穴住居を中心としてその周間に中～小型の竪穴住居が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向がある。

9世紀、平安時代初頭の延暦22年(803)には、本遺跡群の西方に「志波城」(下太田方八丁他)が造営される。志波城は東北経営のために朝廷が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷(エミシ)」と呼ばれていた人々の社会に大きな影響を与えたと考えられる。征夷大將軍であった坂上田村麻呂が朝廷の命を受け造営した志波城は、北側を流れる半石川の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で文室綿麻呂の建議により徳丹城(矢巾町西徳田)に移転したことが記録に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止し、本地域も含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城(奥州市水沢区九蔵田)による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴住居を主体とした集落数が増加の一途をたどる。それにともない竪穴住居の規模の大小差は縮小するようになり、重複が著しく見られるようになる傾向がある。その中でも、向中野館遺跡の低湿地から古代の祭祀に関係すると考えられる遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能使の分化もみられる。

また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、地域の拠点的な集落も姿を現すようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、本地域の北西、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、規模の大きな官衙的な掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形の平面形となる居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡が検出されており、出土遺物やその平面形から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、半石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中(街道)や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡などの近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発が行われる直前の本地域の様子と大きく違ひが無いものと考えられる。

第3章 調査成果

第1節 稲荷遺跡（第1次・2次調査）

1. 遺跡の立地

稻荷遺跡は、803年に造営された古代城柵である志波城跡の南東約1.2kmに位置し、北と東に本宮熊堂B遺跡、南に野古A遺跡、西に鬼柳A遺跡が周囲に位置している。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、幅20～50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約430m、南北約270mをはかる（第3図）。

2. 調査内容

（1）第1次調査（平成6年度）

今次調査区は、遺跡の北部、南部、東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積14,595m²について、重機により幅約2mの試掘トレチ74本を設定し（調査面積2,143m²）、黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺跡南部と東部に縄文時代、古代、近世と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

（2）第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積2,134m²について、重機により幅約1.5mの試掘トレチ12本を設定し（調査面積234m²）、耕作土直下のシルト漸移層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北部に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

第2節 本宮熊堂A遺跡（第2次・2次補足調査）

1. 遺跡の立地

本宮熊堂A遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、南に本宮熊堂B遺跡と隣接しているが、1mほど低い面となっている。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり。遺跡の北側は零石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約200m、南北約200mをはかる（第3図）。

2. 調査内容

(1) 第2次調査（平成6年度）

今次調査区は、遺跡の北半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積13,290m²について、重機により幅約2mの試掘トレーナー81本を設定し（調査面積2,835m²）、黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区中央部と東部に縄文時代・古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第3図）。

(2) 第2次補足調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の南半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積1,679m²について重機により、幅約1.5mの試掘トレーナー36本を設定し（調査面積1,679m²）、調査区の南半部では水田耕作土直下のややグライ化した粘土質シルト上面まで、また北半部では水田耕作土直下の黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北半部では検出面で古代の遺構が検出され、また粘土質シルト層より縄文時代晚期と古代の土器が出土した。また調査区北半部では検出面で古代の遺構が検出され、また黄褐色シルト層より縄文時代晚期と古代の土器が出土した。このため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

第3節 本宮熊堂B遺跡（第3次・3次補足・8次・12次調査）

1. 遺跡の立地

本宮熊堂B遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、北に本宮熊堂A遺跡、南に野古A遺跡、西に稻荷遺跡が位置している。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の東側は零石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約620m、南北約380mをはかる（第3図）。

2. 調査内容

(1) 第3次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の東部及び中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積6,323m²について重機により、幅約2mの試掘トレンチ40本を設定し（調査面積2,759m²）、表土直下まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、両調査区ともに古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

(2) 第3次補足調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部・中央部・西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積26,011m²について重機により、幅約1.5mの試掘トレンチ87本を設定し（調査面積3,422m²）、表土直下の黄褐色シルト層または砂質シルト層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、西部調査区の一部を除き各調査区から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第3図）。

(3) 第8次調査（平成11年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,289m²。重機により表土を除去し、黒褐色～黄褐色シルト層上面で遺構検出を行った。調査区内の旧地形は、南から北へと傾斜している。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の溝跡5条・遺物包含層である（第9図）。

・溝跡

RG070（第10・11図）

位置 調査区北東部 重複関係 RG071・072・073・074（旧）

規模 幅0.3～1.1m・深さ0.15～0.5m・延長約35.6m以上（調査区外）、北西から南東方向に走る

埋土 第3表 出土遺物 土師器甕、須恵器壺、あかやき土器壺、破片で摩滅している

RG071 (第11図)

位置 調査区北東部 重複関係 RG070(新), RG072

規模 幅0.4~0.7m・深さ0.25~0.3m・延長約15.5m以上(調査区外) 東北東から西南西方向に走る

埋土 第3表 出土遺物 土師器高台付坏

RG072 (第11図)

位置 調査区北部 重複関係 RG071・073

規模 幅0.3~0.4m・深さ約0.2m・延長約7.4m 東西方向に走りRG070と071を結ぶ

埋土 第3表 出土遺物 なし

RG073 (第11図)

位置 調査区北部 重複関係 RG070(新), RG072

規模 幅約0.4m・深さ0.15~0.3m・延長約3.0m 南東から北西方向に走りRG070と072を結ぶ

埋土 第3表 出土遺物 なし

RG074 (第10図)

位置 調査区東部中央 重複関係 RG070(新)

規模 幅0.4~0.8m・深さ0.15~0.4m・延長約10.5m以上(調査区外) 南東から北西方向に走る

埋土 第3表 出土遺物 なし

・遺物包含層

遺構検出面のうち、調査区南西隅を除く全面が希薄な遺物包含層となっていることをサブトレンチにて確認した(第10図)。出土遺物は、土師器坏・甕、あかやき土器坏・高台付坏・甕、須恵器甕の破片であり、摩滅しているものが多いことから、二次堆積によるものと考えられる(土層は第3表を参照)。

(4) 第12次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,663m²。重機により表土を除去し、黄褐色シルト層及び黒色土上面で遺構検出を行った。調査区は西側のA区、東側のB区に分かれ、A区よりB区が一段低くなっている。

a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の竪穴住居跡5棟、柱穴1口、遺物包含層を検出した(第12図)。

・竪穴住居跡

RA027 (第13図)

位置 調査区A区北西部 重複関係 なし 平面形 圓丸方形

規模 東西約4.5m、南北約4.3m、深さ0.3~0.4m

カマド方向 E20.5°S、東カマド、長い煙道(1.25m) 埋土 第4表

カマド 両袖残存、石を使用して構築
床の状態 カマド部分に炊き口の焼け面、床構築土あり **貯蔵穴** カマド南隣に1基
出土遺物 (第51～53図、第20表) 土師器坏 (001・002)・高台付坏 (012)・甕・小型甕、あかやき土器坏 (003～011)・高台付坏 (012～015)・鉢 (016)・甕 (017～021)・小型甕、須恵器坏、墨書き「田」(あかやき土器坏、011)、軽石(砥石?)
時期 平安時代(9世紀後半)

R A O 2 8 (第14図)

位置 調査区A区中央部 **重複** なし **平面形** 不整隅丸方形
規模 東西6.3～7.2m、南北約6.9m、深さ0.35～0.45m
カマド方向 E36.5°S、東カマド、長い煙道(0.65m) **埋土** 第4表
床の状態 床面構築土あり **柱穴** 主柱穴4口、直径0.6～0.8m、深さ0.15～0.45m
出土遺物 (第54図、第20表) 土師器坏 (022～024)・高台付坏・甕・小型甕、あかやき土器坏 (025～027)・高台付坏、須恵器坏・甕 (028)、墨書き土器「(不明)」(あかやき土器坏、027)
時期 平安時代(9世紀後半)

R A O 2 9 (第15図)

位置 調査区B区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 東西約4.5m、南北約4.7m、深さ約0.05m(ほとんど削平)
カマド方向 E23.5°S、東カマド、長い煙道(1.55m)
埋土 第4表、最上層(A1層)に白色火山灰を含む
床の状態 床面構築土あり、中央に硬化面あり **貯蔵穴** カマド北隣に1基(Pit3)
柱穴

	Pit1	Pit2	Pit4	Pit5
直径	0.5～0.75m	約0.4m	0.7～0.8m	約0.6m
深さ	0.5m	0.4m	—	0.4m
平面形	不整楕円形	不整円形	不整円形	—
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり

出土遺物 (第55図、第20表) 土師器坏・甕 (030)、あかやき土器坏 (029)・甕、須恵器坏・甕
時期 平安時代(9世紀後半)

R A O 3 0 a・b (第16図)

位置 調査区B区西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 東西約7.9m、南北約7.5m、深さ0.1～0.35m
カマド方向 E36.0°S、東カマド、長い煙道(1.77m)
埋土 第5表、a期・b期埋土とともに白色火山灰を含む
床の状態 断面よりカマド部分に上下2枚の炊き口の焼け面が確認できることから、同じ位置での2時期の

カマド（a・b期）の存在が考えられる。壁際に周溝あり。カマド北隣に貯蔵穴1基（Pit3）があり、土器がまとまって出土している。

柱穴 Pit14は主柱穴の一つと考えられ、直径約0.4m・深さ0.5m。その他10口以上の柱穴がある。

出土遺物（第56・57図、第20表） 土師器壺（031～033）・大型壺（034）・甕（046）・小型甕、あかやき土器壺（035～044）・高台付壺（045）・甕（047）。須恵器壺・甕（048・049）。軽石（砥石？）、鉄製品（刀子？）

時期 平安時代（9世紀後半）

R A O 3 1（第17図）

位置 調査区B区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整隅丸方形

規模 東西約4.2m、南北約3.8m、深さ約0.05m（ほとんど削平）

カマド方向 東カマド、長い煙道約1.4m **埋土** 第5表

床の状態 カマド部分に炊き口の焼け面。カマド南隣と西壁南側に貯蔵穴2基（Pit1・2）

出土遺物 土師器壺・甕、あかやき土器壺、須恵器甕・瓶 **時期** 平安時代

・ピット

P 1（第17図）

位置 調査区B区南西部 **平面形** 不整円形 **規模** 直径約0.5m、深さ0.15m、柱痕跡あり

埋土 第5表

・遺物包含層（第12図）

位置 調査区B区東半部（第8次調査区より続くもの） **土層** 第5表、II層に白色火山灰を含む

規模 北西から南東にかけて幅8～9mの帯状、層厚0.1～0.2m（遺物の出土はIIa・IIb層のみ）

出土遺物 土師器壺・高台付壺・甕、あかやき土器壺・高台付壺・甕、須恵器壺・甕、摩滅した破片が多い

第4節 野古A遺跡（第6次・6次補足・7次・8次・11次調査）

1. 遺跡の立地

野古A遺跡は、志波城跡の南東約1.3kmに位置し、北西に稻荷遺跡、北東に本宮熊堂B遺跡、南東に飯岡沢田遺跡が隣んでいます。なお、本遺跡と後述する飯岡沢田遺跡は、現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堀により分断されているものの、本来の地形的には一連の集落遺跡であると考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位冲積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の東側は平石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約640m、南北約400mをはかる（第4図）。

2. 調査内容

（1）第6次・6次補足調査（平成5・6年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅新築に伴う本調査として実施した。平成5年度の本調査終了後に建築位置の変更が生じたため、平成6年度に拡張部分の補足調査を実施することとなったものである。調査面積は2ヶ年合計で550m²である。重機により表土を除去し、黄褐色土上面にて遺構検出を行った。

なお、本調査にあたっては、調査区北側にあった東北電力仙北変電所との境界杭を基準点とした任意座標の2mメッシュグリッドを使用している。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡1棟、平安時代の竪穴住居跡1棟・掘立柱建物跡2棟、古代の竪穴住居跡1棟・土坑11基・溝跡1条・円形周溝1基・竪穴状遺構1基・柱穴7口を検出した（第18図）。

・竪穴住居跡

R A O O 5（第19図）

位置 調査区南西部 重複関係 なし 平面形 不整隅丸方形

規模 東西4.6～5.2m、南北4.2～4.5m、深さ0.4～0.45m

カマド方向 東カマド、長い煙道（1.4m） 埋土 第6表、中層（B1層）に白色火山灰を含む

カマド 両袖残存 床の状態 カマド部分に焚口の焼け面、西壁南部に炭化物の塊

貯蔵穴 北東隅と南東隅に貯蔵穴2基（Pit1・2）

出土遺物（第58図、第21表） 土師器壺・甕、あかやき土器壺・甕・小型甕（050）、須恵器甕・長頸瓶

時期 平安時代（10世紀前半？）

R A O O 6（第20・21・22図）

位置 調査区南東部 重複関係 R D O O 5（新）、R X O O 1 平面形 隅丸方形

規模 東西約7.0m、南北約7.0m、深さ0.75～0.85m

カマド方向 西カマド、長い煙道（トンネル状、1.2m）

埋土 第6～8表、上層（A層）に白色火山灰を含む **カマド** 両袖残存

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面、カマド東部に焼け面、周溝及び仕切り状の溝あり、埋土下層（C層）一面に炭化材と焼土（第22図）。焼失家屋と考えられる。

貯蔵穴 カマド南隣（Pit20）、東壁南部（Pit12）、北壁東部（Pit5・6・7）に計5基

柱穴 主柱穴4口（Pit1・2・3・4）

	Pit1	Pit2	Pit3	Pit4
直径	約0.35m	約0.3m	0.35～0.4m	約0.3m
深さ	0.8m	0.7m	0.8m	0.65m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり	—

出土遺物（第58図、第21表） 土師器壺（A層はロクロ使用、B・C層は丸底）・高台付壺・小型鉢（051・052）、甕（053～060）・球胴甕（061）、あかやき土器（A層のみ）壺・甕・小型甕、須恵器（A層のみ）壺・甕

時期 奈良時代（8世紀前半？）

R A O O 7（第19図）

位置 調査区南西部 **重複関係** なし（大部分が調査区外） **平面形** 四角形？

規模 東西3.8m以上、南北1.0m以上（調査区外）

建築工事の掘削外のため、検出のみとし保存措置とした。

・掘立柱建物跡

R B O O 1（第23図）

位置 調査区西部 **重複関係** R D O O 3 **構造** 1間×1間

規模 柱間約1.8m等間 **柱穴埋土** 第9表

柱穴

	柱穴1	柱穴2	柱穴3	柱穴4
直径	0.2～0.25m	約0.25m	0.2～0.25m	0.2～0.3m
深さ	0.2m	0.2m	0.15m	0.15m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	柱痕跡あり

時期 平安時代

R B O O 2（第24図）

位置 調査区北東部 **重複関係** R D O 1 1 **構造** 1間×1間

規模 柱行柱間約2.7m、梁行柱間西側約1.8m・東側約1.65m

建物方向 東西棟 **柱穴埋土** 第9表、一部白色火山灰を含む

柱穴

	柱穴 1	柱穴 2	柱穴 3	柱穴 4
直径	0.3~0.35m	0.35~0.4m	0.3~0.35m	0.2~0.3m
深さ	0.15m	0.2m	0.15m	0.2m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—

時期 平安時代

・土坑

R D O O 2 (第 23 図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 不整梢円形

規模 長軸 1.8 m, 短軸 1.0 m, 深さ 0.15 m 埋土 第 9 表

出土遺物 あかやき土器坏・甕

R D O O 3 (第 23 図)

位置 調査区西部 重複関係 R B O O 1 平面形 圓角長方形

規模 長辺 2.25 m, 短辺 0.75 m, 深さ 約 0.35 m, 底面に浅いピット 1 口

埋土 第 9 表, 磁を多く含む

形状と埋土の状況から土坑墓の可能性がある。

R D O O 4 (第 23 図)

位置 調査区中央部 重複関係 R D O O 7 (新) 平面形 不整円形

規模 直径 0.9 ~ 1.0 m, 深さ 約 0.25 m 埋土 第 9 表

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏

R D O O 5 (第 23 図)

位置 調査区中央部 重複関係 R A O O 6 (旧) 平面形 不整円形

規模 直径 1.0 ~ 1.1 m, 深さ 約 0.25 m 埋土 第 9 表, 白色火山灰を含む

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏

R D O O 6 (第 23 図)

位置 調査区中央部 重複関係 R D O O 7 (新) 平面形 不整円形

規模 直径 約 0.9 m, 深さ 約 0.2 m 埋土 第 9 表 出土遺物 あかやき土器坏

R D O O 7 (第 23 図)

位置 調査区中央部 重複関係 R D O O 4 (旧), R D O O 6 (新) 平面形 不整梢円形

規模 長軸 1.55 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.1 ~ 0.15 m 埋土 第 9 表

R D O 0 8 (第 23 図)

位置 調査区中央部 重複関係 なし 平面形 不整円形

規模 直径 1.05 ~ 1.2 m, 深さ 0.15 ~ 0.2 m 埋土 第 9 表

R D O 0 9 (第 24 図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸 1.9 m, 短軸 1.3 m, 深さ 0.8 m

埋土 第 10 表, 上層 (A2 層) に白色火山灰含む, 下半 (C 層) は人為堆積

底面 凹凸あり, 西部に袋状ピット 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏 (C 層)

埋土下半が人為堆積であり, 土坑墓の可能性がある。

R D O 1 0 (第 24 図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし 平面形 不整長方形? (調査区外)

規模 東西 1.7 m, 南北 0.7 m 以上 (調査区外), 深さ 0.6 m

埋土 第 10 表

底面 掘削時の鋸痕跡と考えられる浅い小ピット多数

埋土が人為堆積であることから, 土坑墓の可能性がある。

R D O 1 1 (第 24 図)

位置 調査区北東部 重複関係 R B O O 2 平面形 不整楕円形

規模 長軸 1.55m, 短軸 0.65 m, 深さ 0.3 m 埋土 第 10 表

底面 皿状で小ピットがみられる

R D O 1 2 (第 25 図)

位置 調査区南西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形? (調査区外)

規模 長軸 1.0 m 以上 (調査区外), 短軸 1.1 m, 深さ 0.4 m 埋土 第 10 表

出土土器 土師器坏・甕

・溝跡

R G O O 1 (第 25 図)

位置 調査区南西部 重複関係 なし

規模 幅 0.3 ~ 0.45 m, 長さ 8.8 m, 深さ 約 0.05 m, ほぼ東西に走る 埋土 第 10 表

出土遺物 あかやき土器坏, 須恵器甕

・円形周溝

R X O O 1 (第 25 図)

位置 調査区東部 重複関係 R Z O O 1 (新) 平面形 不整円形

規模 全体直径 約 5.9 m, 溝幅 0.6 ~ 0.75 m, 深さ 0.4 ~ 0.45 m 埋土 第 10 表

底面 掘削時の鋸痕跡と考えられる浅い小ピット多数 **出土遺物** 土師器甕
形状から円形周溝墓と考えられる。

・竪穴状遺構

R Z O O 1 (第 25 図)

位置 調査区東部 **重複関係** R X O O 1 (旧) **平面形** 不整隅丸方形

規模 南北 3.8 m, 東西 3.8 m, 深さ 1.2 ~ 1.3 m

埋土 第 10 ~ 12 表, 上部 (A1 層, B1~2~5 層, C1 層) に白色火山灰を含む。下半 (B ~ E 層) が人為堆積

床の状態 底面に浅い小ピット 15 口 (Pit1 ~ 15), 床面構築土あり

出土遺物 土師器甕・甕, あかやき土器甕・甕, 須恵器甕・長頸瓶

埋土下半が人為堆積であり、深さがあることから大規模な土坑墓（集団墓？）の可能性が考えられる。

・ピット

調査区東部に 3 口, 北東部に 2 口, 北西部に 2 口の計 7 口のピットを確認した。埋土土層は第 12 表を参照。

白色火山灰を含むものがある (P1~2~4~7)。

	P 1	P 2	P 3	P 4
位置	調査区東部	調査区東部	調査区東部	調査区北東部
直径	0.25 ~ 0.3 m	0.25 ~ 0.3 m	0.3 ~ 0.45 m	0.3 ~ 0.35 m
深さ	0.2 m	0.15 m	0.4 m	0.25 m
平面形	不整円形	不整円形	不整橢円形	不整円形
特徴	—	—	—	—

	P 5	P 6	P 7
位置	調査区北東部	調査区南西部	調査区南西部
直径	0.35 ~ 0.45 m	0.3 m	0.35 ~ 0.5 m
深さ	0.15 m	0.2 m	0.3 m
平面形	不整橢円形	不整円形	不整橢円形
特徴	—	—	柱痕跡あり

(2) 第 7 次調査 (平成 6 年度)

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 10,878m²について、重機により幅約 2 m の試掘トレンチ 52 本を設定し (2,602m²)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区南半部に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした (第 4 図)。

(3) 第8次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の中央及び南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 29.955m²について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレーニ 109 本を設定し (4.442m²), 遺構・遺物の有無を確認した。その結果、中央部の一部を除き、両調査区に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第4図）。

(4) 第11次調査（平成12年度）

今次調査区は、遺跡の東端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は 1.080m²である。重機により表土を除去し、調査区中央部では黄褐色土、南北端部では黄褐～黒褐色土上面にて遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料のほとんどが罹災・焼失しているため、遺構の記述は可能な部分のみとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡 4 棟、平安時代の竪穴住居跡 3 棟、古代の土坑 2 基・溝跡 7 条を検出した（第27図）。

・竪穴住居跡

R A 0 0 8 (第28図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形 規模 東西 5.3 m, 南北 5.0 m

カマド方向 E27.5° S, 東カマド（短い煙道 0.4 m）

床面施設 柱穴 6 口、貯蔵穴 2 基（東壁北端、カマド北隣）

出土遺物（第62図、第22表） 土師器壺(062)・甕(066-067)、あかやき土器壺(063～065)・甕、須恵器甕、墨書き「(不?)」(065)、あかやき土器壺、刻書き「弔」(062、土師器壺)

時期 平安時代（10世紀前半）

R A 0 0 9 (第28図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形 規模 東西 4.3 m, 南北 3.6 m

カマド方向 E28.5° S, 東カマド（長い煙道 1.3 m） 床面施設 貯蔵穴 1 基（東壁南端）

出土遺物（第63図、第22表） 土師器甕、あかやき土器壺(068-069)・高台付壺(070-071)、砾石（軽石）

時期 平安時代（10世紀前半）

R A 0 1 0 (第28図)

位置 調査区中央西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形 規模 東西 4.1 m, 南北 4.0 m

カマド方向 E26.0° S, 東カマド（長い煙道 0.9 m） 床面施設 貯蔵穴 1 基（東壁南端）

出土遺物（第64図、第22表） 土師器壺(072～075)・高台付壺・甕(076)、あかやき土器壺、須恵器壺・甕

時期 平安時代（10世紀前半）

R A O 1 1 (第 28 図)

位置 調査区中央西部 重複関係 なし 平面形 圓丸方形 規模 東西 4.0 m, 南北 3.5 m

カマド方向 E28.0° S, 東カマド (長い煙道 0.9 m) 床面施設 貯蔵穴 1 基 (東壁南端)

出土遺物 (第 65 図, 第 22 表) 土師器壺 (077)・甕, あかやき土器壺 (078・079)・甕 (080)

時期 平安時代 (10 世紀前半)

R A O 1 2 (第 29 図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 圓丸方形 規模 東西 4.0 m, 南北 3.7 m

カマド方向 N39.0° W, 北カマド (長い煙道 1.1 m) 床面施設 貯蔵穴 2 基 (北壁東端・南壁中央)

出土遺物 (第 66 図, 第 22 表) 土師器壺 (081)・甕 (082・083)・小型甕 (085)・球胴甕 (084), 砥石

時期 奈良時代 (8 世紀前半)

R A O 1 3 (第 29 図)

位置 調査区南部 重複関係 R G O O 7 と重複 平面形 圓丸方形 (推定)

規模 南北 3.8 m・東西 2.2 m 以上 (削平)

カマド方向 W36.0° N, 西カマド (長い煙道 1.4 m)

出土遺物 (第 67 図, 第 22 表) 土師器壺 (086)・高台付壺 (087)・甕・球胴甕

時期 奈良時代 (8 世紀前半)

R A O 1 4 (第 28 図)

位置 調査区中央東部, 検出のみ (平成 13 年度に県埋文センターが第 12 次調査 R A O 1 4 竪穴住居跡として調査・報告している)。

時期 奈良時代 (8 世紀)

・土坑

R D O 1 5 (第 29 図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 長軸 1.7 m・短軸 1.5 m

R D O 1 6 (第 28 図)

位置 調査区中央西部 重複関係 なし 平面形 不整梢円形? (調査区外)

規模 長軸 1.7 m 以上 (調査区外)・短軸 1.0 m

・溝跡

R G O O 5 (第 29 図)

位置 調査区南部 重複関係 なし

規模 幅約 0.3 ~ 0.5 m・延長約 5.5 m, 北北東から南南西方向に走る

R G O 0 6 (第 29 図)

位置 調査区南部 **重複関係** なし

規模 幅約 0.3 ~ 0.4 m・延長約 2.0 m、南北方向に走る

R G O 0 7 (第 29 図)

位置 調査区南部 **重複関係** R A 0 1 3 堅穴住居跡と重複

規模 幅約 0.4 m・延長約 12.6 m、北東から南西方向に走る

R G O 0 8 (第 28 図)

位置 調査区南部 **重複関係** R G O 0 9 溝跡と重複

規模 幅約 1.4 ~ 2.0 m・延長約 18.8 m以上 (調査区外)、北西から南東方向に走る

R G O 0 9 (第 28 図)

位置 調査区北部 **重複関係** R G O 0 8 溝跡と重複

規模 幅約 1.0 ~ 1.5 m・延長約 14.3 m以上 (調査区外)、北西から南東方向に走る

R G O 1 0 (第 28 図)

位置 調査区北部 **重複関係** なし

規模 幅約 0.7 m以上 (調査区外)・延長約 14.2 m以上 (調査区外)、北西から南東方向に走る

R G O 1 1 (第 28 図)

位置 調査区北部 **重複関係** なし

規模 幅約 0.8 ~ 1.3 m・延長約 14.2 m以上 (調査区外)、北西から南東方向に走る

第5節 飯岡沢田遺跡（第1次・2次調査）

1. 遺跡の立地

飯岡沢田遺跡は、志波城跡の南東約1.8kmに位置し、北西に野古A遺跡、東に台太郎遺跡、南に飯岡才川遺跡が囲んでいる。なお、前述のとおり本遺跡と野古A遺跡は、現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堀により分断されているものの、本来の地形的には一連の集落遺跡であったと考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東部にあたり、遺跡の東側は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約340m、南北約310mをはかる（第5図）。

2. 調査内容

(1) 第1次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の西端に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積2,197m²について、重機により幅約2mの試掘トレンチ10本を設定し（調査面積384m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物が検出されなかったため、全範囲について調査終了地区とした（第5図）。

(2) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部及び南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積31,649m²について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ82本を設定し（調査面積2,965m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北東部から古代と推定される遺構・遺物が検出された一方、調査区南東部の大部分で遺構・遺物が検出されなかった。そのため、遺構・遺物の検出された調査区については要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第5図）。

第6節 飯岡才川遺跡（第1次調査）

1. 遺跡の立地

飯岡才川遺跡は、志波城跡の南東約2.1kmに位置し、北西に飯岡沢田遺跡、北に台太郎遺跡、南東に向中野館遺跡・細谷地遺跡、南西に矢盛遺跡が囲んでいる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南東部にあたり、遺跡の北東側は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約610m、南北約300mをはかる（第5図）。

2. 調査内容

（1）第1次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の西半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積42,195m²について、重機により幅約2.5mの試掘トレーンチ29本・幅約1.5mの試掘トレーンチ21本を設定し（調査面積5,672m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区の一部を除き広い範囲から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第5図）。

第7節 向中野館遺跡（第1次・2次調査）

1. 遺跡の立地

向中野館遺跡は、志波城跡の南東約2.4kmに位置し、北に台太郎遺跡、西に飯岡才川遺跡、南に細谷地遺跡が位置する。周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約100m、南北約220mをはかる。遺跡内に土塁の残存がみられ、中世における在地領主の居館跡と考えられる（第6図）。

2. 調査内容

(1) 第1次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積3,762m²について、重機により幅約2mの試掘トレーナー15本を設定し（調査面積991m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第6図）。

(2) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部・南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積880m²について、重機により幅約1.5mの試掘トレーナー4本、及び2×2mグリット16箇所を設定し（調査面積110m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、北部と南部西半から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第6図）。

第8節 細谷地遺跡（第2次調査）

1. 遺跡の立地

細谷地遺跡は、志波城跡の南東約2.5kmに位置し、北に向中野館遺跡が隣接。北西に飯岡才川遺跡、南西に矢盛遺跡、南東に南仙北遺跡が囲んでいる。なお、志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南端縁辺部にあたり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約600m、南北約280mをはかる（第6図）。

2. 調査内容

（1）第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部・西部に点在して位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積13,576m²について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ26本、及び2×2mグリット6箇所を設定し（調査面積975m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、一部の調査区を除き、縄文時代晩期～弥生時代後期と推定される遺物包含層、及び古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第6図）。

第9節 矢盛遺跡（第2次調査）

1. 遺跡の立地

矢盛遺跡は、志波城跡の南東約2.2kmに位置し、北に飯岡才川遺跡、北東に細谷地遺跡が隣接する。南東や離れた位置に夕覚遺跡がある。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南東部にあたり、遺跡の周囲は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約450m、南北約500mをはかる（第7図）。

2. 調査内容

(1) 第2次調査（平成11年度）

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は131m²。重機により表土を除去し、黄褐色土上面で遺構検出を行った。調査区東半部の大部分と西半部の一部が、既存建築物の基礎及び水道管等工事により搅乱を受けていた。

なお、本調査にあたっては、任意座標の2mメッシュグリッドを使用している。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、近世以降の柱列跡1列・溝跡3条・柱穴である（第30図）。

・柱列跡

R C O O 1（第30図）

位置 調査区西部 重複関係 なし 構造 2間

規模 全長3.66m（芯々）、柱間西から1.88m+1.78m（芯々） 方向 ほぼ東西方向

柱穴

	柱穴1	柱穴2	柱穴3
直径	約0.55m	約0.45m	約0.45m
深さ	0.4m	0.25m	0.3m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり

埋土 第13表

・溝跡

R G O O 2（第30図）

位置 調査区中央 重複関係 R G O O 3(新), R G O O 4

規模 幅0.3~0.9m・深さ0.3~0.4m・延長約13.0m以上（調査区外）、東西方向に走る

埋土 第13表

R G O O 3 (第 30 図)

位置 調査区南西部 **重複関係** R G O O 2 (旧)

規模 幅 0.85 ~ 1.0 m・深さ約 0.5 m・延長 4.8 m以上 (調査区外) **埋土** 第 13 表

R G O O 4 (第 30 図)

位置 調査区西部 **重複関係** R G O O 2 (新)

規模 幅 0.3 ~ 0.45 m・深さ約 0.15 m・延長 4.0 m

・柱穴

P 1 ~ 3 (第 30 図)

位置 調査区西部 **重複関係** R G O O 2 (新) **平面形** 不整円形～不整梢円形

規模 直径 0.4 ~ 0.45 m, 深さ 0.25 ~ 0.35 m

第10節 南仙北遺跡（第15～17次・22～24次・27次・28次・30～32次・35次調査）

1. 遺跡の立地

南仙北遺跡は、志波城跡の南東約2.5kmに位置し、西方やや離れた位置に細谷地遺跡がある。低位沖積段丘上にあり、遺跡の北側から北東側にかけては北上川の旧河道に面しているが、南西側は平坦面が継ぎ明瞭な地形の差異はみられない。また、遺跡の中央部に東西方向の小規模な旧河道が入り込んでいる。現在は、JR東北本線及び東北新幹線により遺跡範囲が東西に分断されており、その西半部が盛岡南新都市開発整備事業区域となっている。遺跡範囲は東西約200m、南北約500mをはかる（第8図）。

2. 調査内容

(1) 第15次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は77m²。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料のほとんどが罹災・焼失しているため、遺構の記述は可能な部分のみとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の陥し穴1基、奈良時代の竪穴住居跡1棟を検出した（第31図）。

・陥し穴

R D 1 3 3（第32図）

位置 調査区東部 重複関係 R A 0 1 2(新) 平面形 溝状、南北方向

規模 幅0.1～0.5m、長さ3.9m、深さ0.7m

・竪穴住居跡

R A 0 1 2（第32図）

位置 調査区中央 重複関係 R D 1 3 3(旧) 平面形 隅丸方形

規模 南北4.9m、東西1.6m カマド方向 W55°N、西カマド（長い煙道1.2m）

カマド 両袖残存 柱穴 主柱穴4口（pit1・2・3・4） 貯蔵穴 東壁中央に1基

出土遺物（第68図、第23表） 土師器甕（088・089）・多条沈線甕（090）

時期 奈良時代（8世紀前半）

(2) 第16次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積6.583m²について、重機により幅約2mの試掘トレンチ26本を設定し（調査面積1,445m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区東部から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第8図）。

(3) 第 17 次調査（平成 7 年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 423 m²について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレーナー 4 本を設定し（調査面積 94 m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区内から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第 8 図）。

(4) 第 22 次調査（平成 8 年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は 59 m²。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、古代の竪穴住居跡 1 棟を検出した（第 33 図）。

・竪穴住居跡

R A O 1 3 （第 34 図）

位置 調査区東部 重複関係 なし 平面形：隅丸方形？（調査区外）

規模 南北 2.8 m 以上、東西 1.7 m 以上（調査区外）、削平されている

カマド方向 北カマド？ 床の状態 カマド焚き口と考えられる焼け面あり

(5) 第 23 次調査（平成 8 年度）

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 1,480 m²について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレーナー 3 本を設定し（調査面積 108 m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第 8 図）。

(6) 第 24 次調査（平成 8 年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅増築に伴う試掘確認調査として実施した。増築部分について、幅約 0.6 m の試掘トレーナー 3 本を設定し（調査面積 7 m²）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、試掘トレーナー内から古代と推定される遺構が検出されたが、基礎掘削範囲外であったため、本調査は行わず、保存措置とした。（第 8 図）。

(7) 第 27 次調査（平成 10 年度）

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。事前の試掘調査で 5 本のトレーナー（T 0 1 ~ 0 5）を入れたところ、遺構・遺物が確認されたため、建築工事による基礎掘削が行われる 2 箇所を本調査対象とし、その他遺構を確認した範囲（T 0 1・0 2）は掘削制限による保存措置とした。本調査面積は 346 m²。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、西側のA区・東側のB区から古代以降と考えられる掘立柱建物跡1棟・土坑7基・溝跡4条・方形周溝1基・柱穴跡26口を検出した。また、試掘トレンチT01・02ではこの他に土坑3基・溝跡1条を検出した（第35図）。

・掘立柱建物跡

R B O O 1 (第37図)

位置 調査区B区北東部 重複関係 なし 構造 柱行・梁行とも1間以上（調査区外）

規模 南北側柱筋柱間2.4m、東西側柱筋柱間2.4m 建物方向 N15.0°E（西側柱筋）

柱穴

	柱穴1	柱穴2	柱穴3
直径	約0.4m	0.45m	約0.4m
深さ	0.2m	0.45m	0.35m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

・土坑

R D 1 1 4 (第36図)

位置 調査区A区北西部 重複関係 R G 1 1 5 (新) 平面形 不整梢円形

規模 長軸1.1m以上（調査区外）、短軸1.4m、深さ0.35m 埋土 第14表

R D 1 1 5 (第36図)

位置 調査区A区北部 重複関係 P 6, P 9 平面形 不整梢円形

規模 長軸2.2m、短軸1.3m、深さ0.25～0.4m 埋土 第14表

底面の状態 凹凸あり 出土遺物 あかやき土器甕

R D 1 1 6 (第36図)

位置 調査区A区北部 重複関係 R G 1 1 9 (新) 平面形 不整梢円形

規模 長軸1.9m、短軸1.0m、深さ0.15～0.25m

埋土 第14表、下層（B層上面）に白色火山灰を含む

底面の状態 凹凸あり

R D 1 1 7 (第36図)

位置 調査区A区東部 重複関係 R G 1 1 9 (同時存在？) 平面形 不整梢円形

規模 長軸1.2m、短軸1.0m 床の状態 中央に小ピット1口

R D 118 (第36図)

位置 調査区A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形

規模 直径約 0.55 m, 深さ 0.2 m **埋土** 第14表

R D 119 (第37図)

位置 調査区B区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形

規模 直径 0.6 ~ 0.7 m, 深さ 0.35 m **埋土** 第14表

R D 120 (第37図)

位置 調査区B区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形? (調査区外)

規模 直径 1.15 m以上 (調査区外) **埋土** 第14表

・溝跡

R G 115 (第36図)

位置 調査区A区西部 **重複関係** R D 114 (旧)

規模 幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 10.2 m以上 (調査区外), 深さ 0.15 m, 南北方向に走る **埋土** 第14表

R G 116 (第36図)

位置 調査区A区西部 **重複関係** R G 117 (新), R G 119 (旧)

規模 幅約 0.5 m, 延長 9.6 m以上 (調査区外), 深さ 0.2 m, 南北方向に走る **埋土** 第14表

R G 117 (第36図)

位置 調査区A区西部 **重複関係** R G 116 (旧), R G 119 (旧)

規模 幅約 1.0 m, 延長 10.9 m以上 (調査区外), 深さ 0.4 m **埋土** 第14表

R G 118 (第36図)

位置 調査区A区中央部 **重複関係** R G 119 (旧), P 8

規模 幅 0.4 ~ 0.5 m, 延長 6.6 m以上 (調査区外), 深さ 0.4 m **埋土** 第14表

・方形周溝

R G 119 (第36図)

位置 調査区A区中央部 **重複関係** R G 116 · 117 · 118 (新), R D 116 · 117

平面形 溝により隅丸方形を区画

規模 全体南北 7.5 ~ 7.6 m, 東西約 7.1 m, 溝幅 0.15 ~ 0.3 m, 深さ 0.3 m **埋土** 第14表

底面の状態 小ピットを多数検出

・ピット

調査区A区内に11口、B区内に23口の計34口のピットを確認した。埋土土層は第14表を参照。

	P1	P2	P3	P4	P5	P6
位置	A区北西部	A区北西部	A区北西部	A区北部	A区北部	A区北部
重複	なし	RG117	RG116+117	なし	なし	RD115
直径	0.2m	0.4~0.45m	0.35m	0.4m	0.25~0.35m	0.3m
深さ	—	—	—	—	—	—
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—	—	—

	P7	P8	P9	P10	P11	P12
位置	A区北部	A区中央部	A区中央部	A区中央部	A区南部	B区北西部
重複	RD115	なし	RG118	なし	なし	なし
直径	0.3m	0.45~0.5m	0.5m	0.4m	0.45~0.5m	0.25~0.3m
深さ	—	—	—	0.4m	—	0.2m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—

	P13	P14	P15	P16	P17	P18
位置	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北東部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	—
直径	0.2~0.25m	0.2m	0.2m	0.2m	0.3~0.35m	0.45~0.55m
深さ	0.35m	0.1m	0.05m	0.1m	0.25m	—
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—	—	—

	P19	P20	P21	P22	P23	P24
位置	B区北東部	B区北西部	B区北東部	B区南西部	B区南西部	B区南西部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	なし
直径	0.35~0.4m	0.25~0.35m	0.15~0.2m	0.5m	0.15m	0.45~0.55m
深さ	0.45m	0.2m	0.15m	0.3m	—	—
平面形	不整円形	不整椭円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	—	—	柱痕跡あり	—	—

	P 25	P 26	P 27	P 28	P 29	P 30
位置	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	なし
直径	0.25m	0.15m	0.2~0.3m	0.2m	0.2m	0.2m
深さ	0.2m	0.1m	0.15m	0.05m	0.2m	0.15m
平面形	不整円形	不整円形	不整橢円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—	—	柱痕跡あり

	P 31	P 32	P 33	P 34
位置	B 区南部	B 区南部	B 区南部	B 区南部
重複	なし	なし	なし	なし
直径	0.15m	0.2m	0.15m	0.15m
深さ	0.15m	0.25m	—	—
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	—	—	—

(8) 第 28 次調査（平成 10 年度）

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。事前の試掘調査でトレーナーを入れたところ、遺構・遺物が確認されたため、建築工事による基礎掘削が行われる範囲を本調査対象とし、その他遺構を確認した部分は掘削制限による保存措置とした。調査面積は 732m²。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の陥し穴 1 基、古代以降の土坑 3 基、溝跡 3 条を検出した。また、試掘トレーナーではこの他に竪穴住居跡 3 棟・土坑 4 基・溝跡 2 条を検出した（第 38 図）。

・陥し穴

R D 124 (第 39 図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 幅 0.25 ~ 0.6 m、長さ 3.6 m、南北方向 埋土 第 15 表

・土坑

R D 121 (第 40 図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし 平面形 不整円形

規模 直径 0.85 ~ 0.9 m、深さ約 0.8 m 埋土 第 15 表

R D 122 (第 39 図)

位置 調査区西部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形
規模 直径 1.1 ~ 1.2 m, 深さ約 0.2 m **埋土** 第 15 表

R D 123 (第 39 図)

位置 調査区西部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形
規模 直径約 1.2 m, 深さ約 0.3 m

・溝跡

R G 120 (第 39 図)

位置 調査区西部 **重複関係** なし
規模 幅 0.8 ~ 1.5 m, 延長 24.4 m 以上 (調査区外), 深さ 0.1 ~ 0.3 m **埋土** 第 15 表
出土遺物 (第 69 図, 第 23 表) 須恵器甕 (092)

R G 121 (第 40 図)

位置 調査区東部 **重複関係** なし
規模 幅 0.4 ~ 1.05 m, 延長 9.6 m 以上 (調査区外), 深さ 0.2 ~ 0.35 m, 東西方向に走る **埋土** 第 15 表

R G 122 (第 40 図)

位置 調査区東部 **重複関係** なし **埋土** 第 15 表
規模 幅 2.3 ~ 3.1 m, 延長 10.4 m 以上 (調査区外), 深さ約 0.3 m, 東西方向から南東方向へ曲がる

・ピット

P 1 (第 39 図)

位置 調査区北西部 **重複関係** なし **平面形** 不整梢円形 **規模** 直径 0.3 ~ 0.4 m
出土遺物 (第 69 図, 第 23 表) 土師器壺 (埋土上面, 091)

(9) 第 30 次調査 (平成 10 年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、公共下水道建設に伴う試掘調査として実施し、遺構を検出した部分のみ遺構の精査を行った。調査面積は 346m²。工事と同時に重機により舗装路盤及び旧表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、A ~ F 区の 6箇所で奈良時代の竪穴住居跡 1 棟、古代の竪穴住居跡 1 棟、古代以降の土坑 1 基・溝跡 3 条を検出した (第 8 図)。なお、各遺構の記録は任意座標での平板測量にて行い、高さも任意のレベルを使用した。

・竪穴住居跡

R A 3 0 0 1 (第 41 図)

位置 調査区D区 重複関係 なし 平面形 不整隅丸方形? (調査区外)

規模 南北 3.4 ~ 3.8 m, 東西 1.25 m以上 (調査区外), 深さ 0.3 ~ 0.5 m

カマド方向 北カマド, 長い煙道 (1.0 m) 埋土 第 16 表 カマド 両袖残存

出土土器 (第 71 図, 第 23 表) 土師器甕 (095)・小型甕 (096)・球胴甕 (097)

時期 奈良時代 (8世紀後半)

R A 3 0 0 2 (第 41 図)

位置 調査区E区 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (北西隅部分のみ)

規模 東西 0.5 m以上, 南北 0.2 m以上 (調査区外), 深さ 0.45 m

R D 3 0 0 1 (第 41 図)

位置 調査区C区 重複関係 なし 平面形 不整梢円形 規模 長軸 0.6 m, 短軸 0.45 m

R G 3 0 0 1 (第 41 図)

位置 調査区A区 重複関係 なし 規模 幅 0.5 m, 延長 1.2 m以上 (調査区外)

R G 3 0 0 2 (第 41 図)

位置 調査区B区 重複関係 なし 規模 幅 0.5 ~ 1.1 m, 延長 0.7 m以上 (調査区外)

R G 3 0 0 3 (第 41 図)

位置 調査区F区 重複関係 なし

規模 幅 1.15 m, 延長 1.35 m以上 (調査区外), 深さ 0.25 m, 北西から南東方向に走る 埋土 第 16 表

(10) 第 31 次調査 (平成 10 年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査面積は 517m²。重機により表土を全面除去、遺構検出とサブトレンチで土層を観察し、掘削制限により保存措置とした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、古代の溝跡 3 条を検出した (第 42 図)。

・溝跡

R G 3 1 0 1 (第 42 図)

位置 調査区北部 重複関係 R G 3 1 0 2 (旧)

規模 幅約 2.1 m, 延長 16.8 m以上 (調査区外), 深さ 0.4 ~ 0.5 m, ほぼ東西に走る 埋土 第 17 表

出土土器 トレンチからあかやき土器壺、須恵器壺・甕

R G 3102 (第42図)

位置 調査区北部 重複関係 R G 3101 (新)

規模 幅13m以上、延長16.8m以上(調査区外)、深さ0.4~0.5m、蛇行しながらほぼ東西に走る

埋土 第17表

R G 3101 (第42図)

位置 調査区南部 重複関係 R G 3102 (旧)

規模 幅4.8m以上、延長16.8m以上(調査区外)、深さ0.4~0.5m、蛇行しながらほぼ東西に走る

埋土 第17表

(11) 第32次調査(平成11年度)

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は550m²。重機により表土を除去し、黄褐色土上面にて遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の溝跡2条、古代以降の土坑1基、溝跡15条を検出した(第43図)。

・土坑

R D 128 (第47図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 幅0.35~0.4m、長さ3.2m、深さ0.35m

・溝跡

R G 130 (第47図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし

規模 幅0.5~2.1m、延長27.0m以上(調査区外)、深さ0.15~0.2m

埋土 第18表、上層(A4層)に白色火山灰を含む

出土土器 土師器壺、あかやき土器壺

時期 平安時代

R G 131 (第44・45図)

位置 調査区北部 重複関係 R G 136

規模 幅1.1~2.1m、延長39.5m以上(調査区外)、深さ0.1~0.5m、東西方向に走る 埋土 第18表

底面の状態 ゆるやかな皿状、底面に土器片が多数散布

出土土器(第72図、第23表) 土師器壺・高台付壺・甕・小型甕、あかやき土器壺・甕、須恵器壺(098~102)・甕

時期 平安時代(9世紀後半)

R G 1 3 2 (第 45 図)

位置 調査区北部 **重複関係** なし

規模 幅 0.35 ~ 0.65 m, 延長 13.8 m, 深さ約 0.05 m, 途中 1箇所途切れやや曲がりながら東西方向に走る

R G 1 3 3 (第 44 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし

規模 幅 0.25 ~ 0.3 m, 延長 2.0 m, 深さ約 0.05 m, 少し曲がりながらほぼ東西方向に走る

R G 1 3 4 (第 44 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし

規模 幅 0.25 ~ 0.35 m, 延長 2.8 m, 深さ約 0.05 m

R G 1 3 5 (第 44 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし

規模 幅 0.2 ~ 0.35 m, 延長 8.9 m, 深さ約 0.05 m, ほぼ東西に走る

出土遺物 あかやき土器壺, 須恵器壺

R G 1 3 6 (第 45 図)

位置 調査区北部 **重複関係** R G 1 3 1

規模 幅 0.3 ~ 0.5 m, 延長 10.4 m, 深さ 0.05 ~ 0.1 m, 途中 1箇所途切れながら南北方向に走る

R G 1 3 7 A · B · C (第 45 図)

位置 調査区北部 **重複関係** なし **埋土** 第 18 表

規模 3本の溝が南北に並行, 幅 0.3 ~ 0.4 m, 延長 1.3 ~ 1.7 m, 深さ約 0.1, 北東から南西方向に走る

R G 1 3 8 (第 44 · 46 図)

位置 調査区北部 **重複関係** なし **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.2 ~ 0.9 m, 延長 70 m以上 (調査区外), 深さ 0.1 ~ 0.2 m, 途中 2箇所途切れ北東から南西方向にやや屈曲しながら走る

出土土器 土師器高台付壺, あかやき土器壺, 須恵器壺

R G 1 3 9 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** R G 1 4 1 · 1 4 2 **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.5 ~ 0.6 m, 延長 22 m以上 (調査区外), 深さ 0.35 m, 北端で 1箇所途切れ北西から南東方向に走る

R G 1 4 0 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし (R G 1 3 9 と並行) **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.2 ~ 0.35 m, 延長 10.3 m, 深さ約 0.05 m, 途中 5 箇所で途切れ北西から南東方向に走る

R G 1 4 1 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** R G 1 3 9 **埋土** 第 18 表

規模 幅約 0.25 m, 延長 2.6 m, 深さ約 0.05 m, 南北方向に走り R G 1 3 9 に結合する

R G 1 4 2 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** R G 1 3 9 **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.4 ~ 0.5 m, 延長 3.4 m, 深さ約 0.2 m, 南北方向にやや屈曲しながら走り R G 1 3 9 に結合する

R G 1 4 3 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.45 ~ 1.0 m, 延長 8.1 m 以上 (調査区外), 深さ約 0.2 m, 北西から南東方向に走る

出土遺物 あかやき土器窯

R G 1 4 4 (第 48 図)

位置 調査区北東部 **重複関係** なし **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.25 ~ 0.35 m, 延長 1.8 m, 深さ約 0.05 m, 北西から南東方向に走る

R G 1 4 5 (第 47 図)

位置 調査区西部 **重複関係** R G 1 4 6 (新) **埋土** 第 18 表

規模 幅 0.35 ~ 0.4 m, 延長 5.2 m, 深さ約 0.1 m, 東西方向に走る

R G 1 4 6 (第 47 図)

位置 調査区西部 **重複関係** R G 1 4 5 (旧)

規模 幅 0.4 ~ 0.55 m, 延長 3.0 m 以上 (調査区外), 深さ約 0.15 m, 南北方向に走る

(12) 第 35 次調査 (平成 12 年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は 145m²。重機により表土を除去し、黄褐色～黒色土上面で遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の陥し穴 1 基、奈良時代の竪穴住居跡 1 棟、古代以降の土坑 2 基、柱穴 10 口を検出した (第 49 図)。

・陥し穴

R D 129 (第 49 図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 幅 0.4 ~ 0.6 m, 長さ 2.5 m 以上 (調査区外), 深さ 1.2 m

・竪穴住居跡

R A O 17 (第 50 図)

位置 調査区北西部 重複関係 圓角方形 平面形 圓角方形

規模 南北 2.7 m, 東西 2.8 m, 深さ 約 0.35 m

カマド方向 N20.0° W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 0.5 m 以上, 調査区外) 埋土 第 19 表

カマド 両袖残存 床の状態 カマド焚き口焼け面, 床面中央と西部に焼け面, 床面西部に炭化材あり

出土遺物 (第 70 図, 第 23 表) 土師器壺 (093)・甕 (094), 砥石 1 個

時期 奈良時代 (8 世紀後半 ~ 9 世紀初頭?)

・土坑

R D 130 (第 49 図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 不整梢円形 規模 長軸 0.9 m, 短軸 0.35 m

・ピット

P 1 ~ 10 (第 49 図)

位置 調査区南西部 重複関係 P 1 と P 2, P 4 と P 5 平面形 不整円形

規模 直径 0.25 ~ 0.4 m

第4章 調査成果のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成5～12年度の盛南地区遺跡群の発掘調査により、第3章に記述した内容の成果を得ることができた。

以下、古代集落の一部をある程度まとめて調査することのできた本宮熊堂B遺跡第12次調査、野古A遺跡第6・11次調査の主な遺構と遺物について、まとめを記述する。

1. 本宮熊堂B遺跡第12次調査

竪穴住居跡： 本調査では、A区で2棟、B区で3棟の計5棟の竪穴住居跡を精査している。時期については、後述するように出土土器の様相から平安時代・9世紀後半と考えられる。おずれもカマド方向は東カマドであり、RA030については同位置でのカマドの作り替え（a・b期）がある。竪穴住居跡の規模についてみると、RA031はほとんど削平されており正確な規模が不明なので除外すると、RA028・030が一辺6.3～7.9mと大型であり、RA027・029は一辺4.3～4.7mであり小型といえる。

本宮熊堂B遺跡については、本調査区周辺一帯を県理文センターが広く発掘調査を行っており（第3図）、奈良時代・8世紀後半の竪穴住居跡群、及び平安時代9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群と掘立柱建物跡数棟が発見されている。これら遺構の分布については、8世紀後半の遺構が遺跡中央部分にまとまっているのに対し、9世紀後半～10世紀前半の遺構は旧河道縁辺に近い遺跡東側に移動しているようである（津嶋2004）。本調査区の竪穴住居跡もこの傾向の中にあるものといえる。

出土土器： RA027～030竪穴住居跡より、土師器・あかやき土器・須恵器がまとまって出土している（第73・74図、第20表）。

壺類は、土師器・あかやき土器が主体であり、台付のものもみられる。実測図化を行った土師器壺・あかやき土器壺のうち、特殊な大型壺である034を除く29点について、器高・口径・底径等の数値分布を検討したのが第24表である。ちなみに、土師器大型壺である034は、器高9.0cm・口径26.0cmと他の壺の約2倍の大きさを持つ珍しい器種であり、非常に丁寧なつくりであることから、特殊な用途に用いられたものと考えられる。

甕類についてみると、あかやき土器が主体であり、ロクロを用いない土師器は046のように粗い調整のつくりとなっている。

以上のような様相から、本宮熊堂B遺跡第12次調査竪穴住居跡群から出土した土器群は、9世紀後半（第4四半期？）と考えられる。

2. 野古A遺跡第6・11次調査

竪穴住居跡： 第6次調査で2棟、第11次調査で6棟の計8棟の竪穴住居跡を精査している。時期については、後述するように出土土器の様相から、第6次調査RA006・第11次調査RA012・013が奈良時代・8世紀前半、第6次調査RA005・第11次調査RA008～011が平安時代・10世紀前半と

考えられる。奈良時代のRA006・012・013のカマド方向は、すべて北にふれた西カマドである。竪穴住居跡の規模は、RA006が一辺7.0mと大型であり、RA012・013は一辺3.8～4.0mであり小型といえる。特にRA006は、平面規模が大きい上に竪穴の深さが0.75～0.85mと深く、4口のしつかりした主柱穴、それに連結するような周溝と仕切り状の溝があるという、典型的な奈良時代の家父長クラスの竪穴住居といえる。一方、平安時代のRA005・008～011のカマド方向は、南にふれた東カマドと、奈良時代とは180度反対方向となっている。竪穴住居跡の規模は、RA005・008が一辺4.5～5.3mと中型であり、RA009～011が一辺3.5～4.1mと小型である。

野古A遺跡は、地形的に南東に隣接する飯岡沢田遺跡と一体の集落遺跡であり、本報告の第6・11次調査区周辺一帯を県埋文センターが広く発掘調査を行っており（第4・5図）、7世紀末～8世紀の竪穴住居跡群、9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群と掘立柱建物跡、9世紀前半～後半の馬蹄形状円形周溝墓・平面形長方形土坑墓多数が発見されている。これらの分布は、遺跡範囲全体に奈良時代・7世紀末～8世紀の竪穴住居跡群が分布し、その後平安時代・9世紀になると周辺の地形で最も標高の高い遺跡中央部（飯岡沢田遺跡北西部）に墓域が形成され、9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群は墓域を避けるように、その東西（野古A遺跡東部と飯岡沢田遺跡南東部）に分かれて分布しているようである（津嶋2004）。第6次調査区は、この9世紀の墓域から離れた場所に位置するが、円形周溝墓と考えられるRX001、埋土が人為堆積であり土坑墓の可能性が高いRD003・009・010、また同様に埋土が人為堆積であり集団墓の可能性がある竪穴状で掘り込みが深いRZ001というように、墓制に関連する遺構が集中している。これら遺構の時期については、確実な出土遺物がなく明確ではないが、埋土上層に白色火山灰が含まれており、RA006竪穴住居跡の埋土堆積の傾向と類似することから、奈良時代・8世紀代を想定しておきたい。ちなみに、RD009土坑は底面に袋状ピットがあり、また罹災のため現存しないが埋土上層からコハク製の管玉状装飾品が出土しており、時代は遡るもの、市内の永福寺山遺跡で発見された北方の後北式期の土坑墓（盛岡市教委 1997）を想起させる。

出土土器： RA005・006・008～012竪穴住居跡より、土師器・あかやき土器・須恵器が出土している。（第75・76図、第21・22表）。

RA006では床面及び埋土下層に多量の炭化材とともに多くの土師器甕がつぶれた状態で出土しており、一般的な長胴甕のほか球胴甕がみられる。また、RA012・013からはロクロ未使用の丸底で内外面ミガキ調整の土師器坏、柱状高台をもつ土師器高台付坏、土師器球胴甕が出土している。これらの様相から、野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡・第11次調査RA012・013竪穴住居跡出土の土器群は、8世紀前半（第2四半期？）と考えられる。

RA005・008～011についてみると、坏類は、土師器・あかやき土器が主体であり、台付のものもみられる。実測図化を行った土師器坏・あかやき土器坏のうち、11点について、器高・口径・底径等の数値分布を検討したのが第25表である。

甕類は、あかやき土器及び粗い調整の土師器がみられる。

以上のような様相から、野古A遺跡第6次調査RA005竪穴住居跡・第11次調査RA008～011竪穴住居跡出土の土器群は、坏類に前述した本宮熊堂B遺跡第12次調査竪穴住居跡群出土土器群より新しい要素（底径の小型化）がみられることから、10世紀前半（第1四半期？）と考えられる。

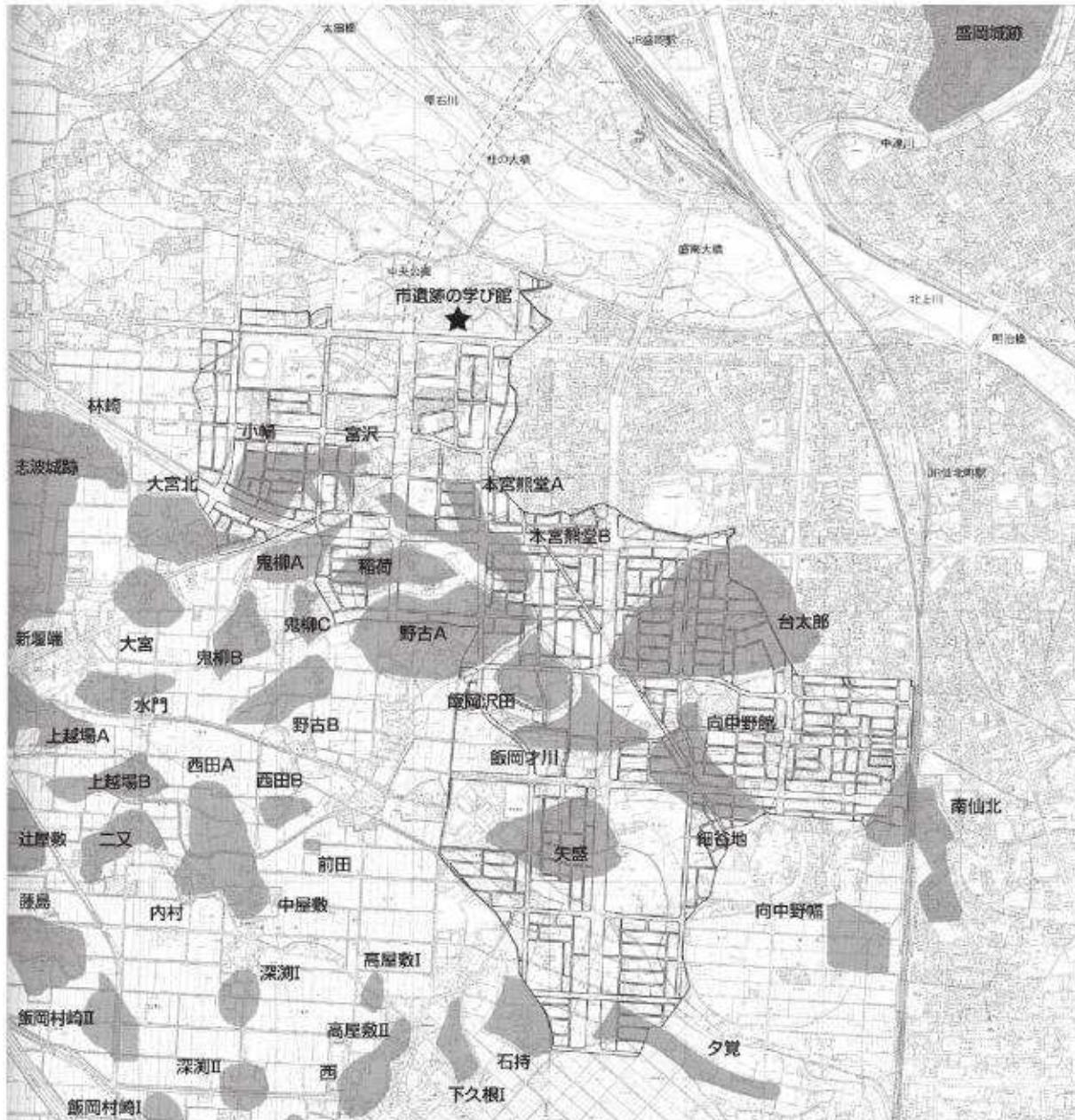
3. 墨書き土器

本宮熊堂B遺跡第12次調査で2点、野古A遺跡第11次調査で1点の墨書き土器と1点の刻書き土器が出土している。文字はそれぞれ、「田」(011)、「(不明)」(027)、「(不?)」(065)、「」(062)である。盛南地区遺跡群の中では、県埋文センターが行った向中野館遺跡第5・6次調査において100点以上の墨書き・刻書き土器が出土しており、その報告書の中で盛南地区遺跡群の調査でそれまで出土した墨書き・刻書き土器の集成・検討を行っている(県埋文センター 2002, 第503集)。これによると、墨書きの「田」は向中野館遺跡第5・6次調査で1点出土しているが、「不」の例はないようである。また刻書きの「」はある種の記号であろうが、例はないようである。盛南地区遺跡群の中では小幡遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡、飯岡才川遺跡、向中野館遺跡、細谷地遺跡、台太郎遺跡と、竪穴住居跡が多数ある9~10世紀の古代集落のほぼすべてから墨書き・刻書き土器が出土している。当然ながら、当該地域への文字の普及は、延暦22年(803)の志波城造営とそれに伴う蝦夷(エミシ)への律令統治の開始が契機と考えられるわけであるが、上記のような様相は、特定の移民集落のみに識字者が存在したわけではないことを示していると考えられ、律令統治下で集落を営む在地の俘囚の多くが、文書行政を行う官衙である「志波城(803~812年頃まで)」「徳丹城(812年頃~9世紀中頃)」及びその付属施設に多数、下級役人として仕えていた状況を想定することができるのではないだろうか。

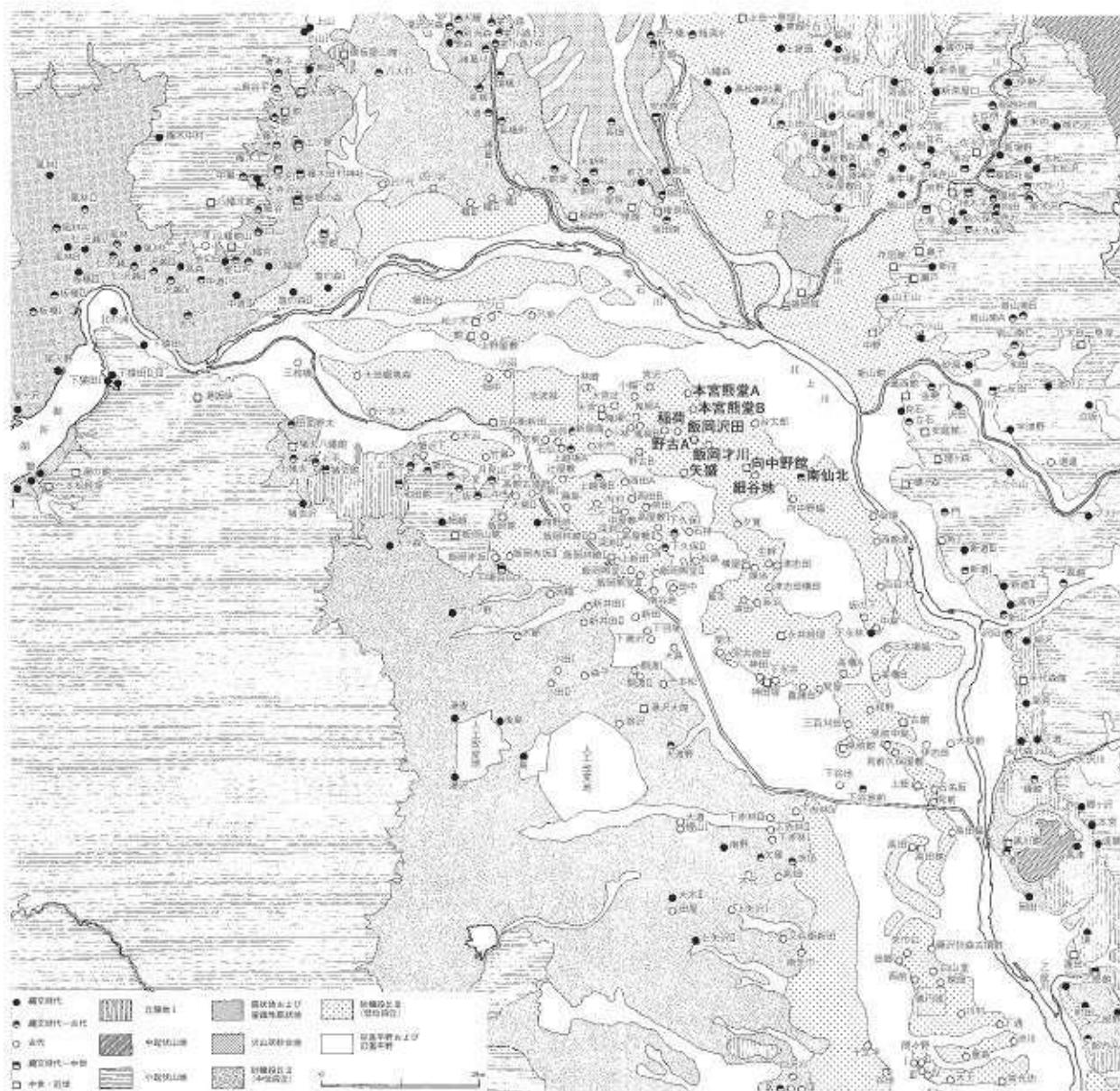
引用文献

- 津嶋知弘 1994 「志波城と蝦夷社会」「古代蝦夷と律令国家」高志書院
盛岡市教育委員会 1997 「永福寺山遺跡－昭和40・41年発掘調査報告書－」

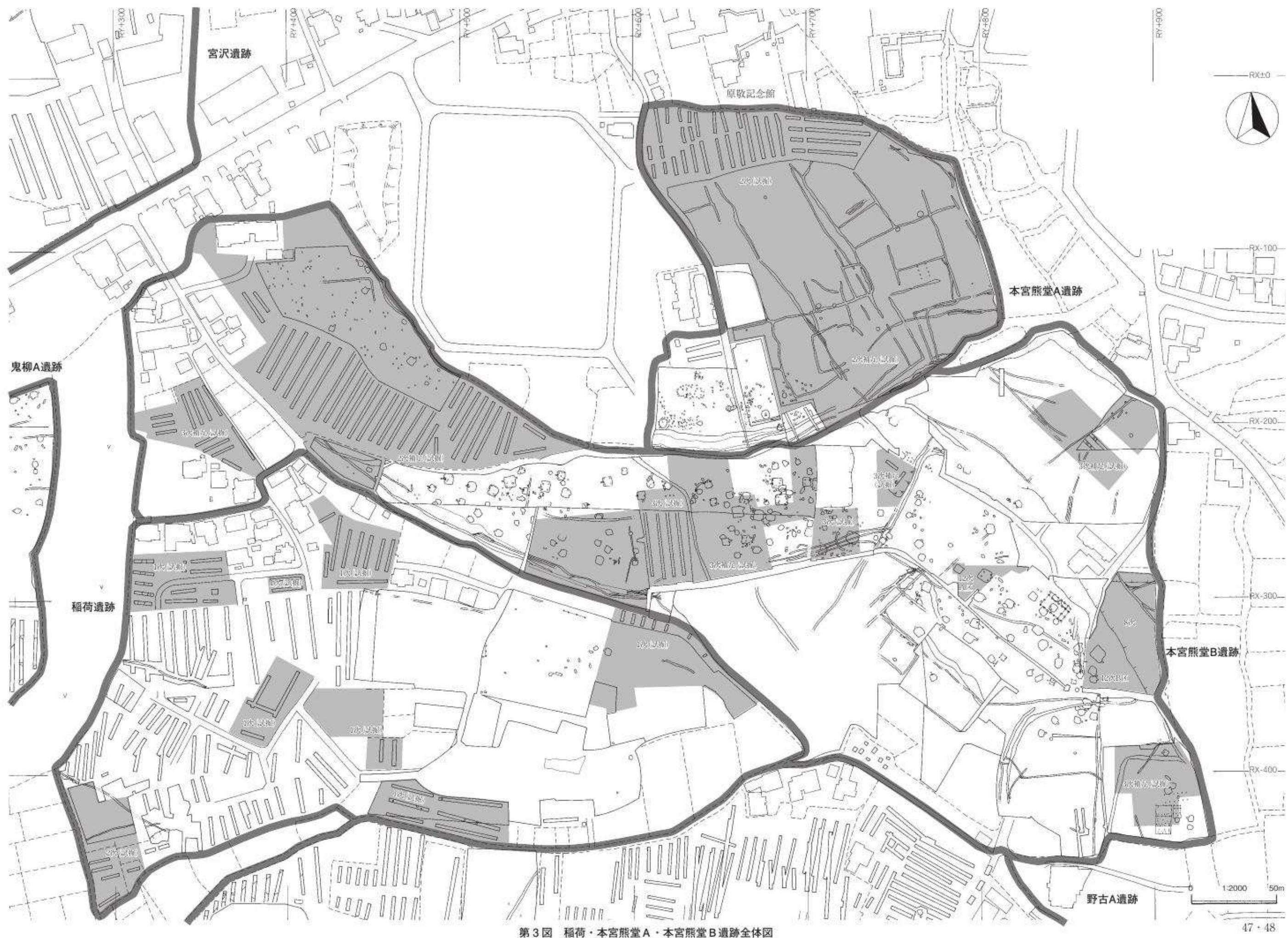
挿 図



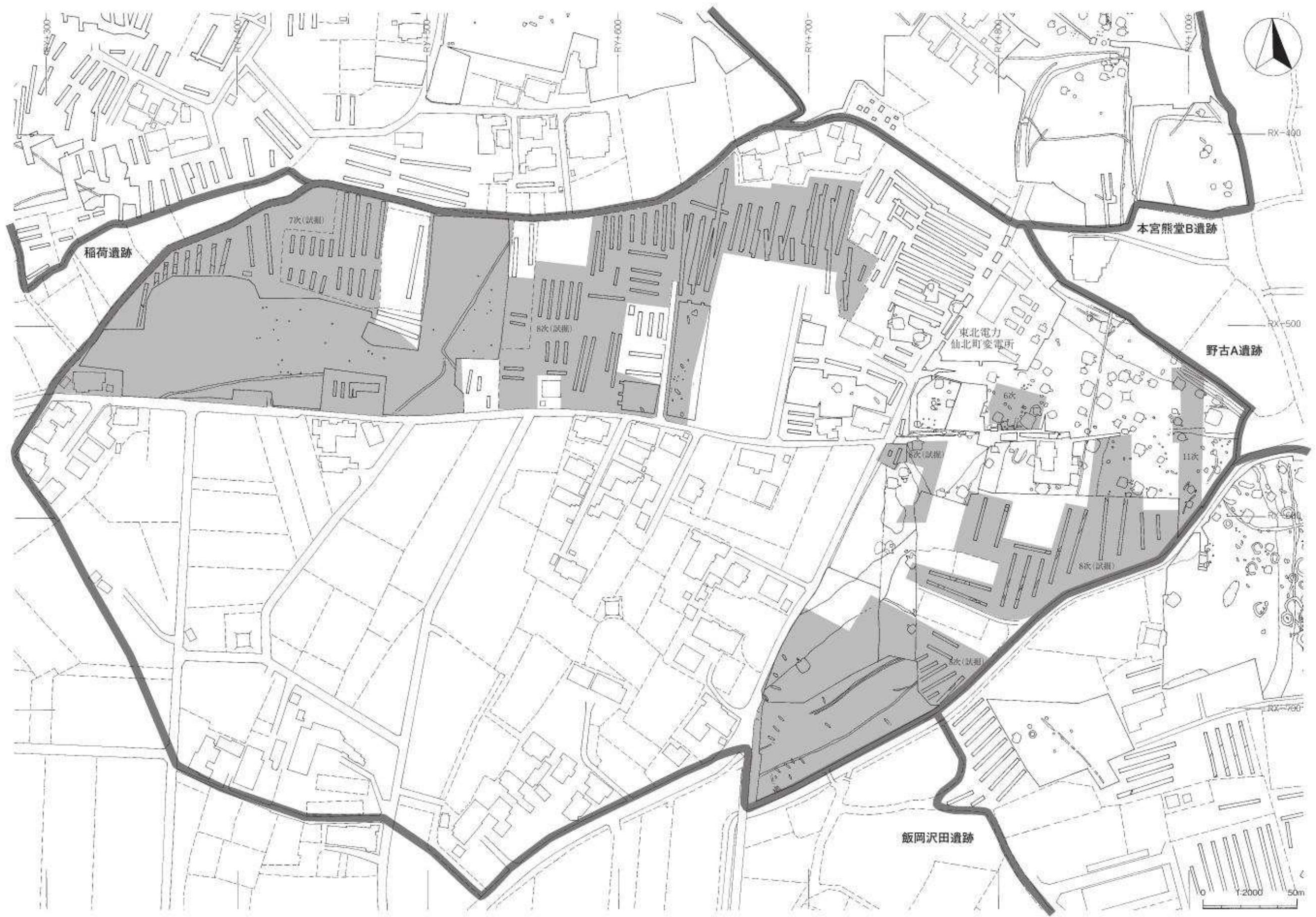
第1図 盛南地区遺跡群位置図



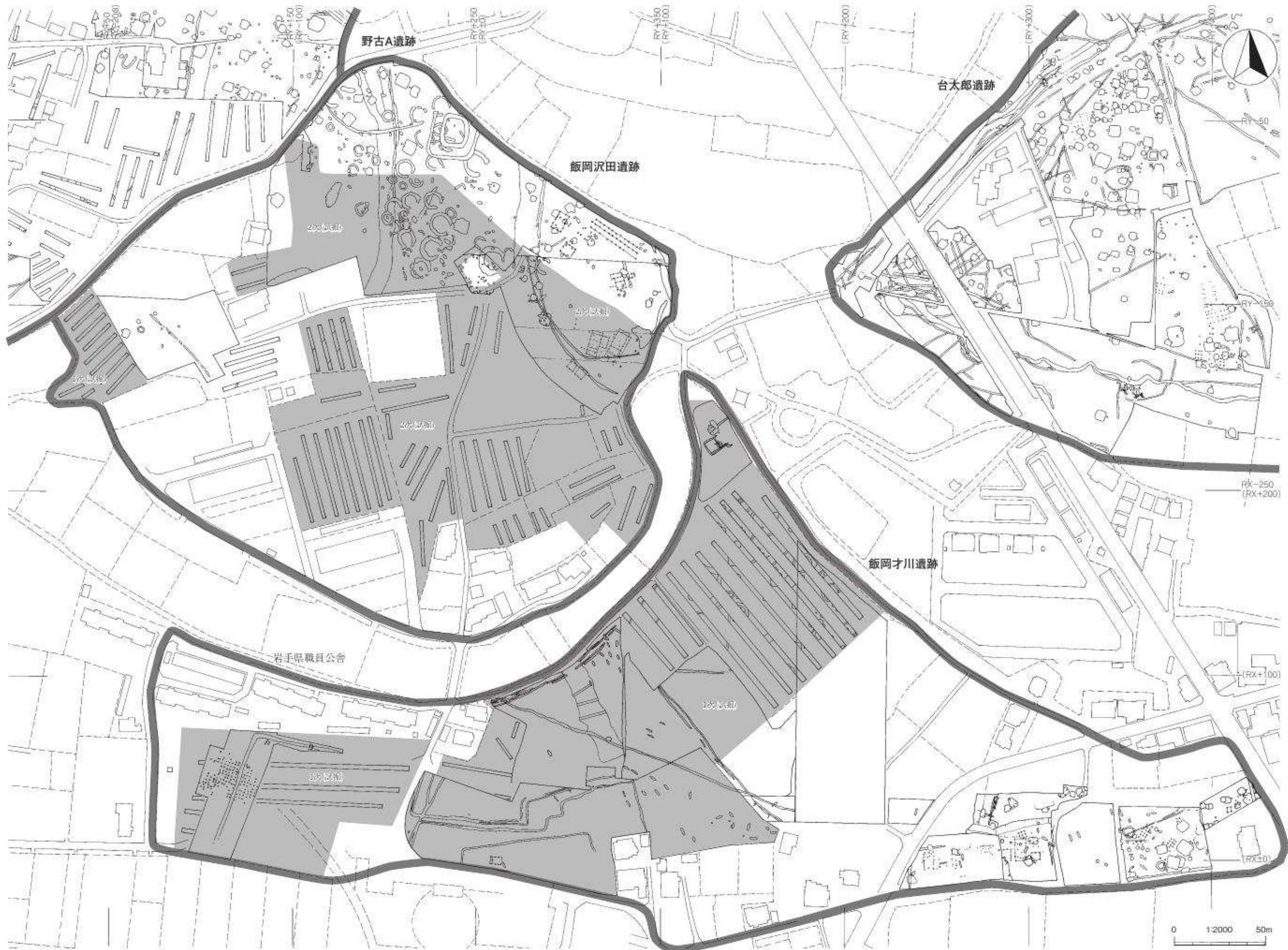
第2図 地形分類と遺跡分布図



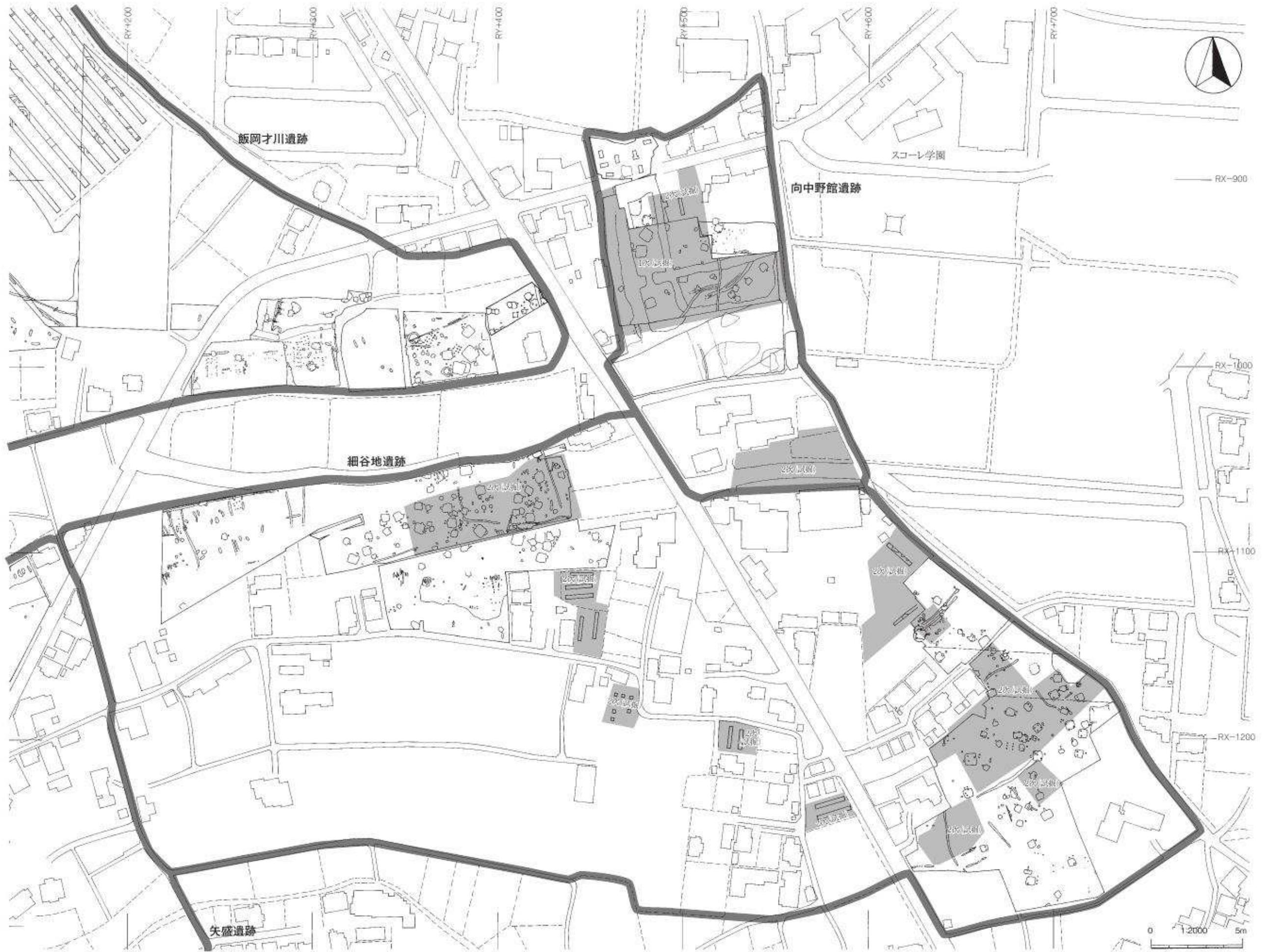
第3図 稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B遺跡全体図



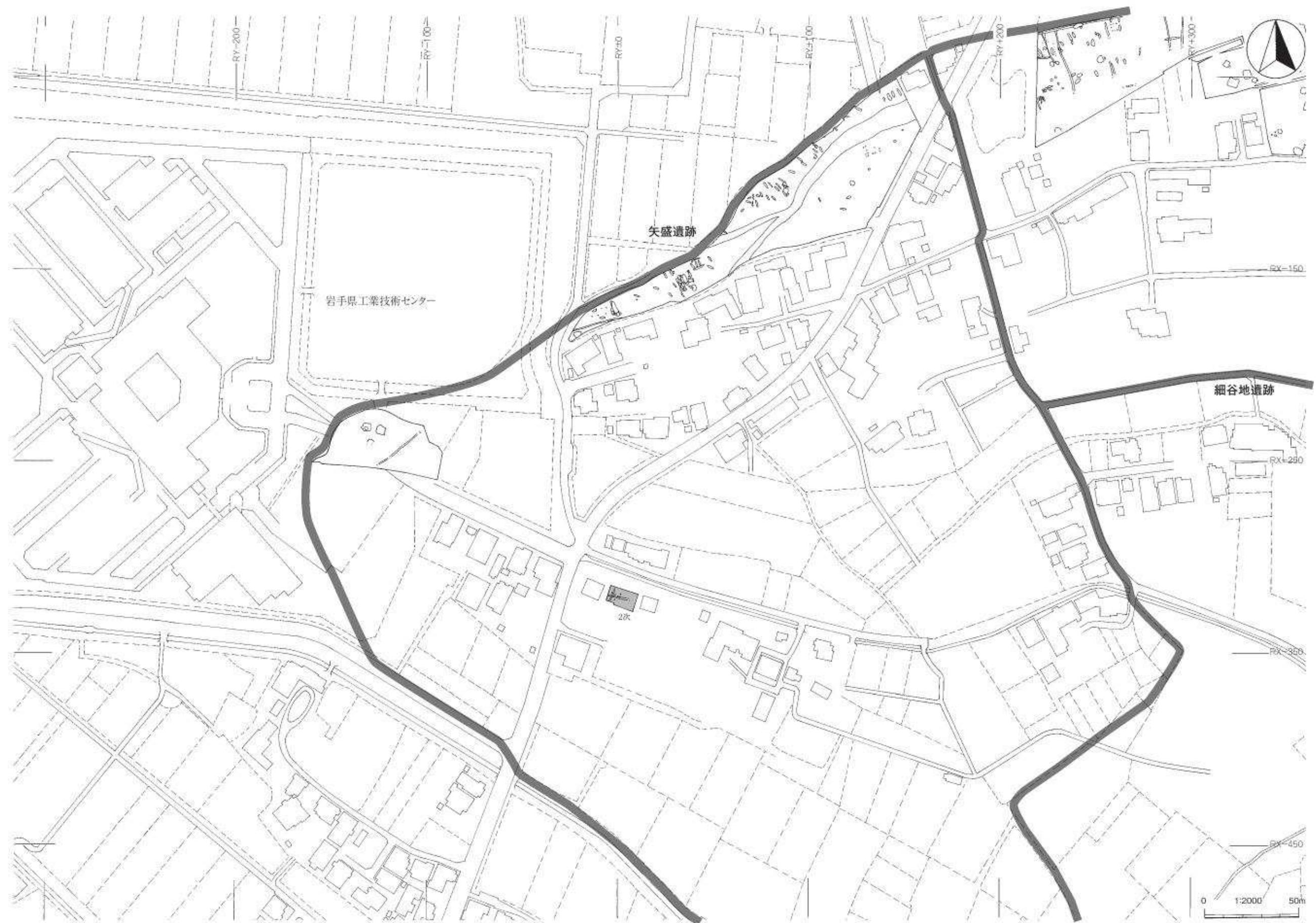
第4図 野古A遺跡全体図



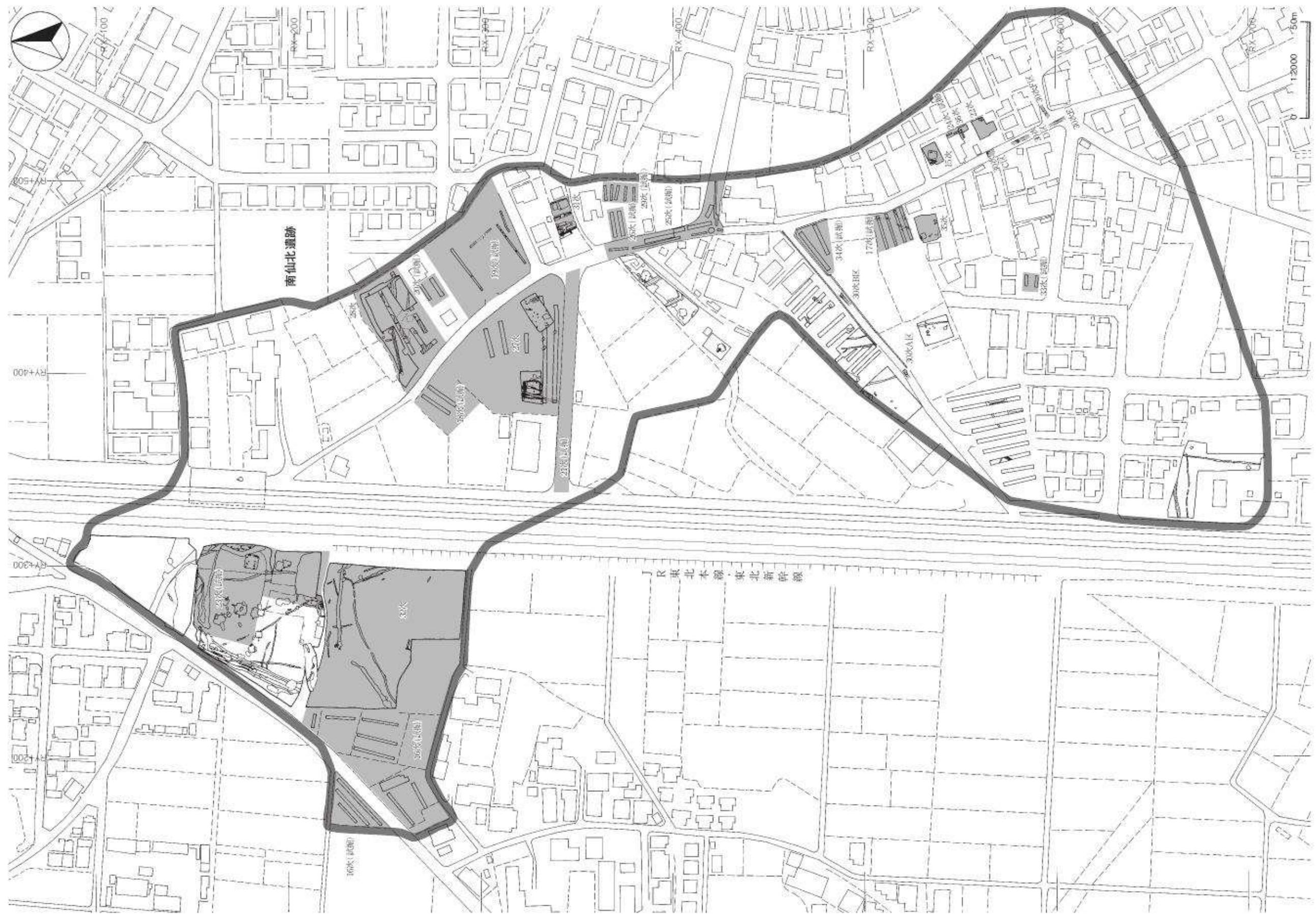
第5図 飯岡沢田・飯岡才川遺跡全体図 (〔 〕内は飯岡才川遺跡調査座標値)



第6図 向中野館・細谷地遺跡全体図



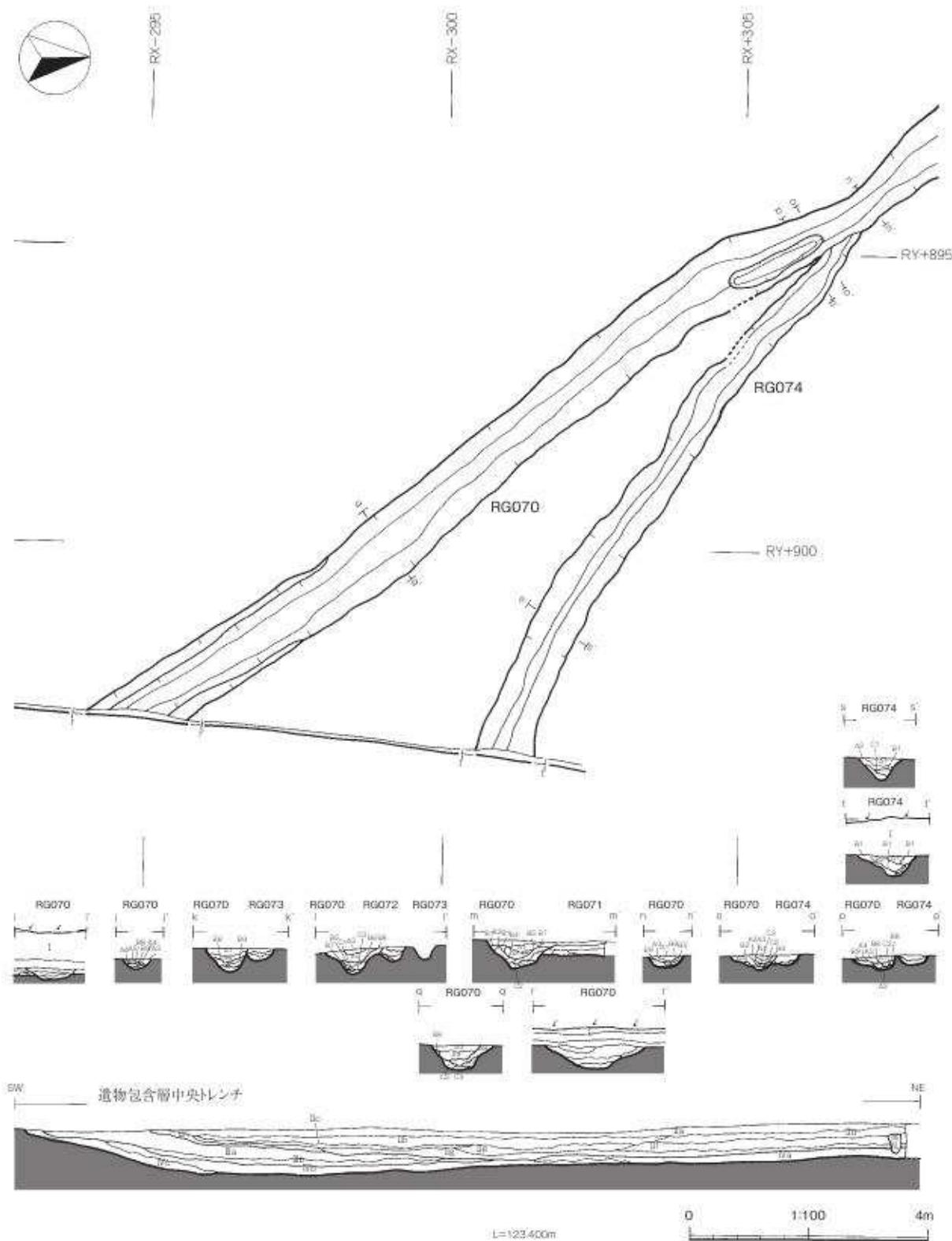
第7図 矢盛遺跡全体図



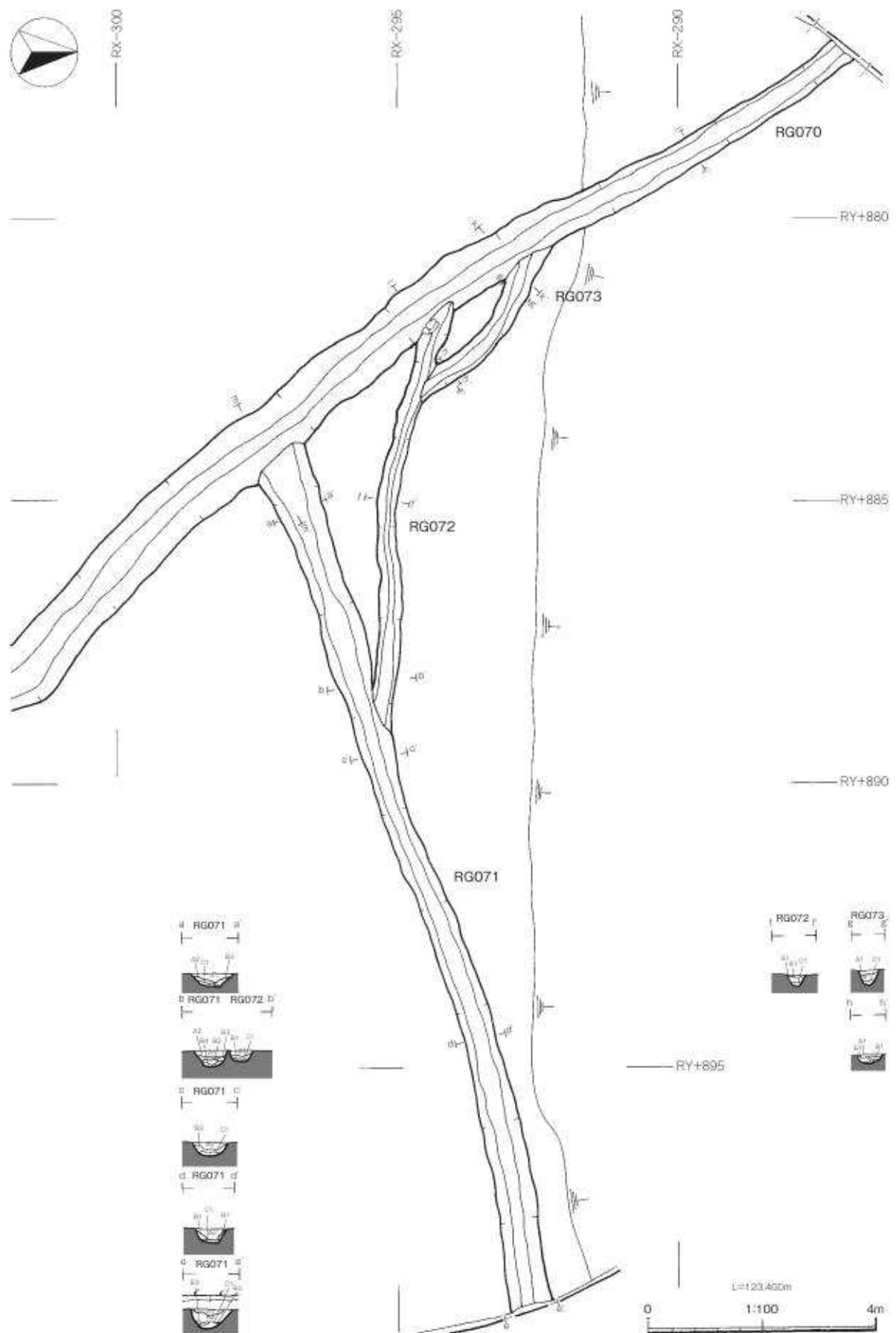
第8図 南仙北遺跡全体図



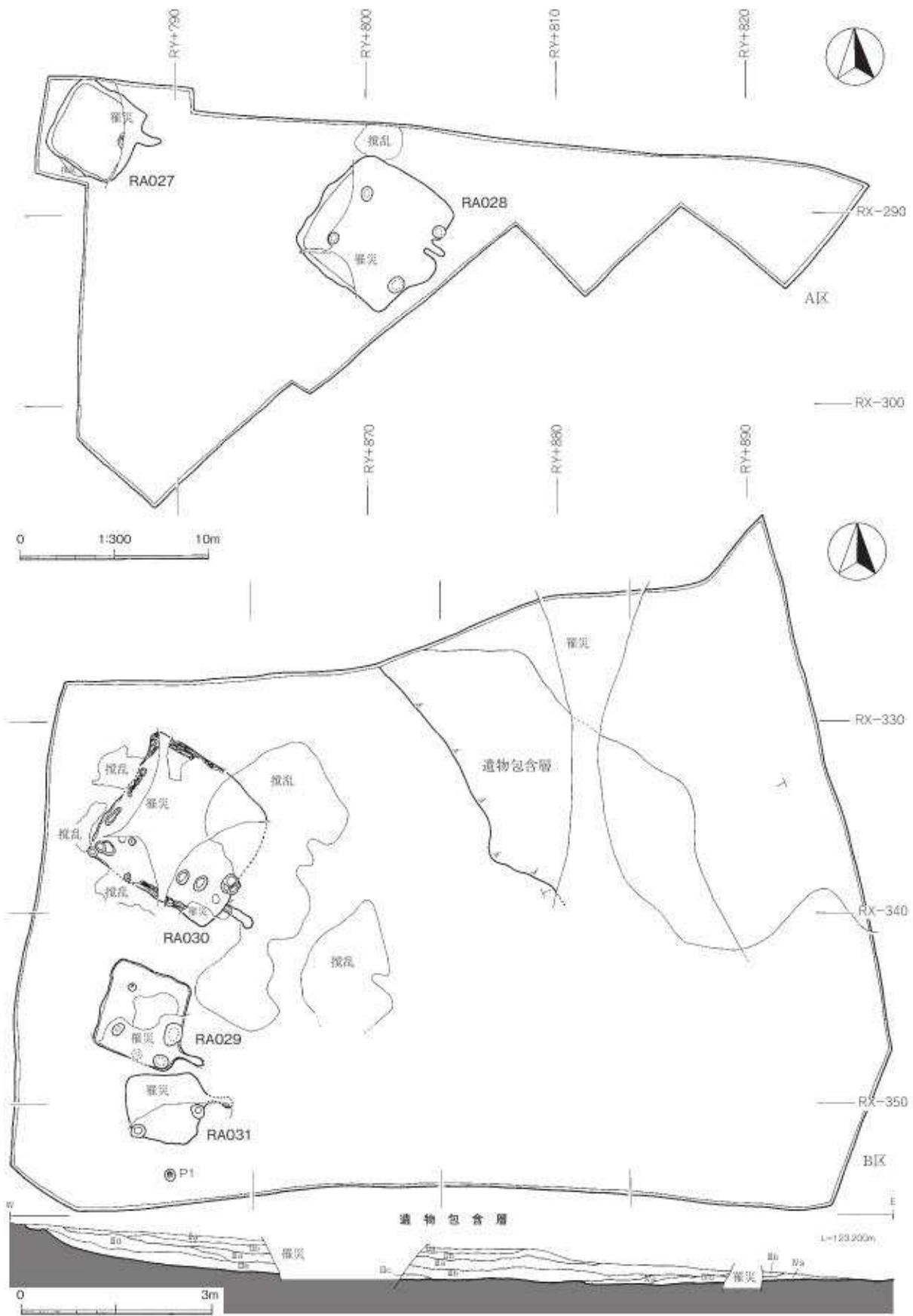
第9図 本宮熊堂B遺跡第8次調査区全体図



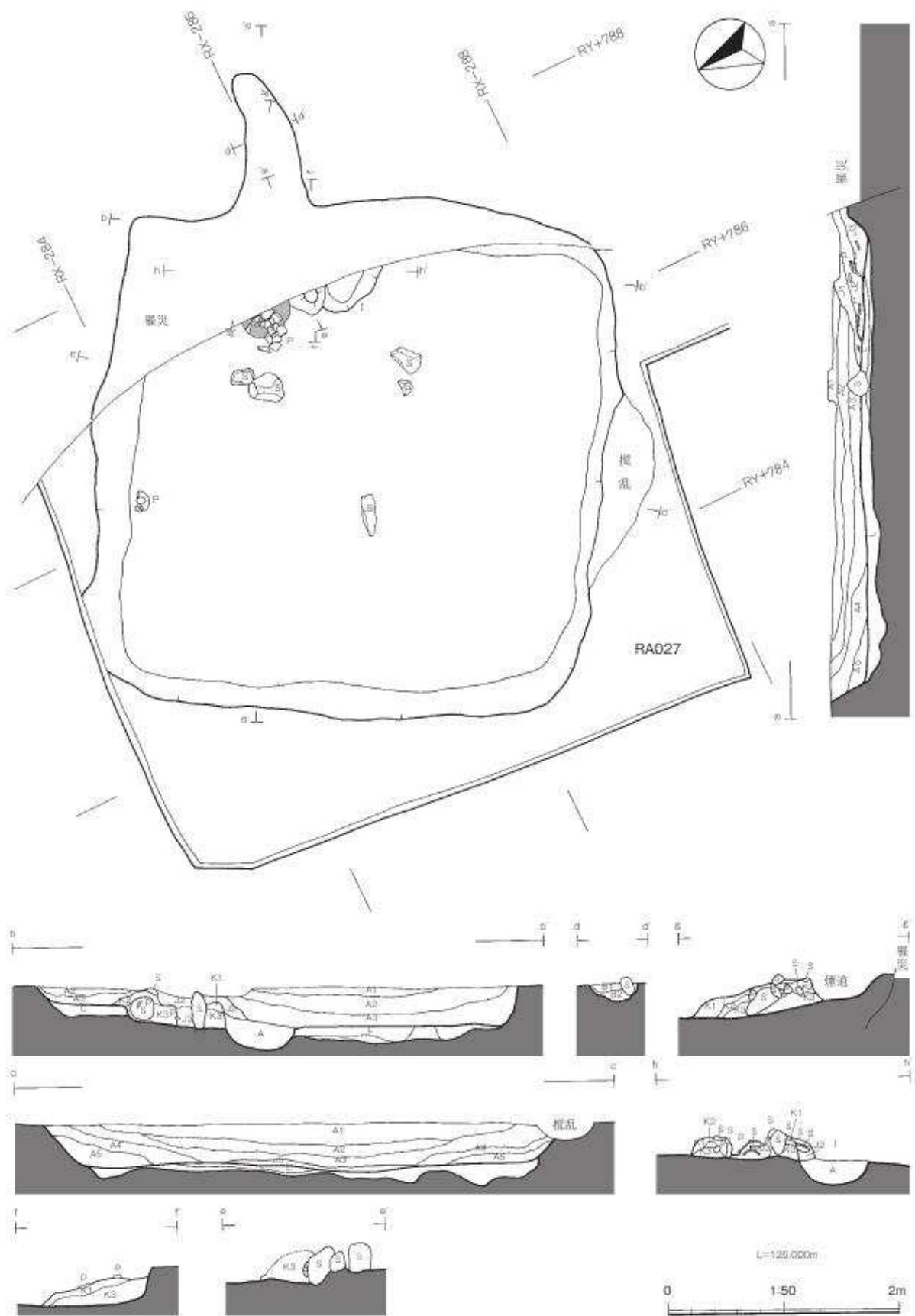
第10図 本宮熊堂B遺跡第8次調査 RG070・074溝跡



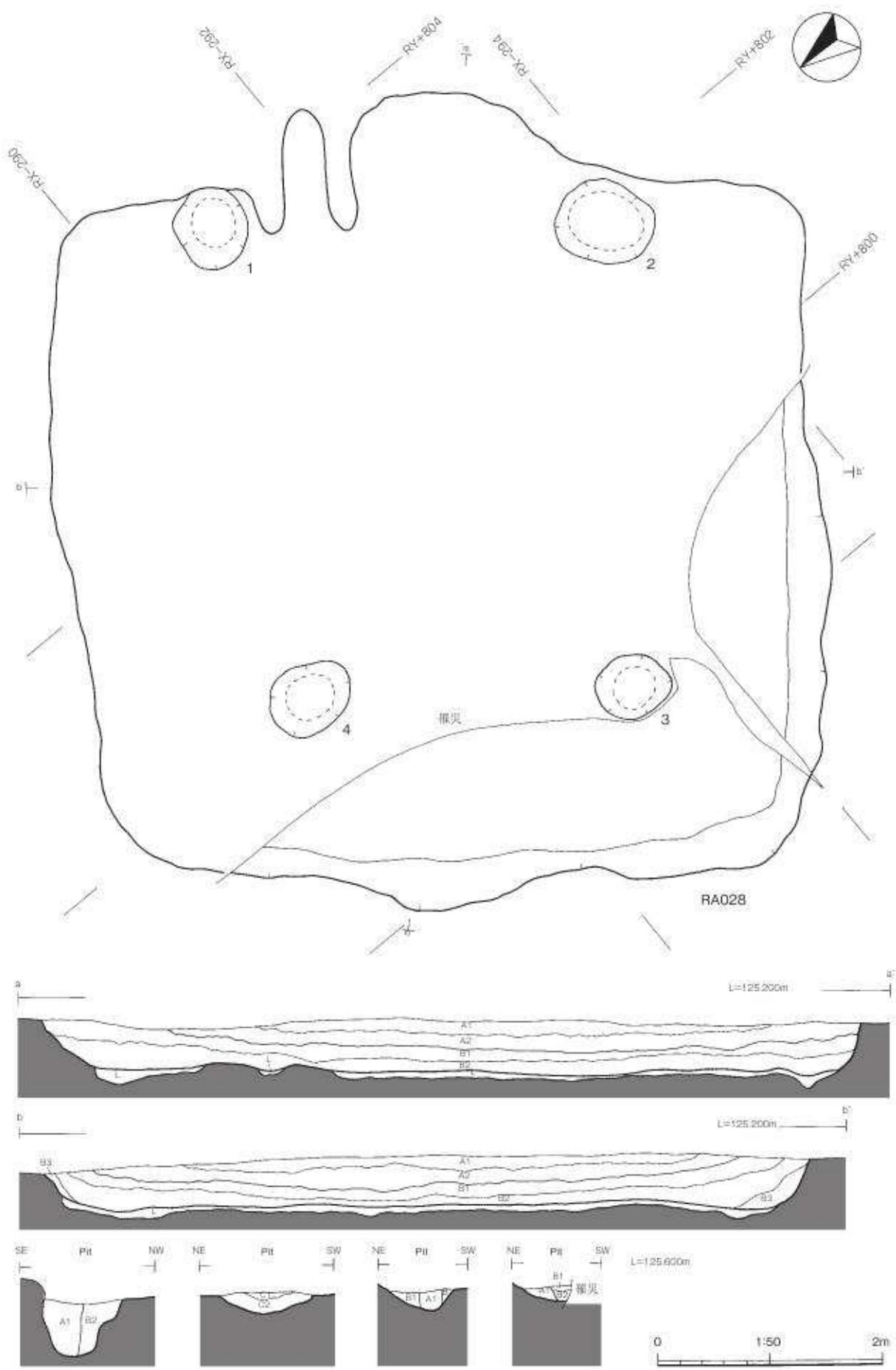
第11図 本宮熊堂B遺跡第8次調査 RG070・071・072・073溝跡



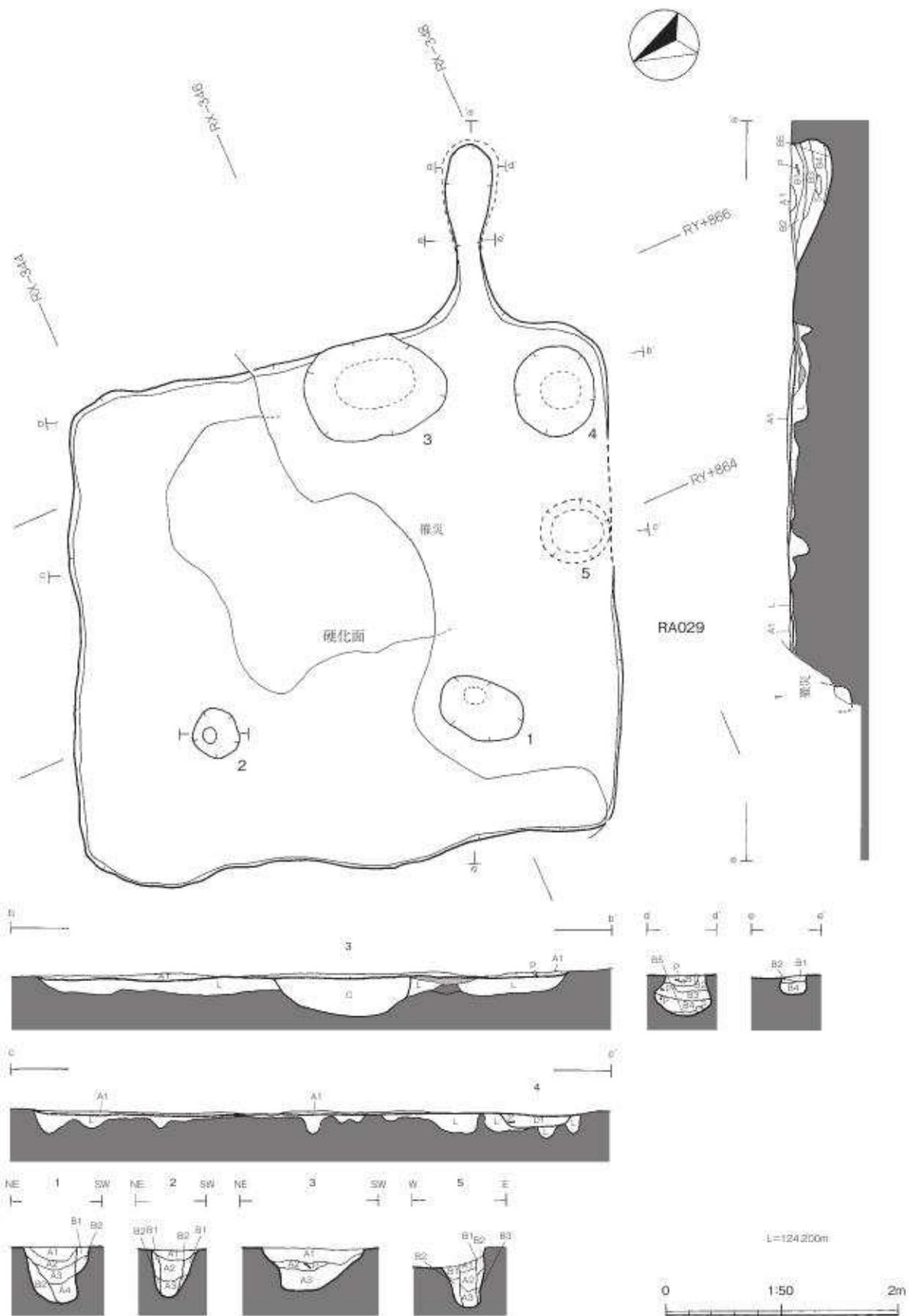
第12図 本宮熊堂B遺跡第12次調査区全体図



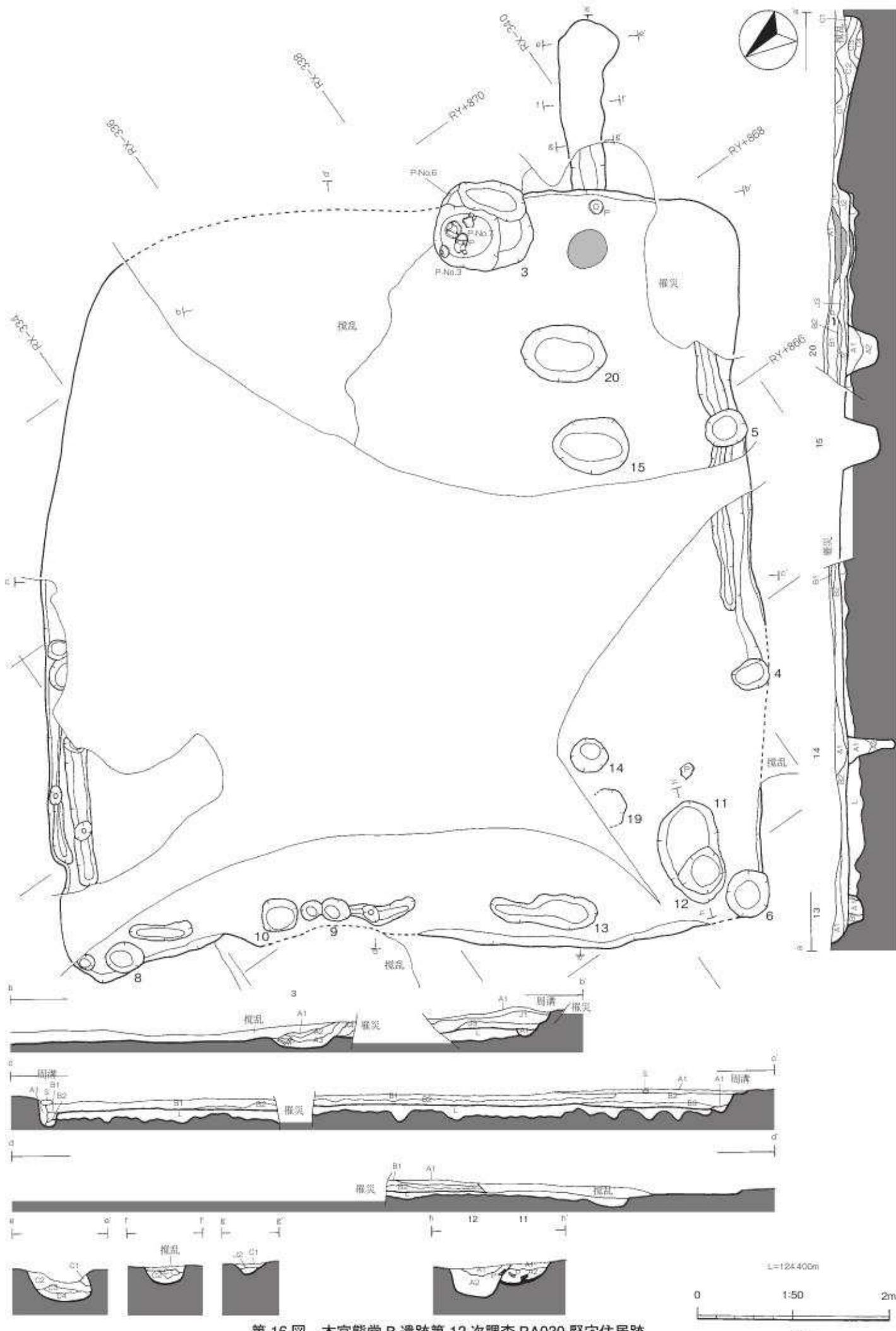
第13図 本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA027 竪穴住居跡



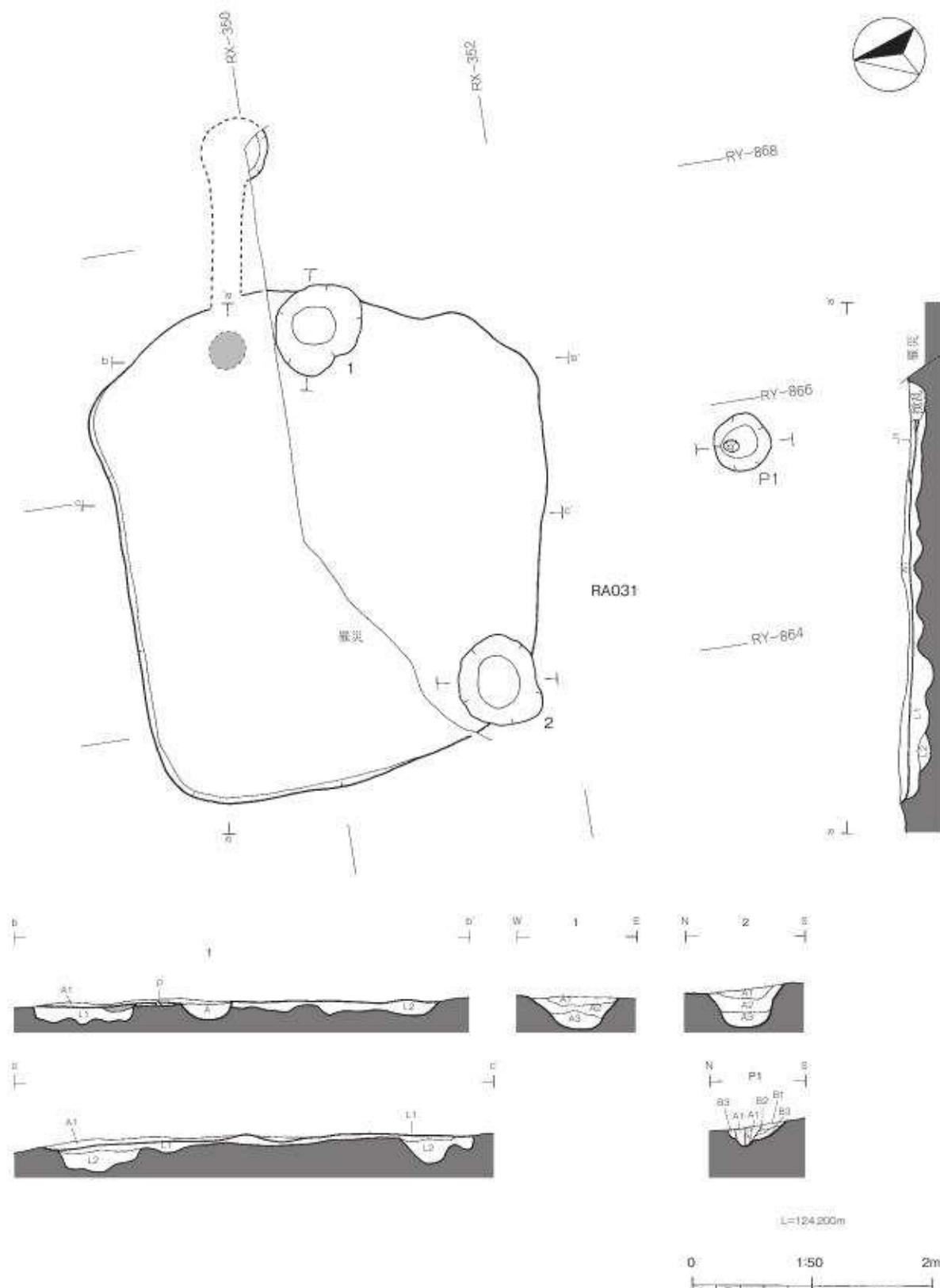
第 14 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA028 竪穴住居跡



第15図 本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA029 竪穴住居跡

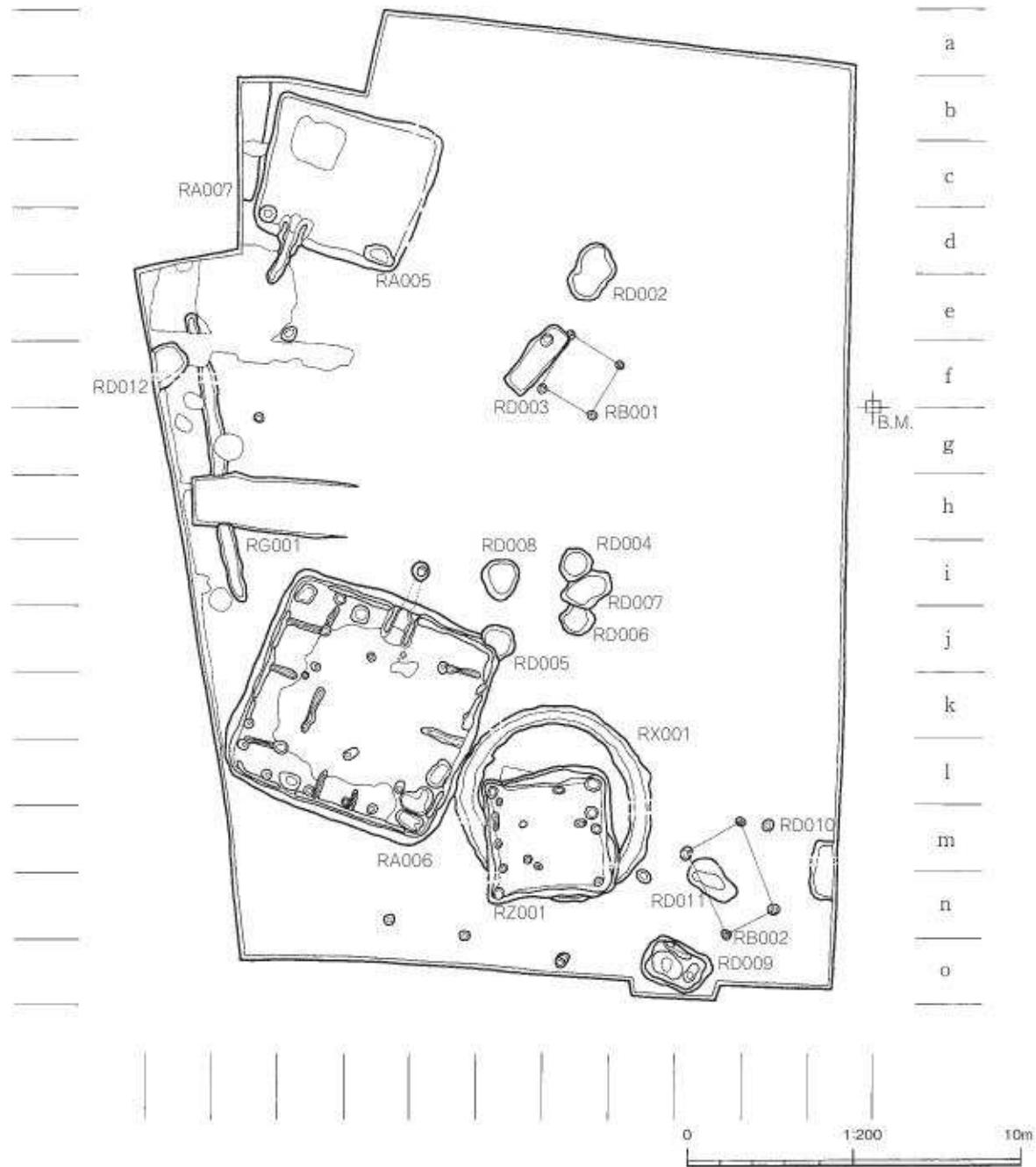


第16図 本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA030 竪穴住居跡

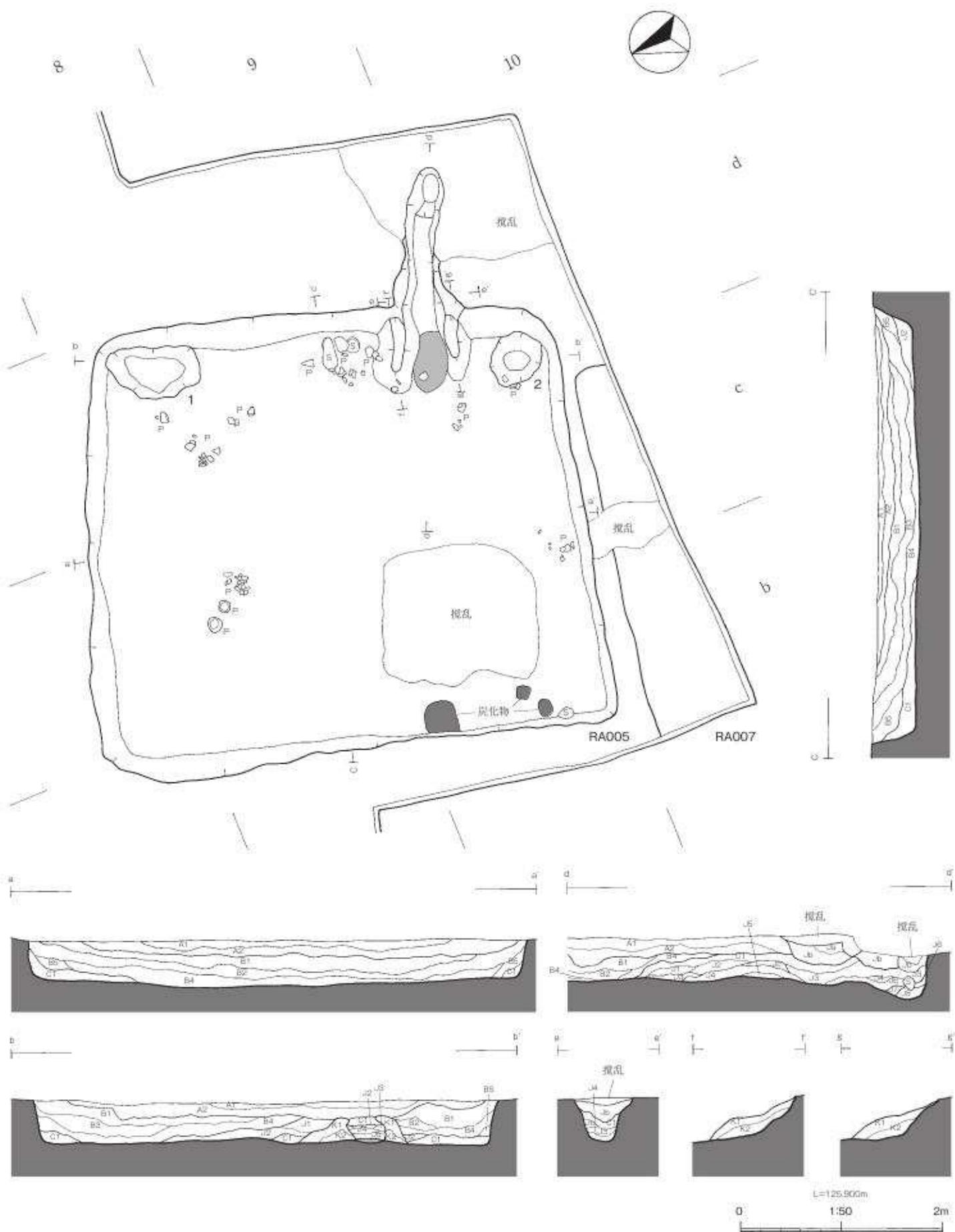


第17図 本宮熊堂B遺跡第12次調査 RA031 竪穴住居跡

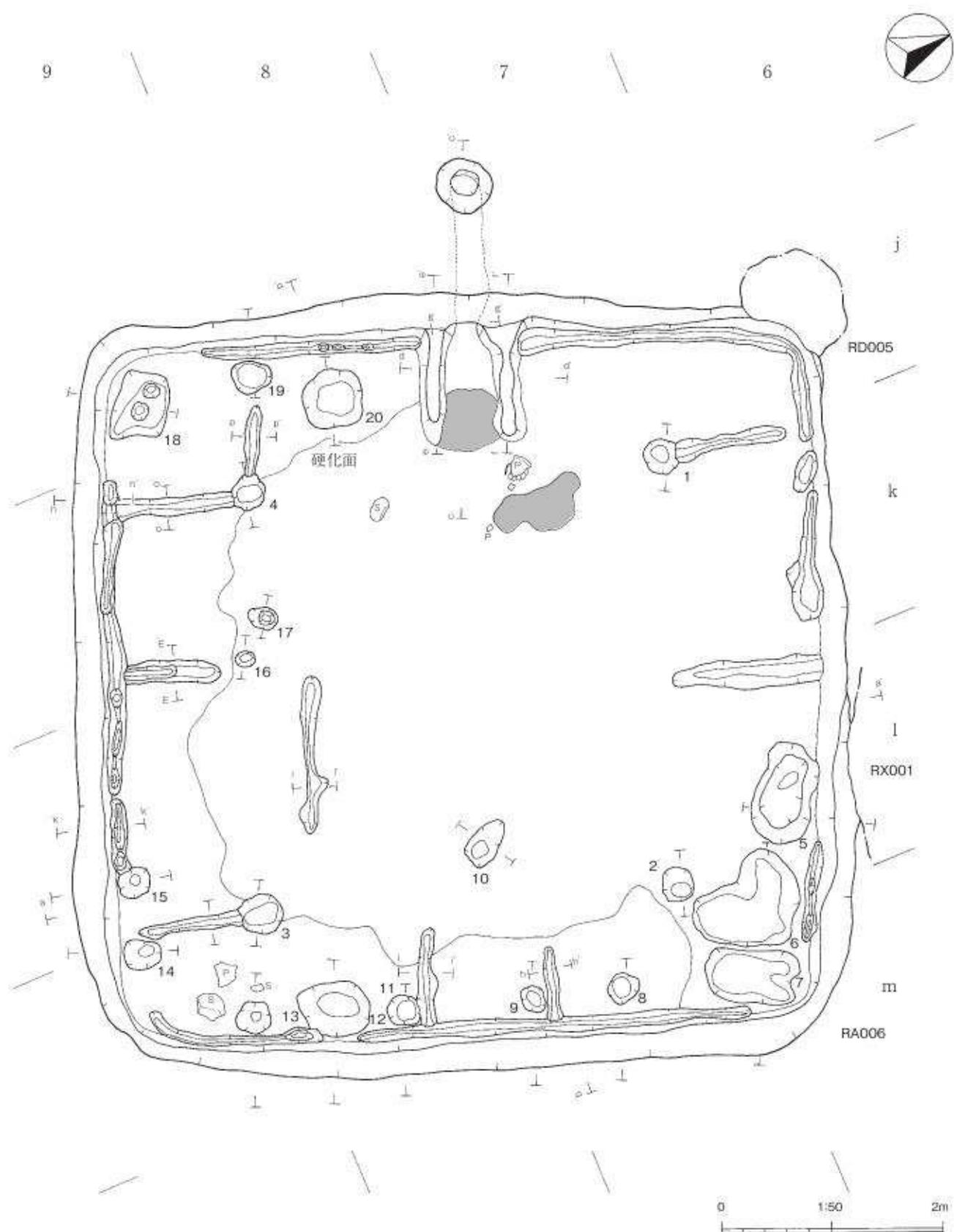
11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |



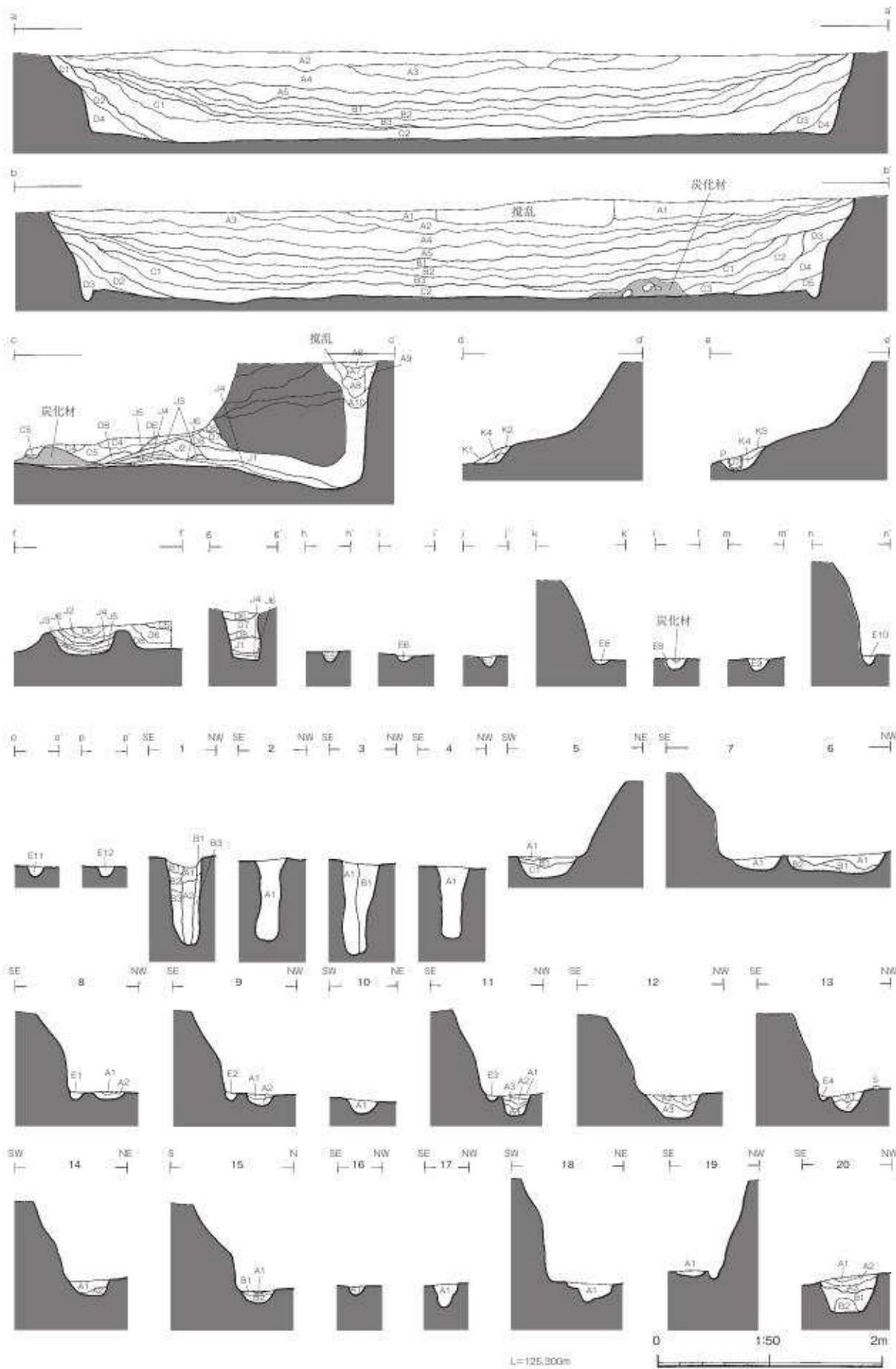
第18図 野古A遺跡第6次調査区全体図



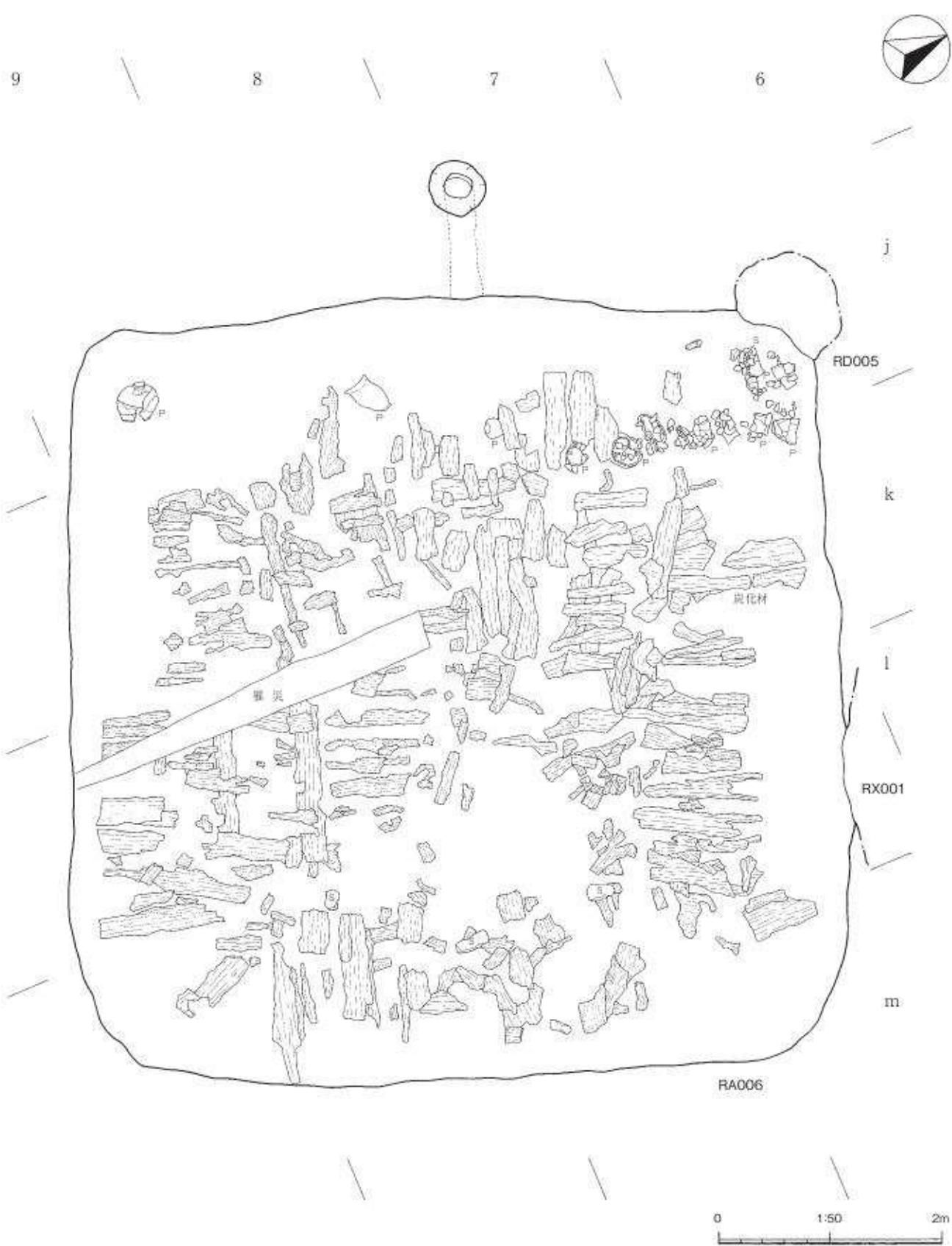
第19図 野古A遺跡第6次調査 RA005-007 壁穴住居跡



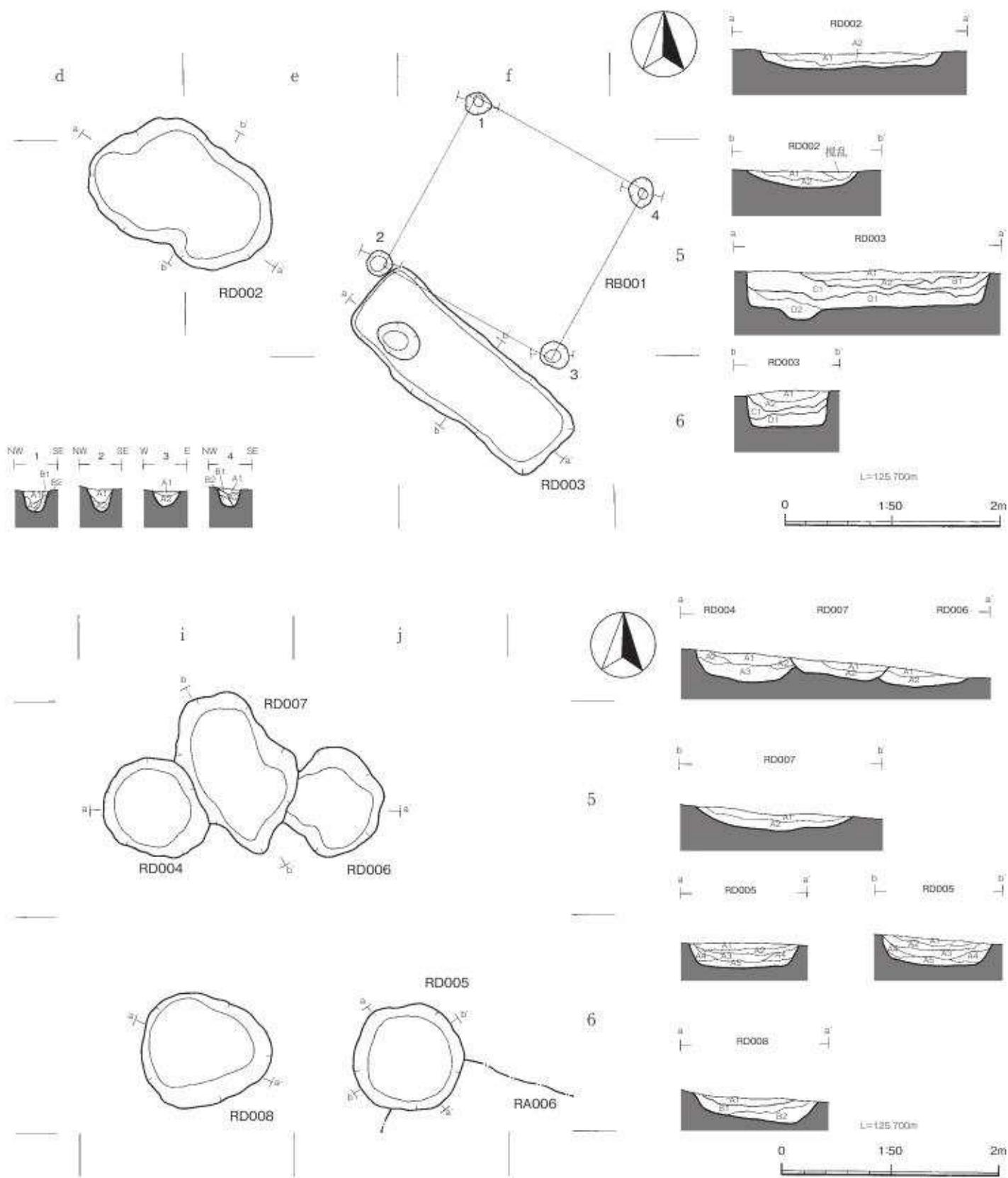
第20図 野古A遺跡第6次調査 RA006 竪穴住居跡平面図



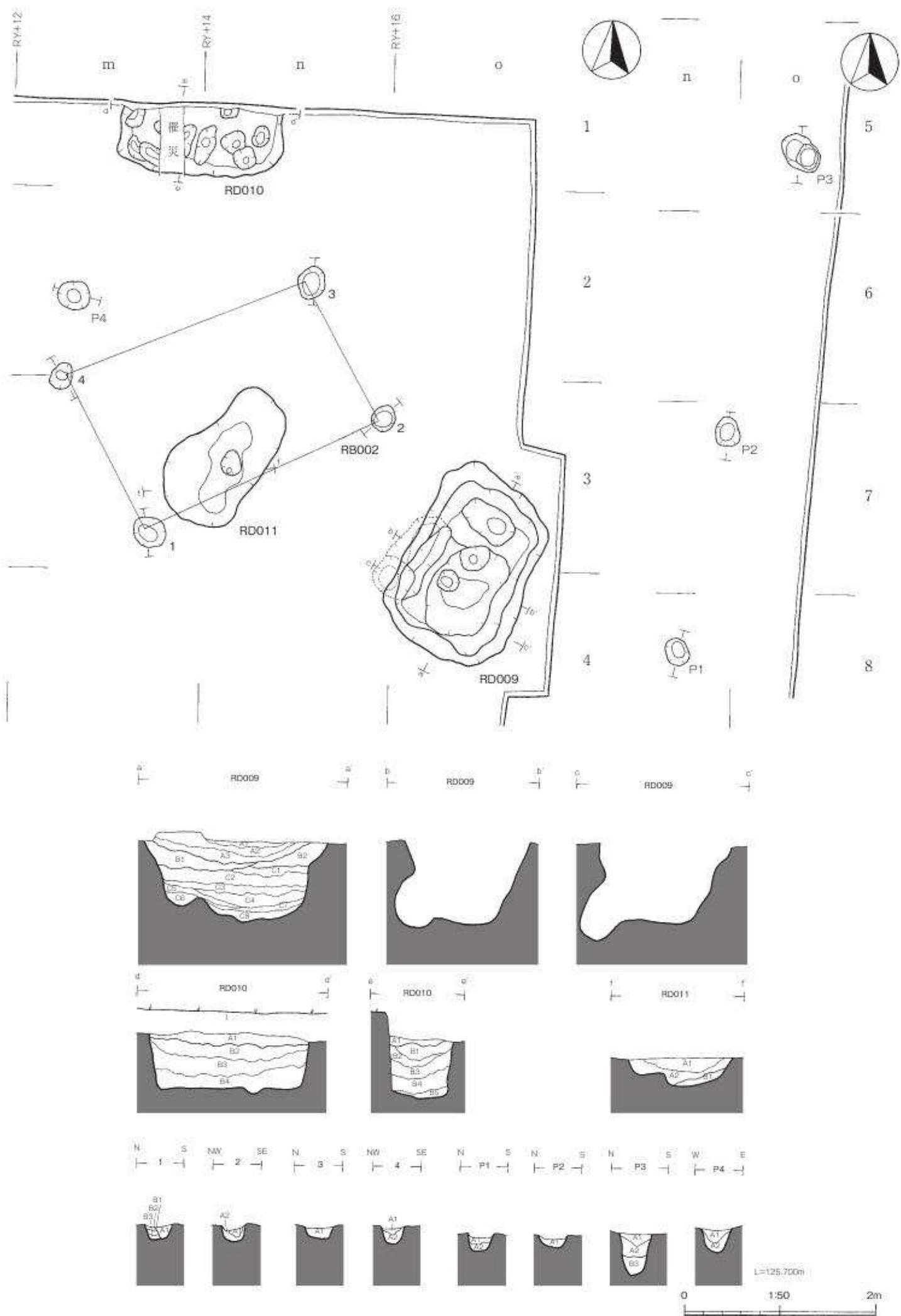
第21図 野古A遺跡第6次調査 RA006 竪穴住居跡断面図



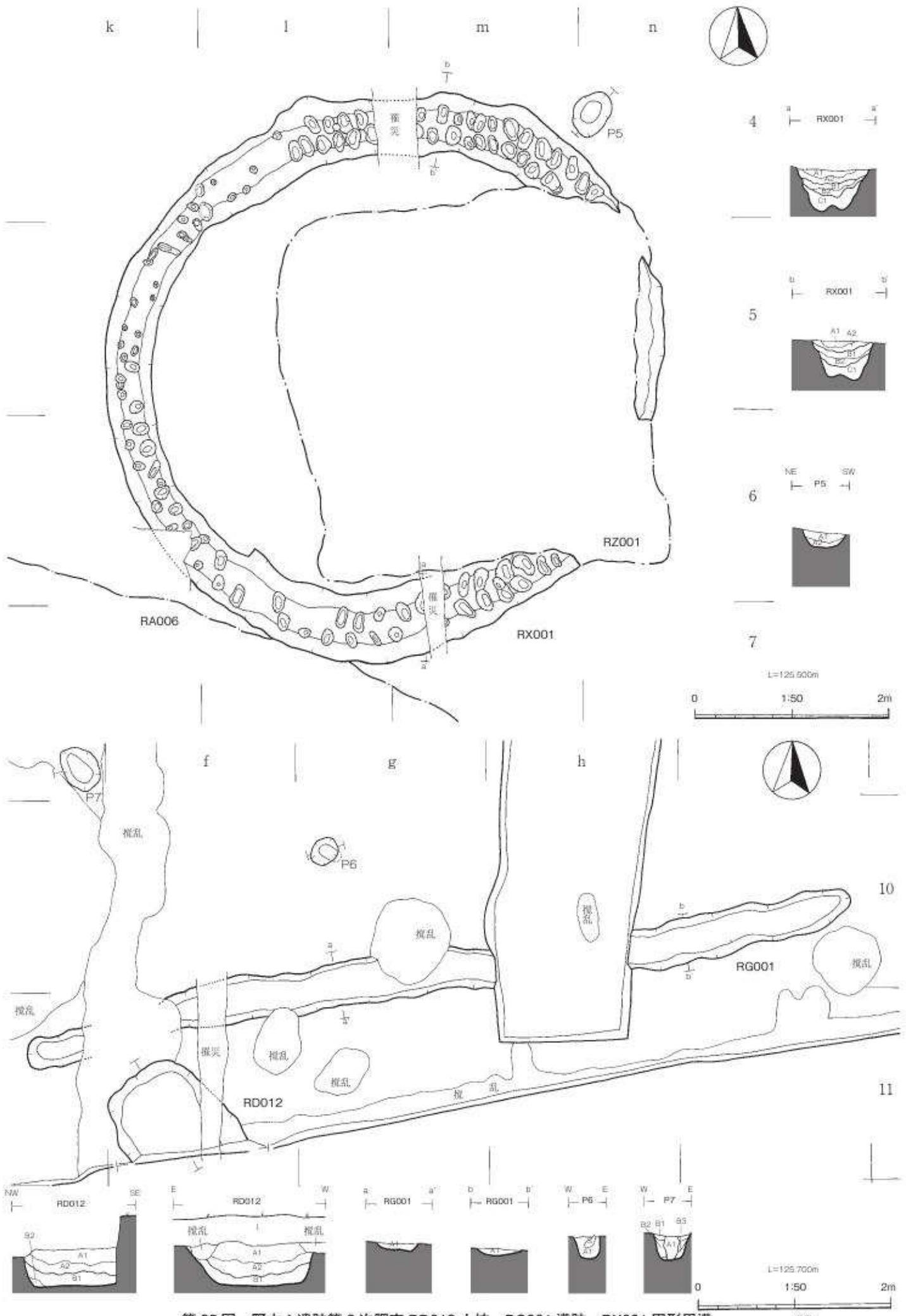
第22図 野古A遺跡第6次調査 RA006 竪穴住居跡炭化材出土状況平面図



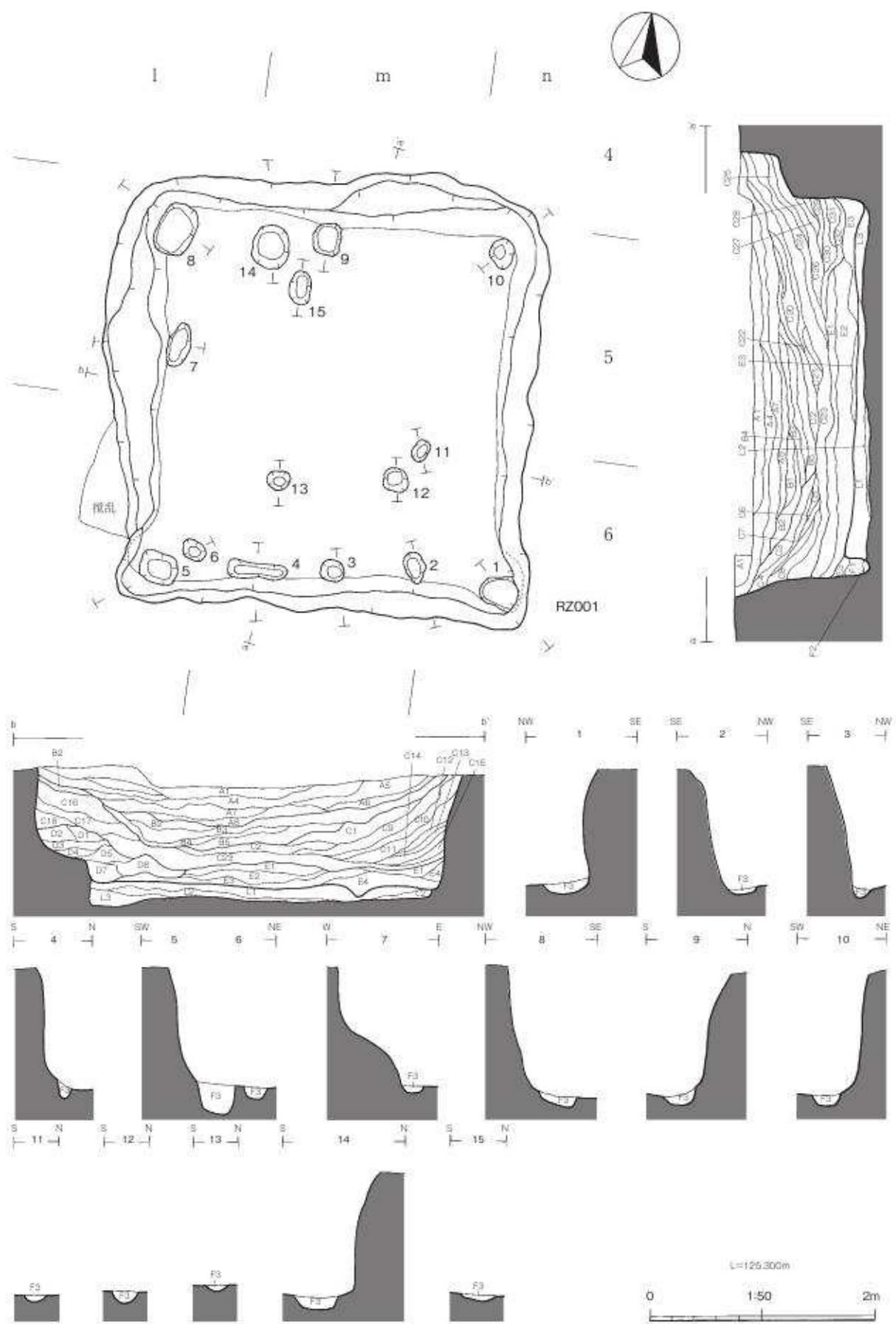
第23図 野古A遺跡第6次調査 RB001掘立柱建物跡, RD002・003・004・005・006・007・008土抗



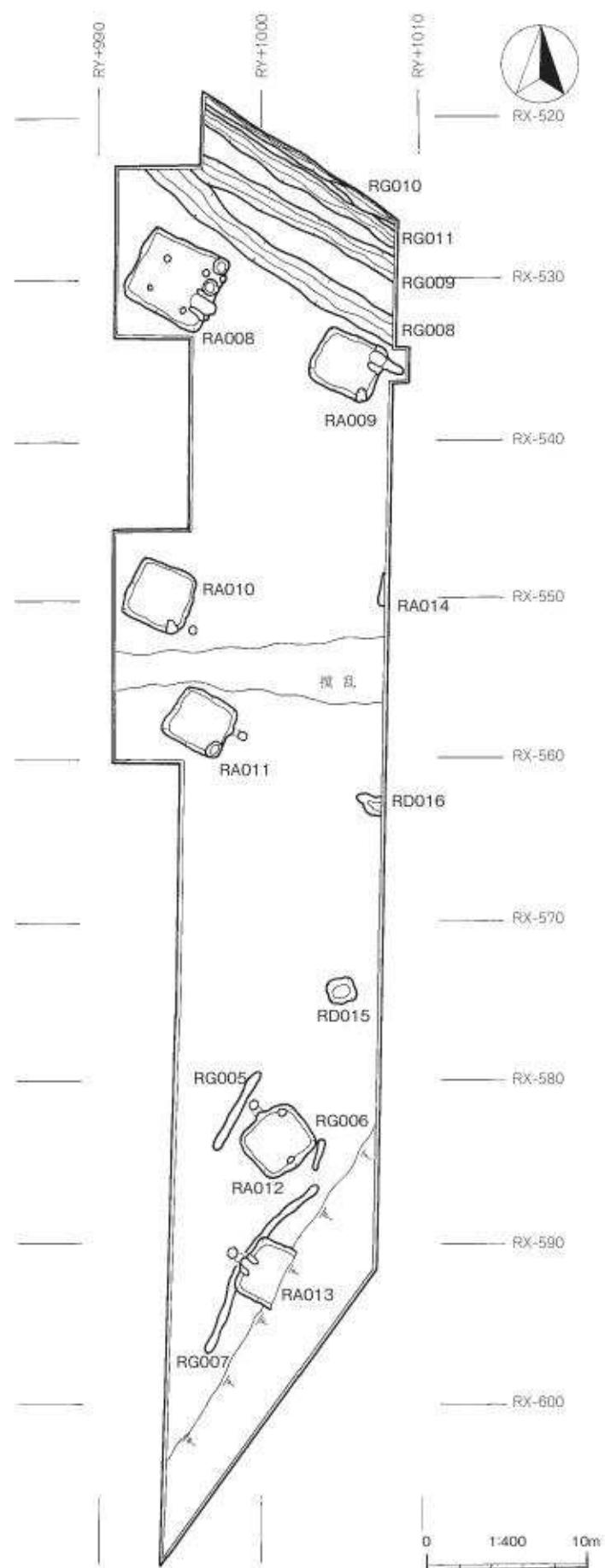
第24図 野古A遺跡第6次調査 RB002掘立柱建物跡, RD009・010・011土坑



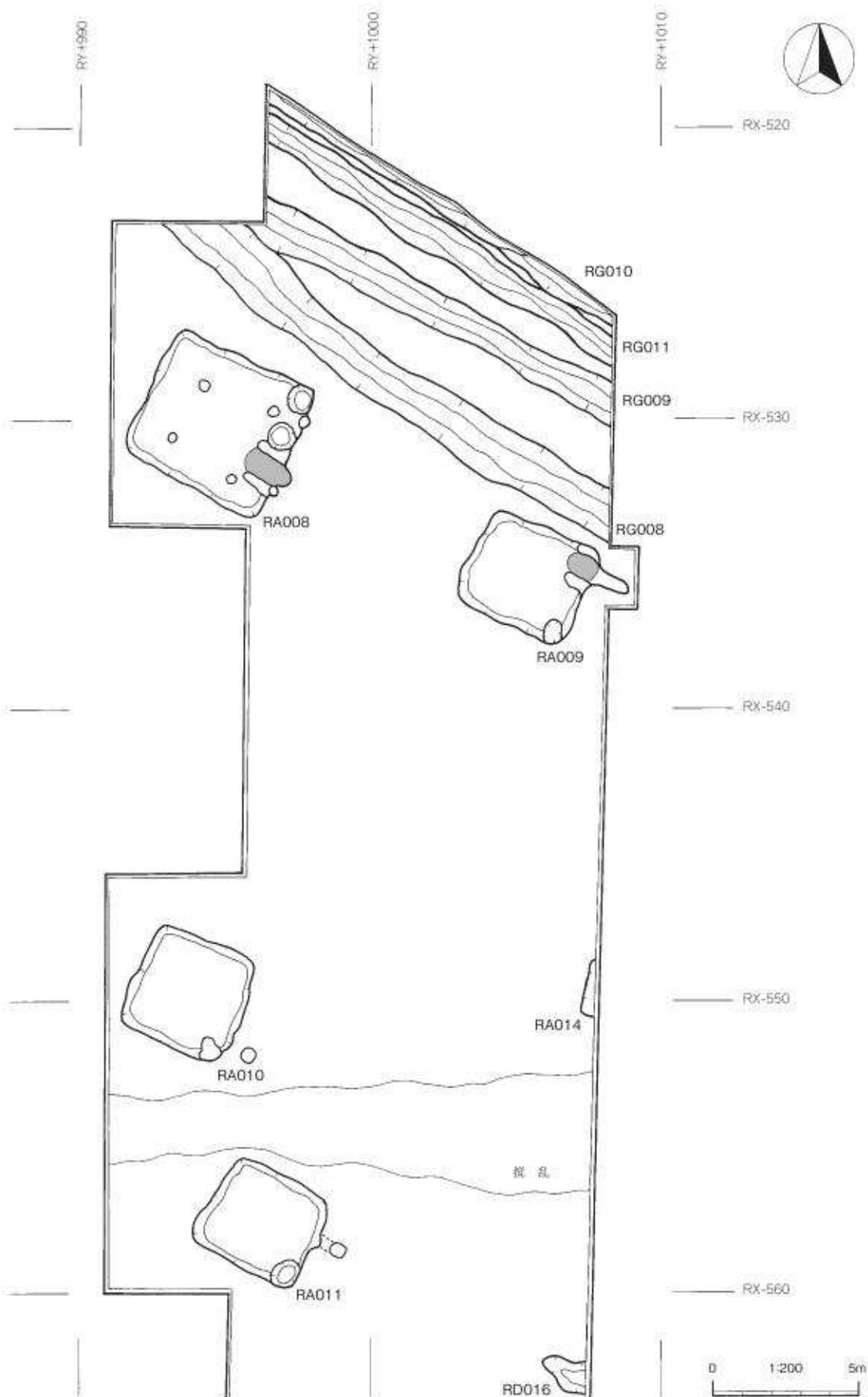
第25図 野古A遺跡第6次調査 RD012土坑, RG001溝跡, RX001円形周溝



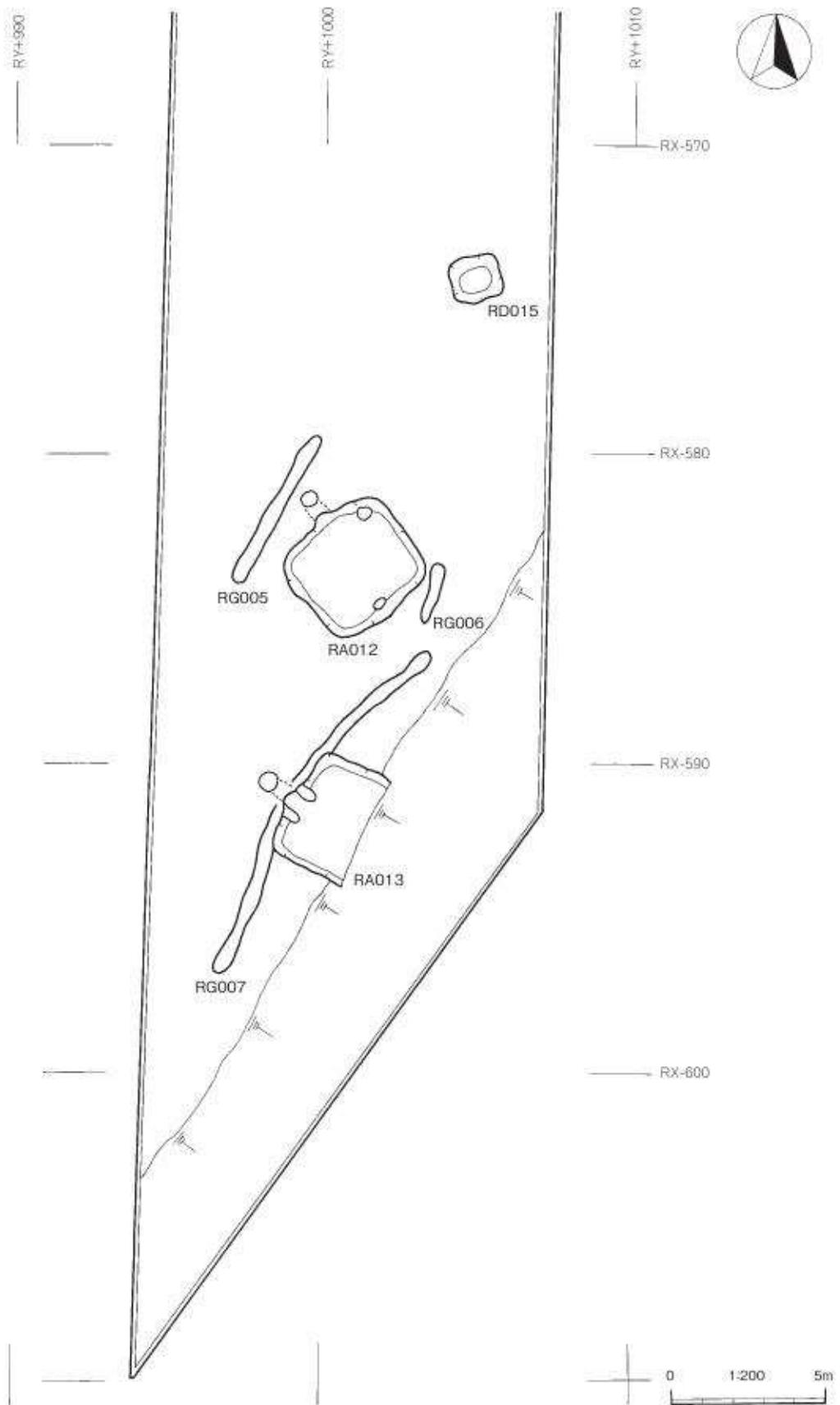
第26図 野古A遺跡第6次調査 RZ001 穫穴状遺構



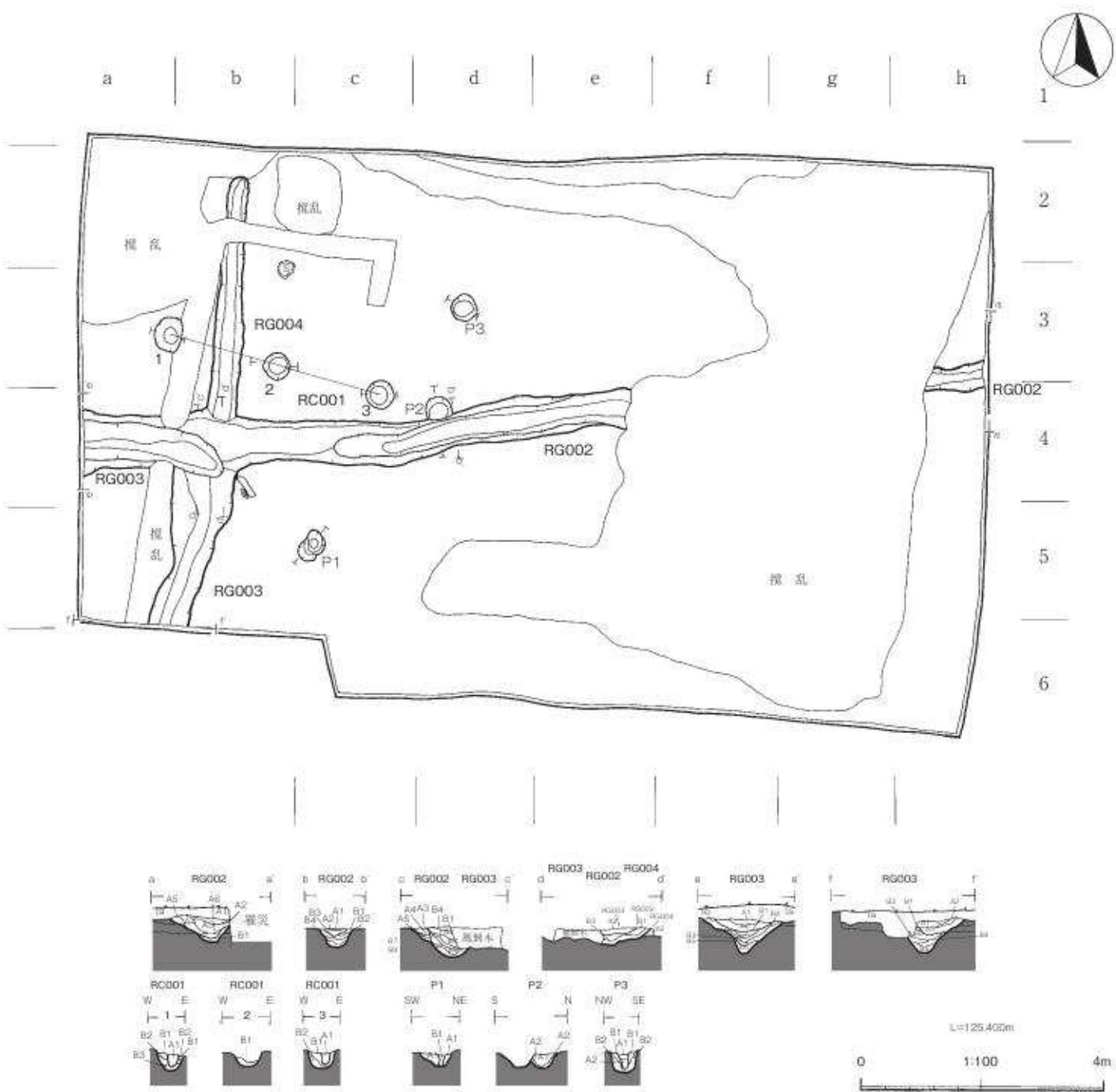
第27図 野古A遺跡第11次調査区全体図



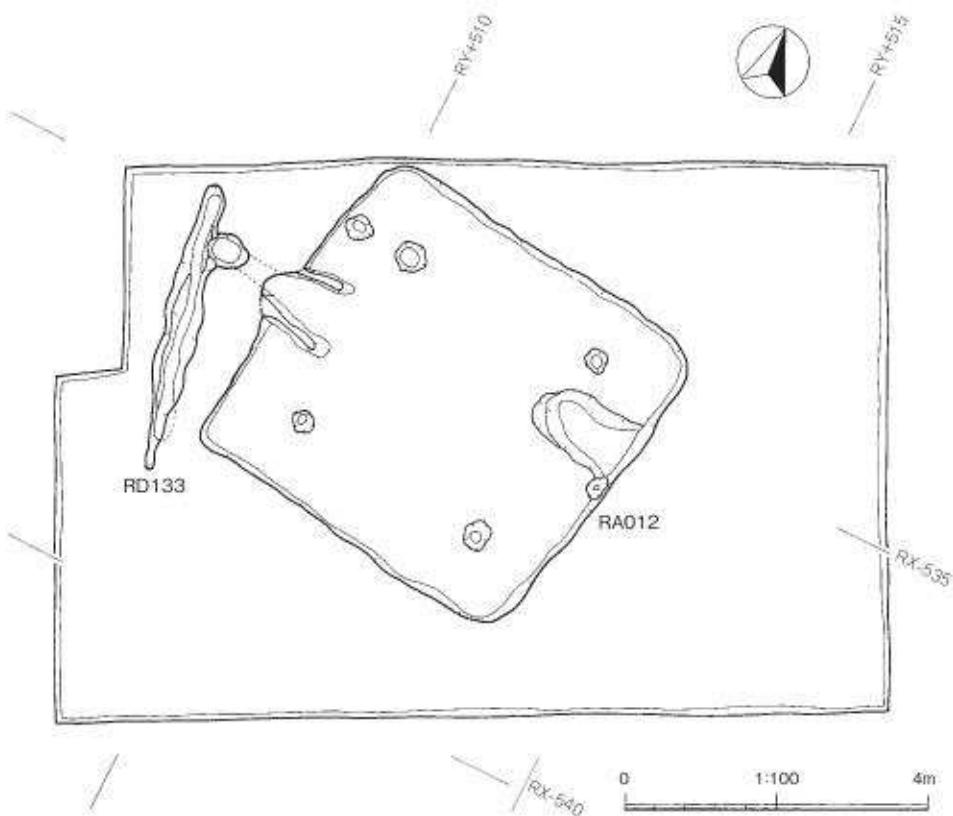
第28図 野古A遺跡第11次調査 RA008・009・010・011 積穴住居跡, RD016 土坑



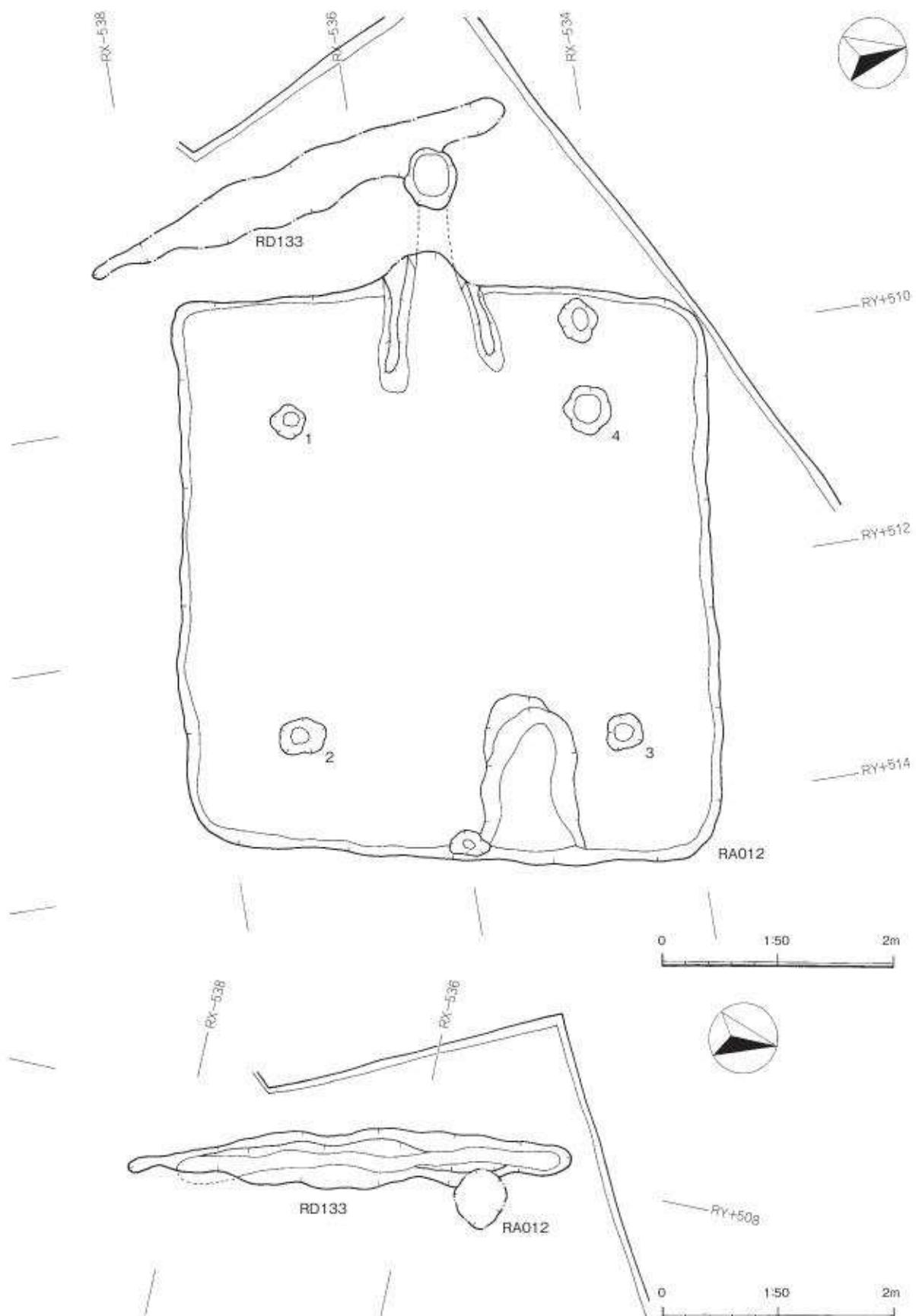
第29図 野古A遺跡第11次調査 RA012・013 積穴住居跡, RD015 土坑, RG005・006・007 溝跡



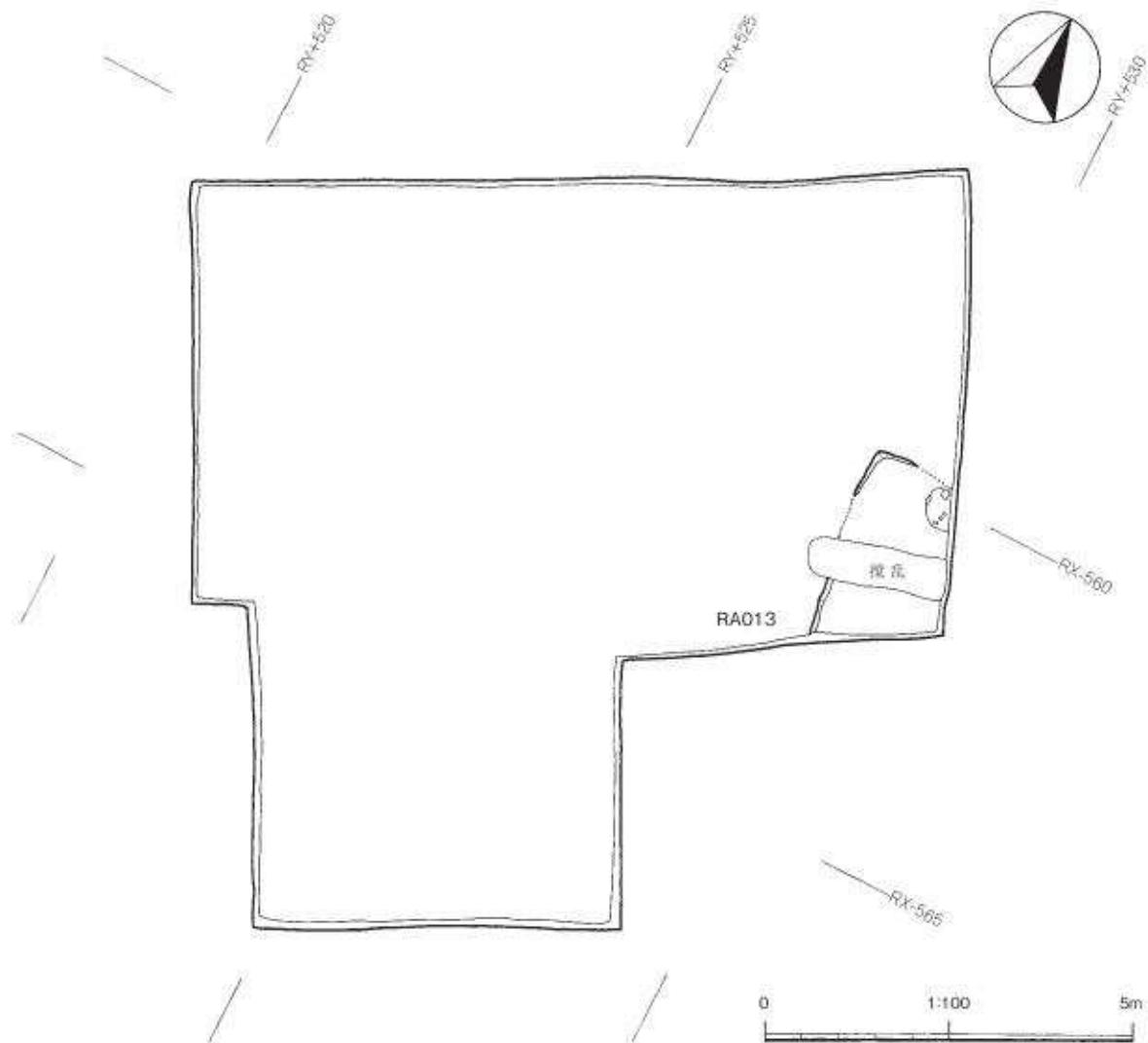
第30図 矢盛遺跡第2次調査区全体図



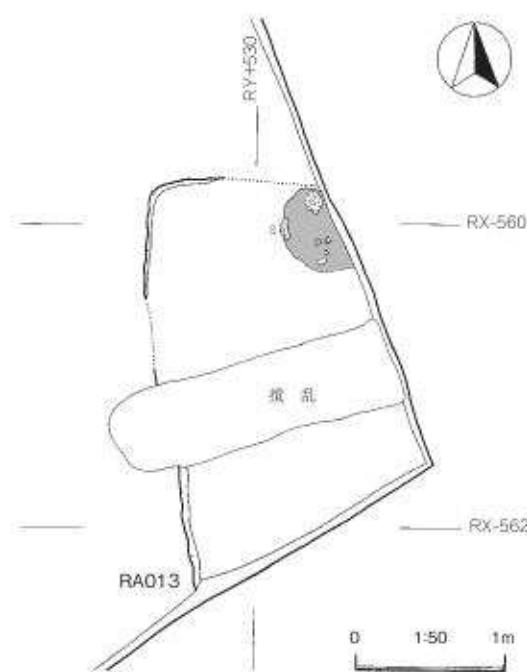
第31図 南仙北遺跡第15次調査区全体図



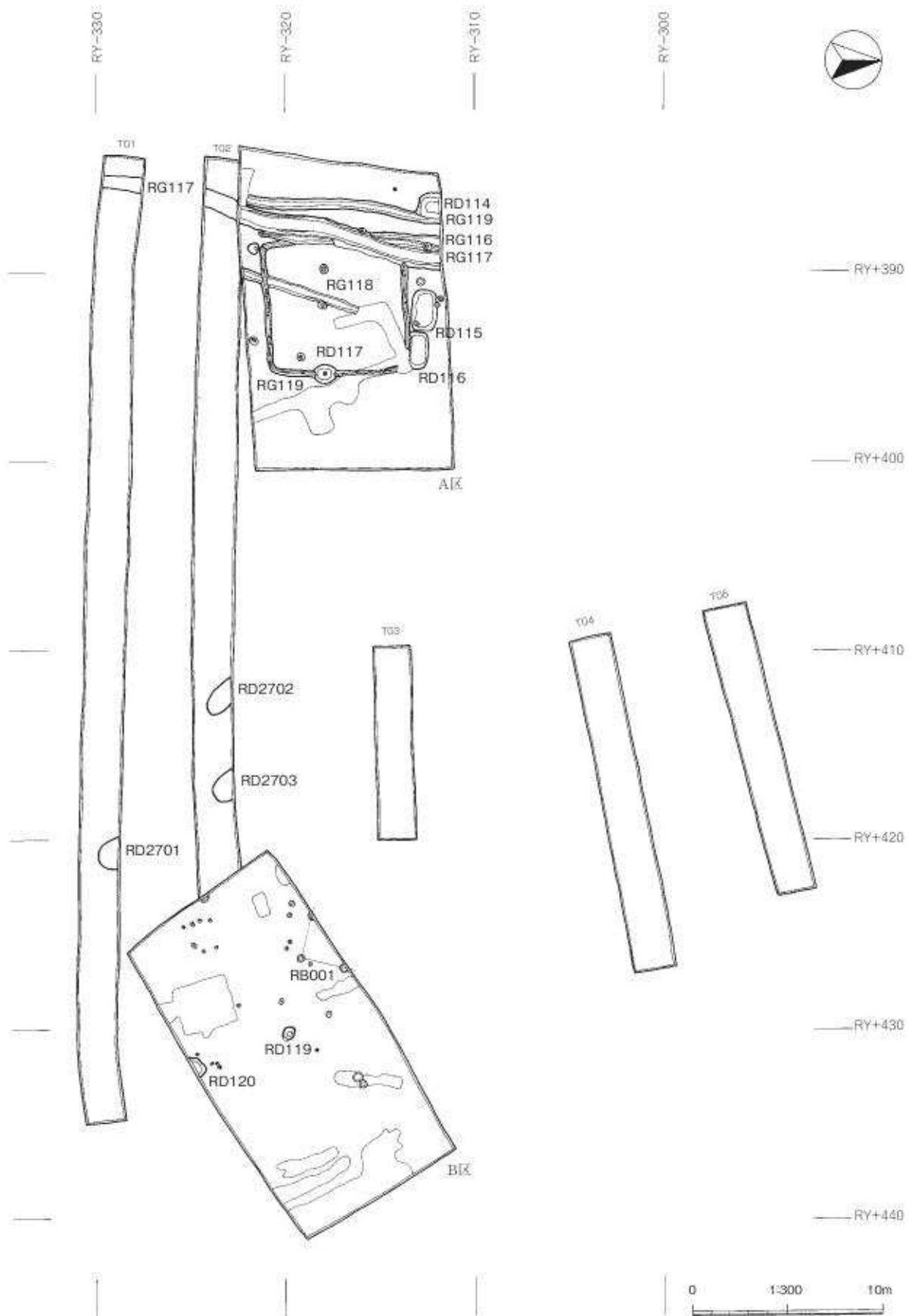
第32図 南仙北遺跡第15次調査 RA012竪穴住居跡、RD133陥し穴



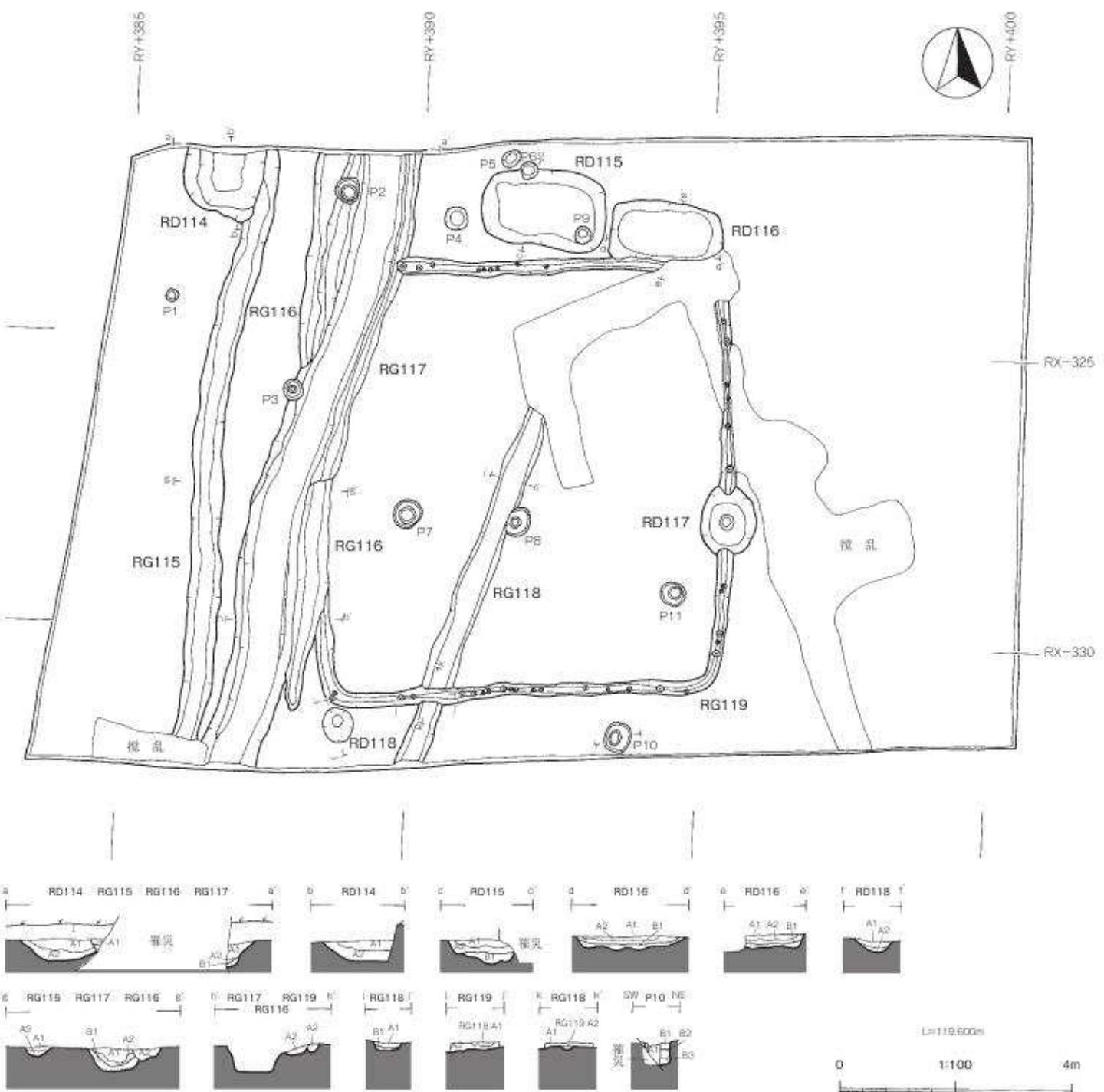
第33図 南仙北遺跡第22次調査区全体図



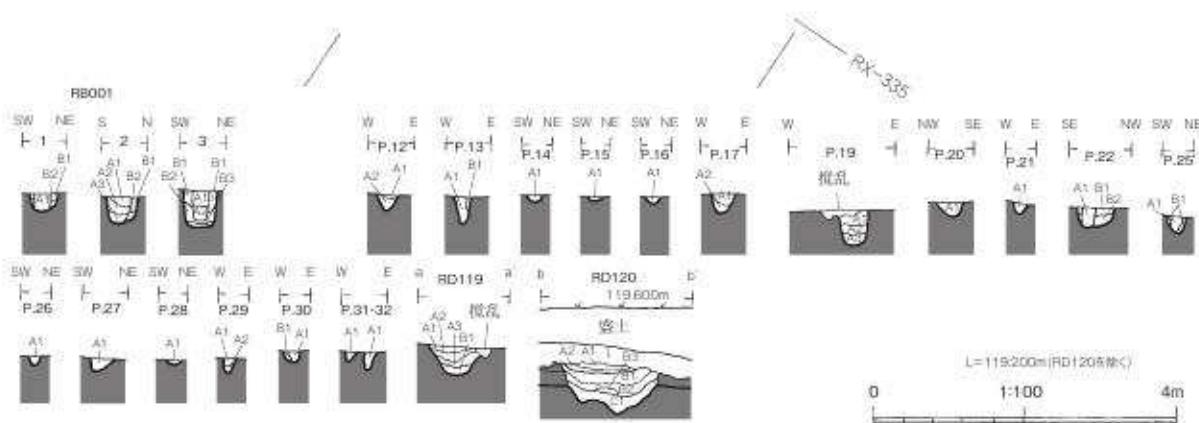
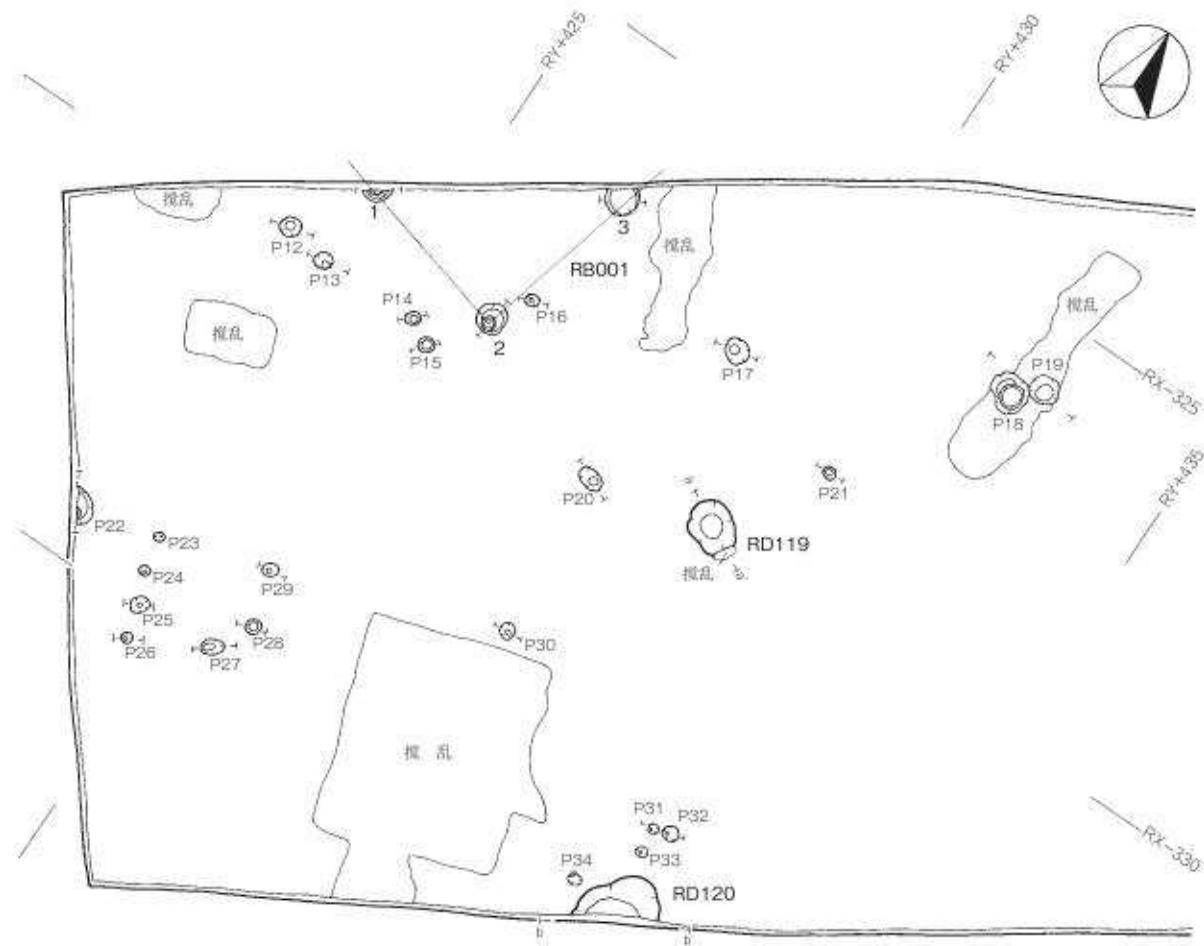
第34図 南仙北遺跡第22次調査 RA013 竪穴住居跡



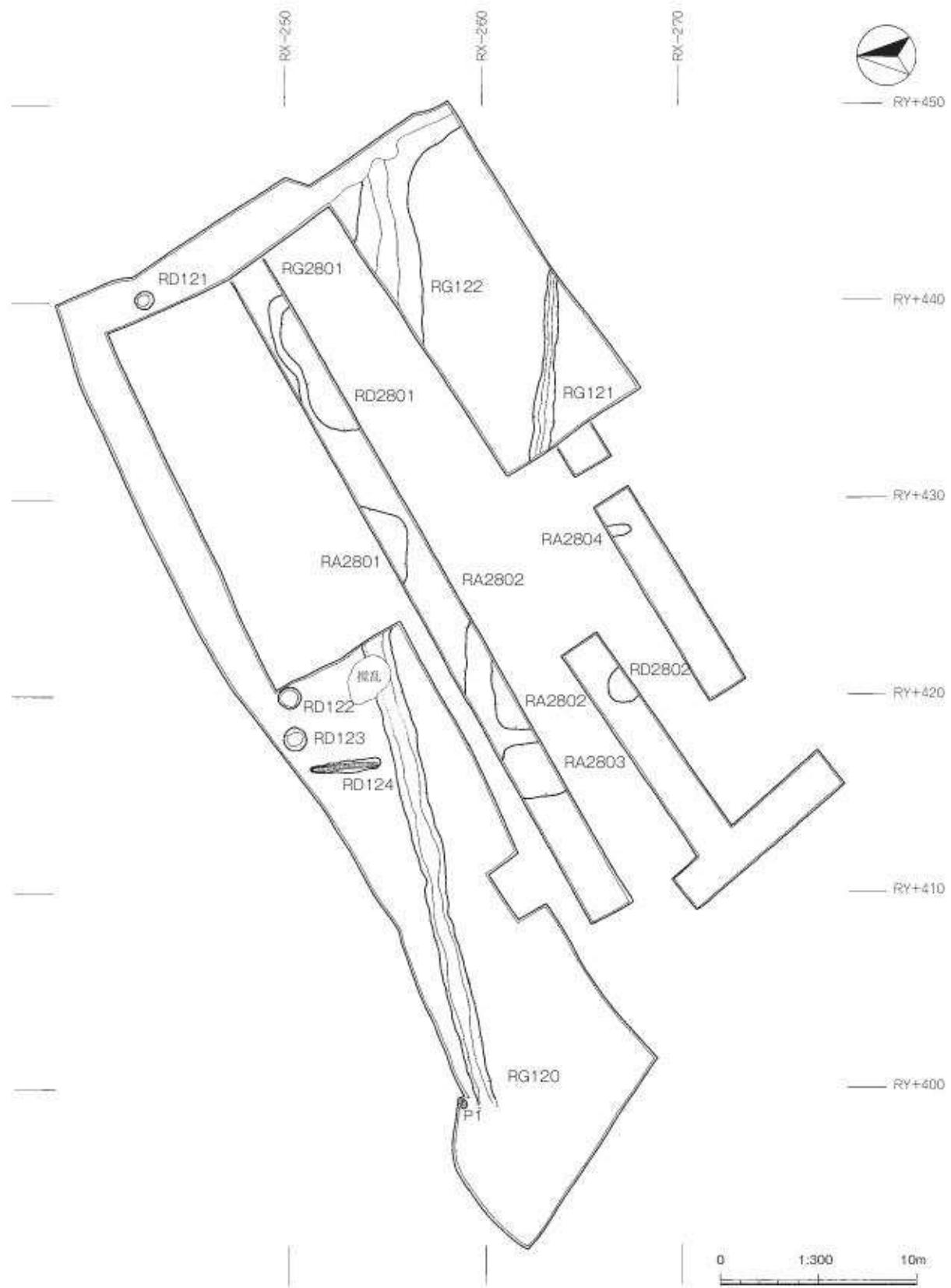
第35図 南仙北遺跡第27次調査区全体図



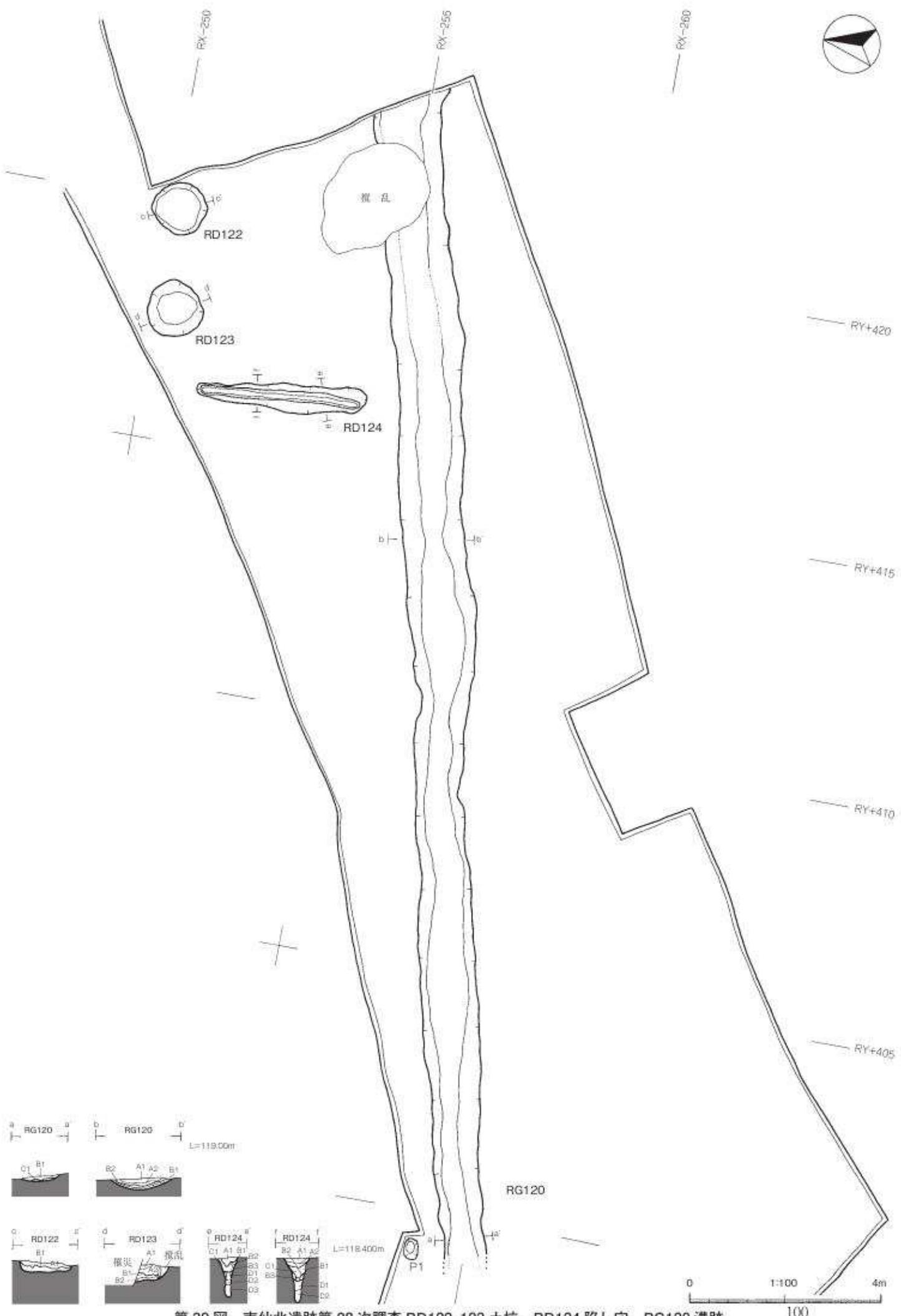
第36図 南仙北遺跡第27次調査
RD114・115・116・117・118土坑, RG115・116・117・118溝跡, RG119方形周溝



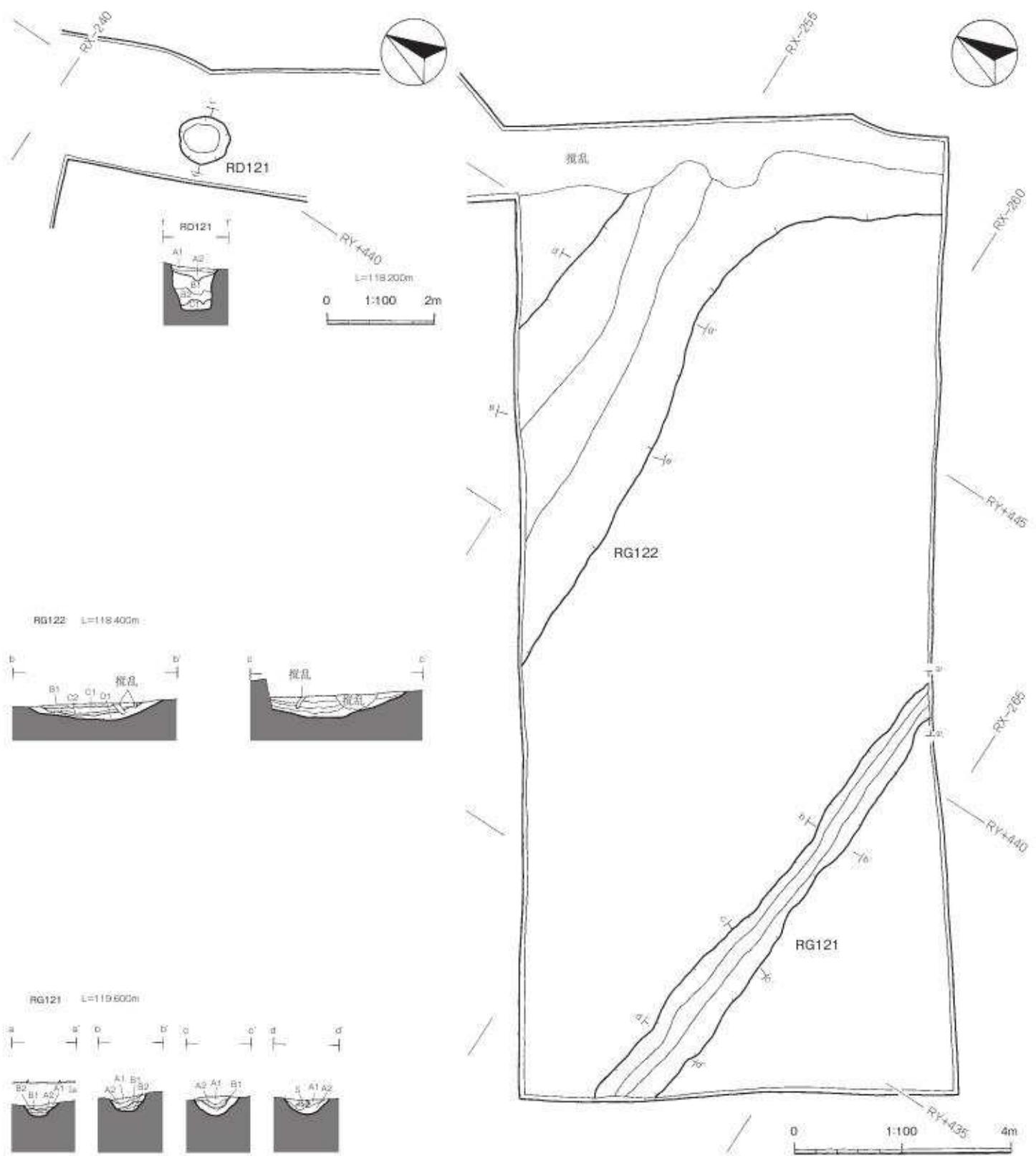
第37図 南仙北遺跡第27次調査 RB001掘立柱建物跡、RD119・120土坑



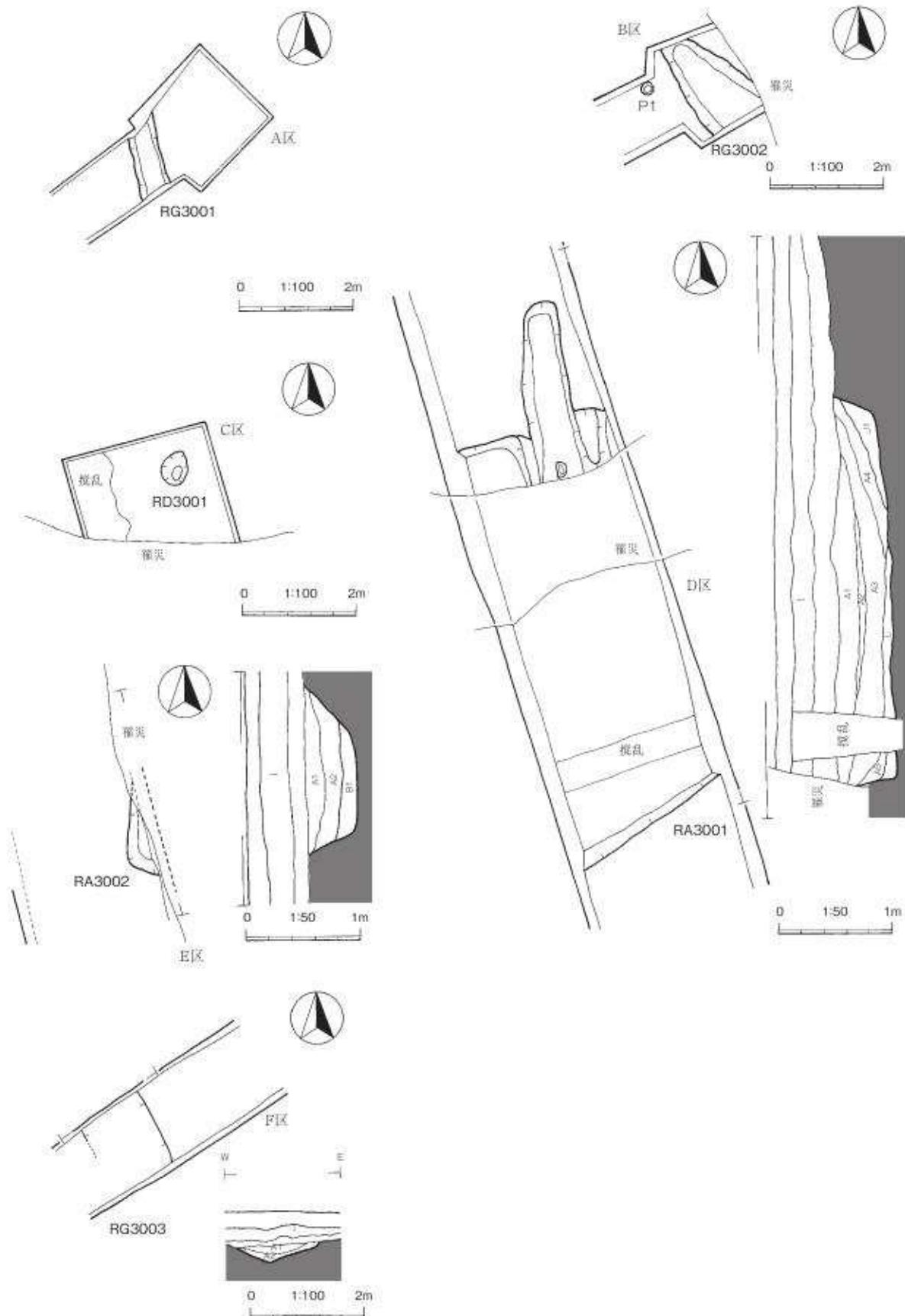
第38図 南仙北遺跡第28次調査区全体図



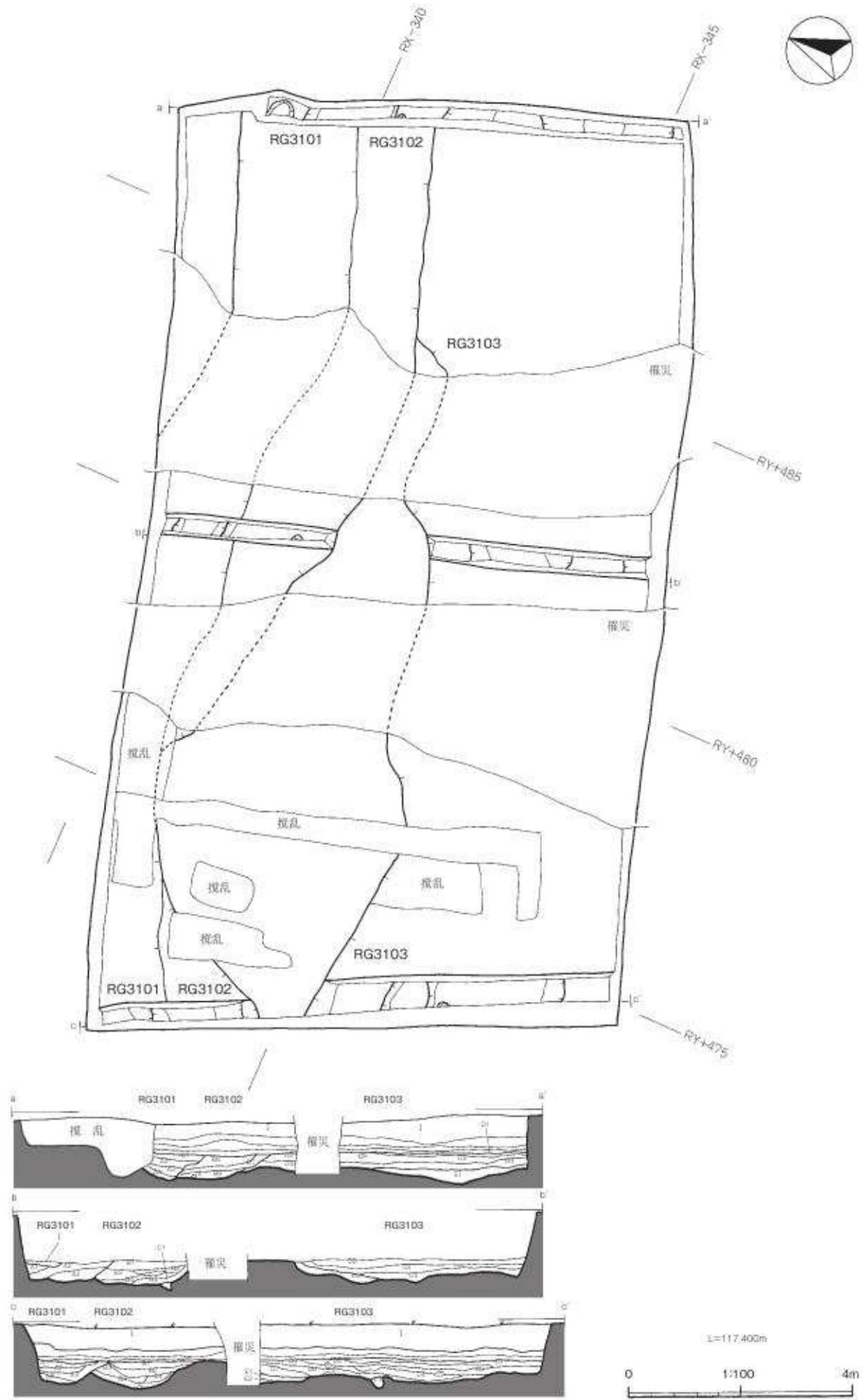
第39図 南仙北遺跡第28次調査 RD122・123土坑, RD124陥し穴, RG120溝跡



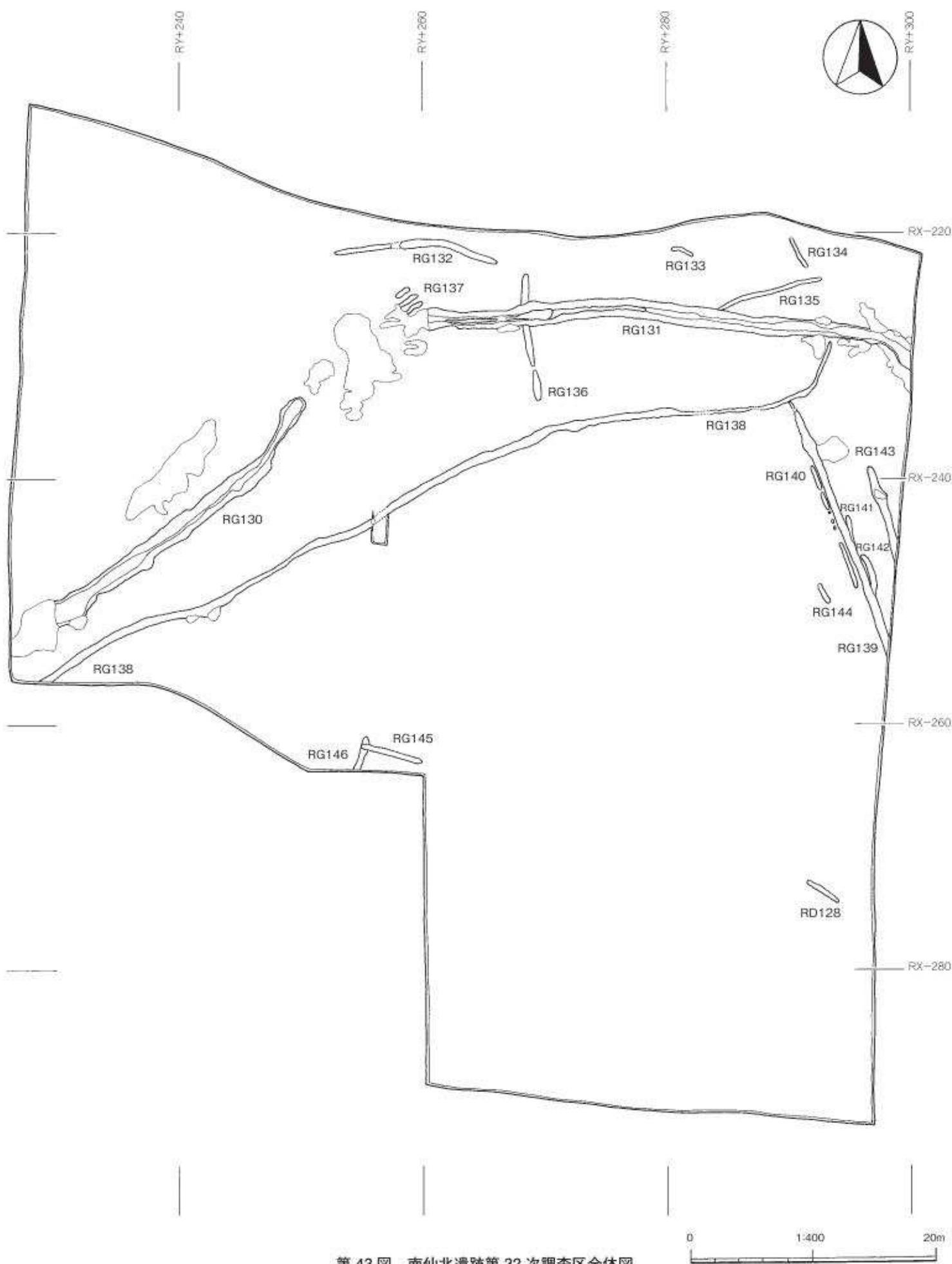
第40図 南仙北遺跡第28次調査 RD121土坑, RG121・122溝跡



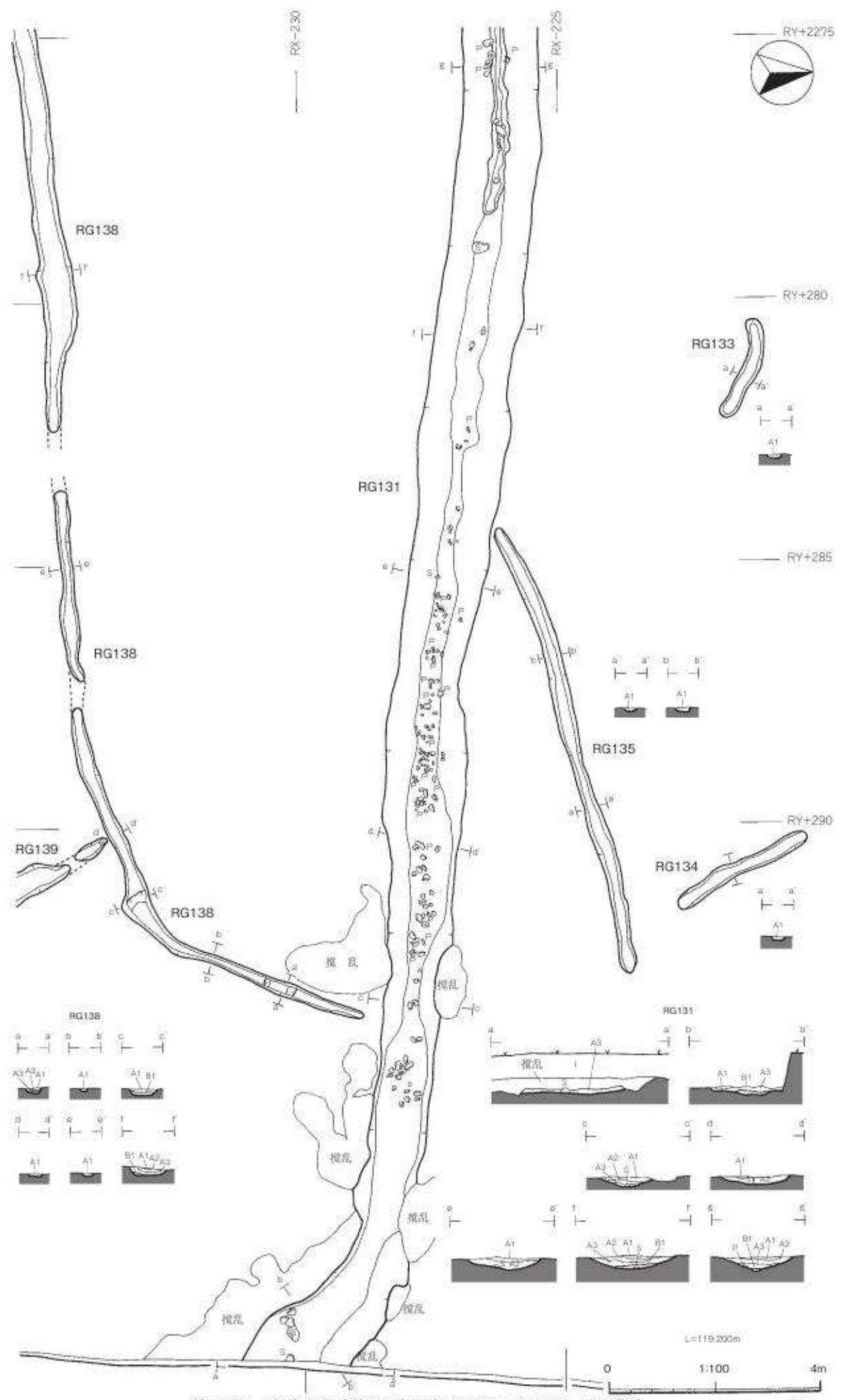
第41図 南仙北遺跡第30次調査 RA3001・3002 積穴住居跡, RD3001 土坑, RG3001・3002・3003 溝跡



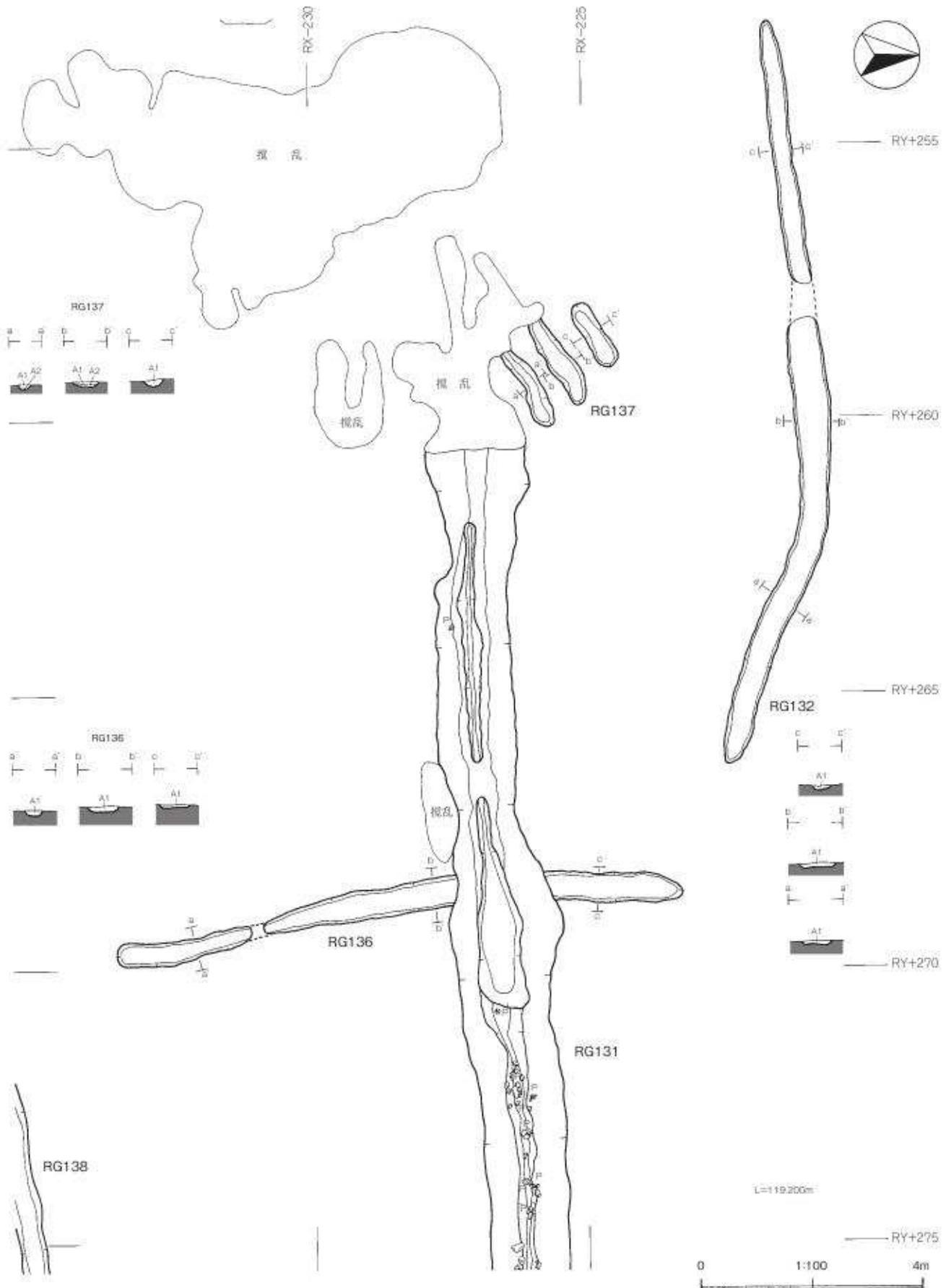
第42図 南仙北遺跡第31次調査区全体図



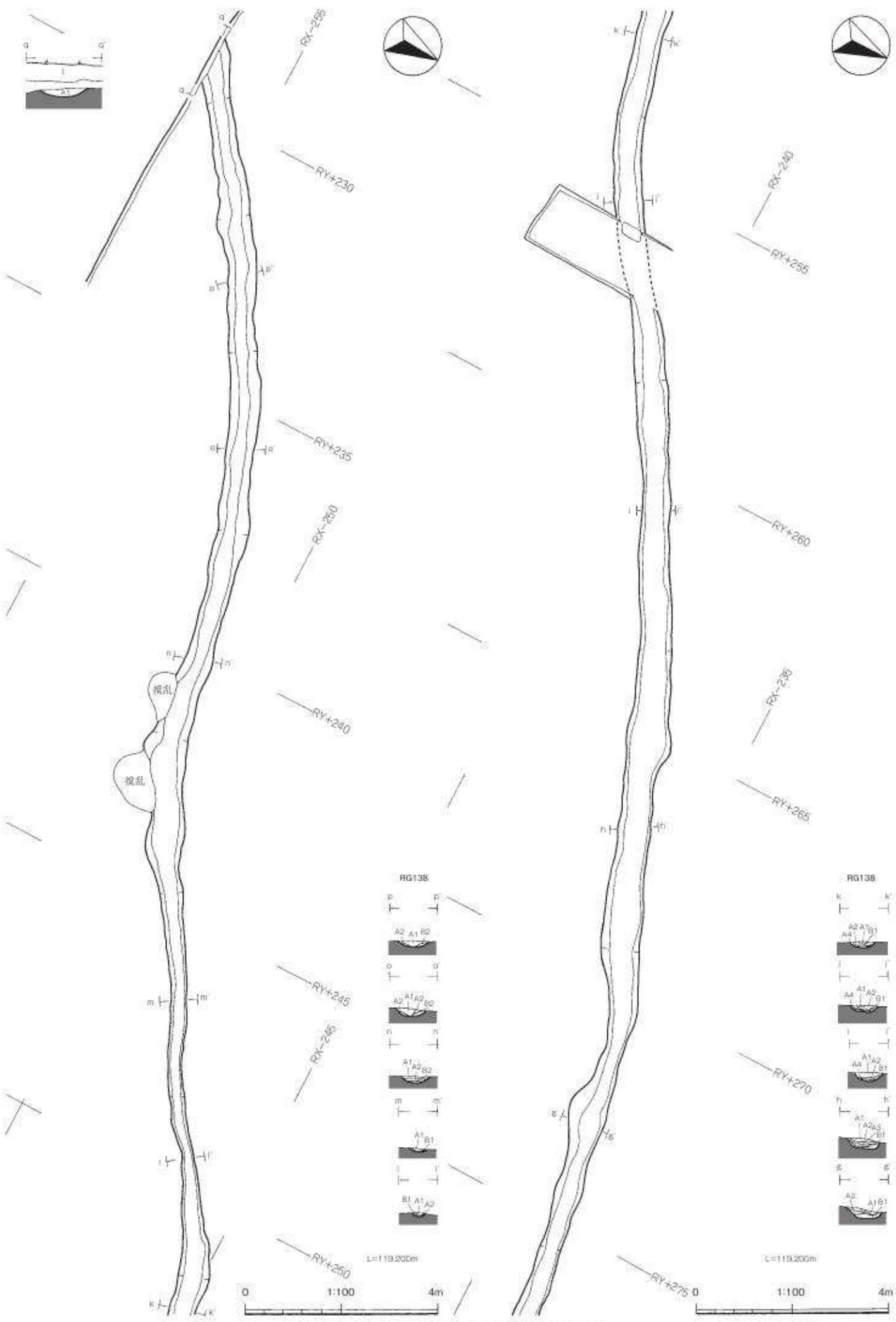
第43図 南仙北遺跡第32次調査区全体図



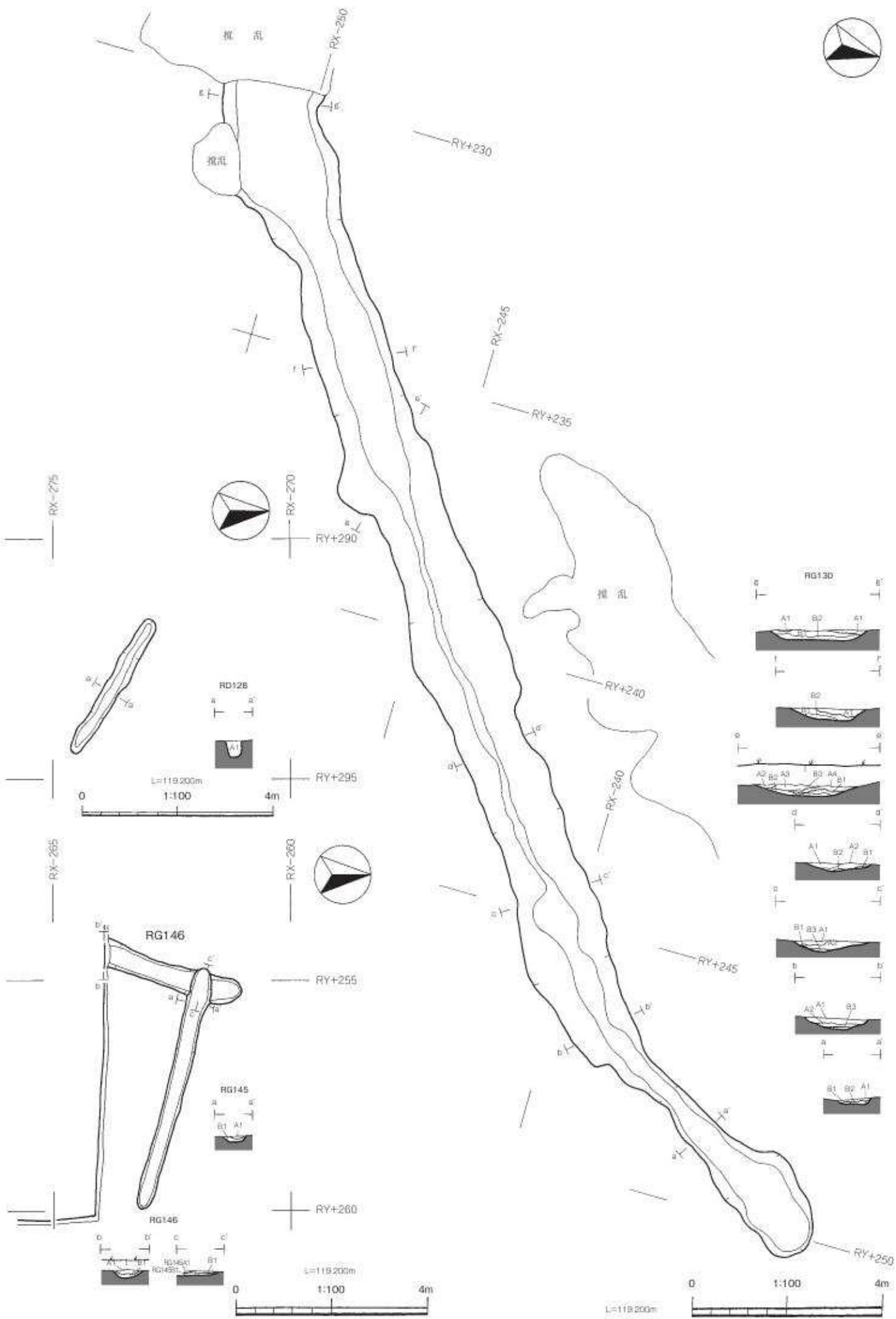
第44図 南仙北遺跡第32次調査 RG131・133・134・138溝跡



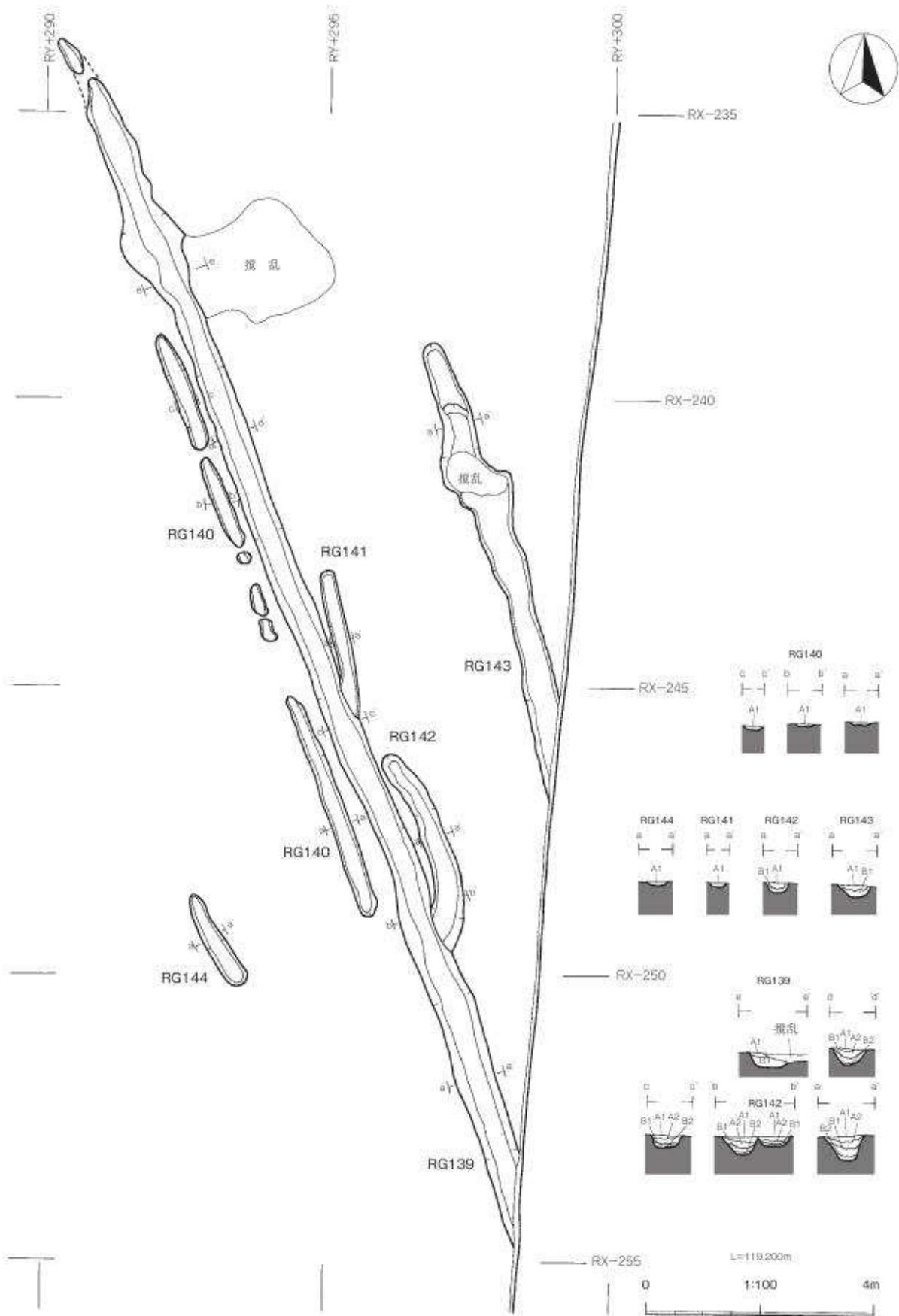
第45図 南仙北遺跡第32次調査 RG131・132・136・137溝跡



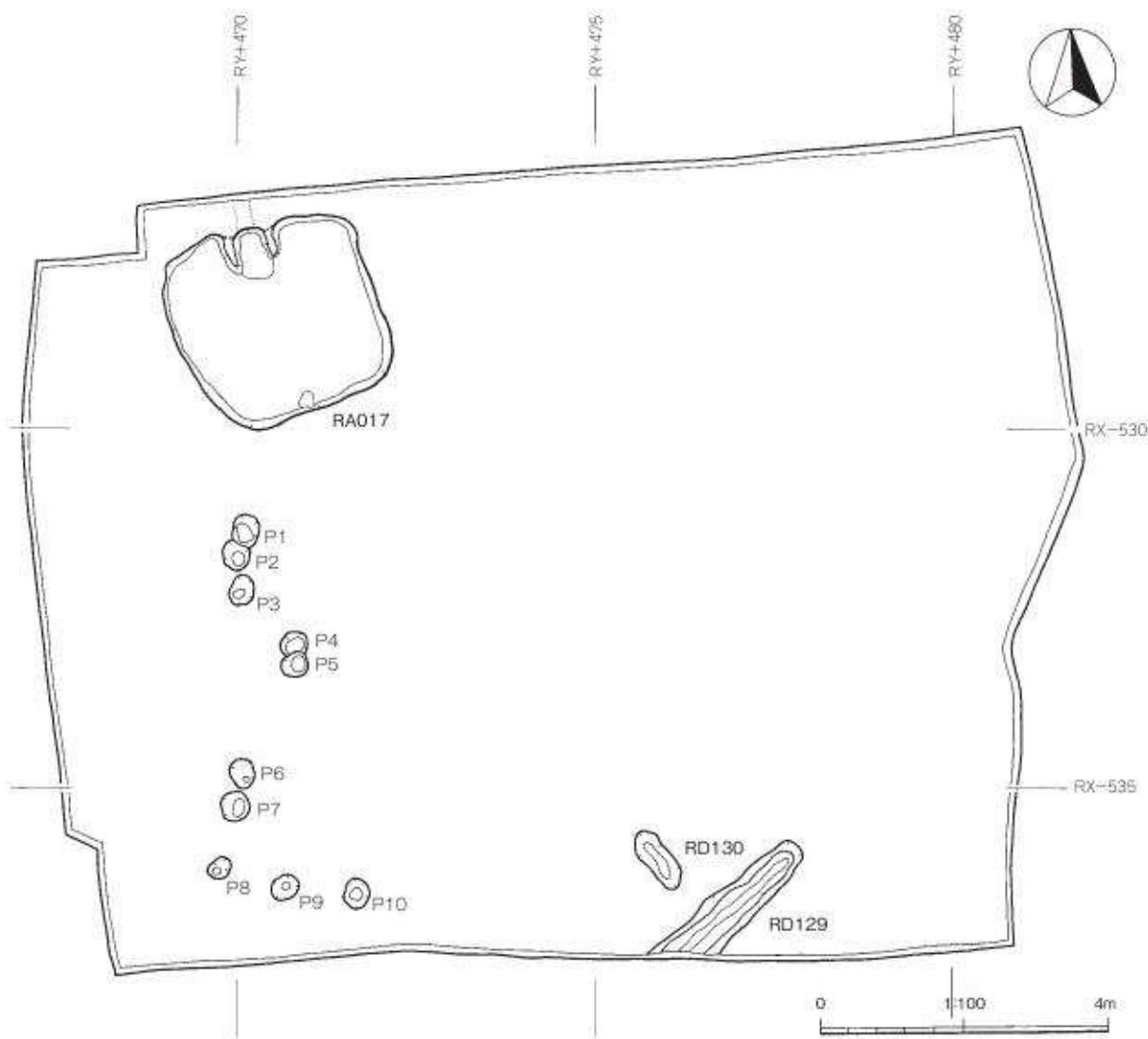
第46図 南仙北遺跡第32次調査 RG138溝跡



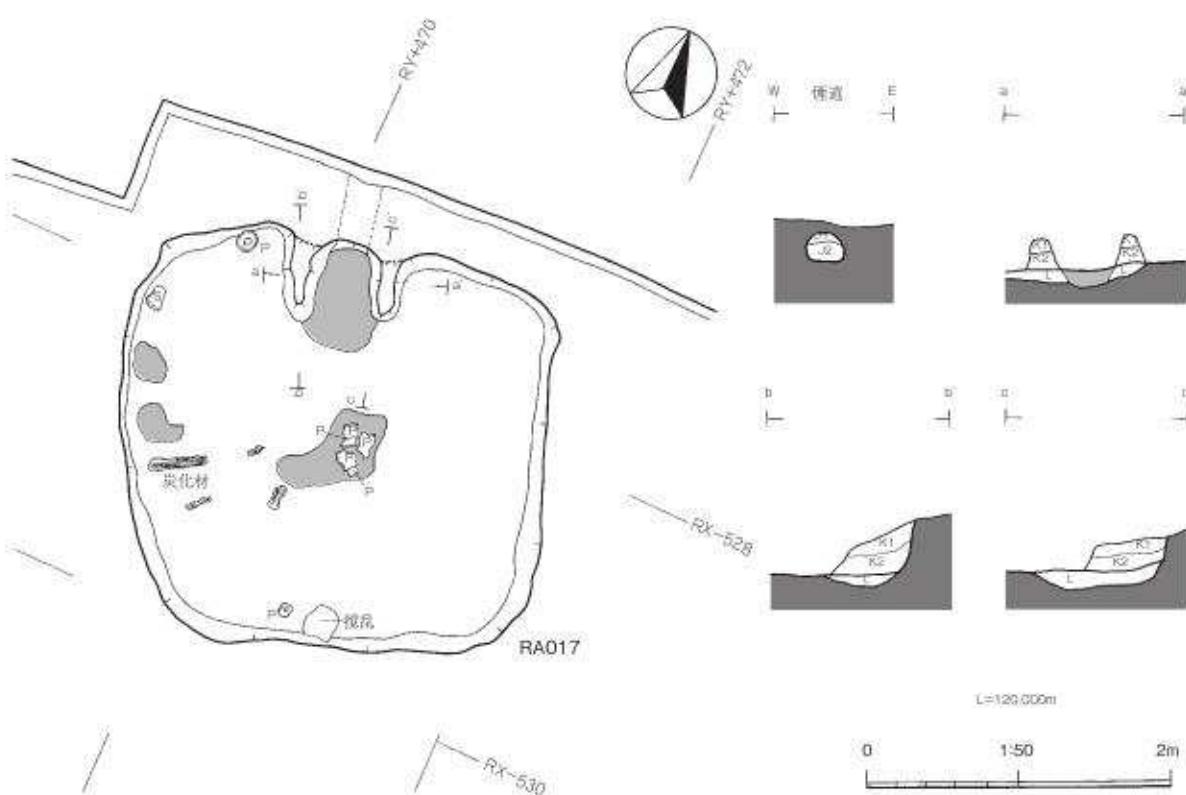
第47図 南仙北遺跡第32次調査 RD128土坑, RG130・145・146溝跡



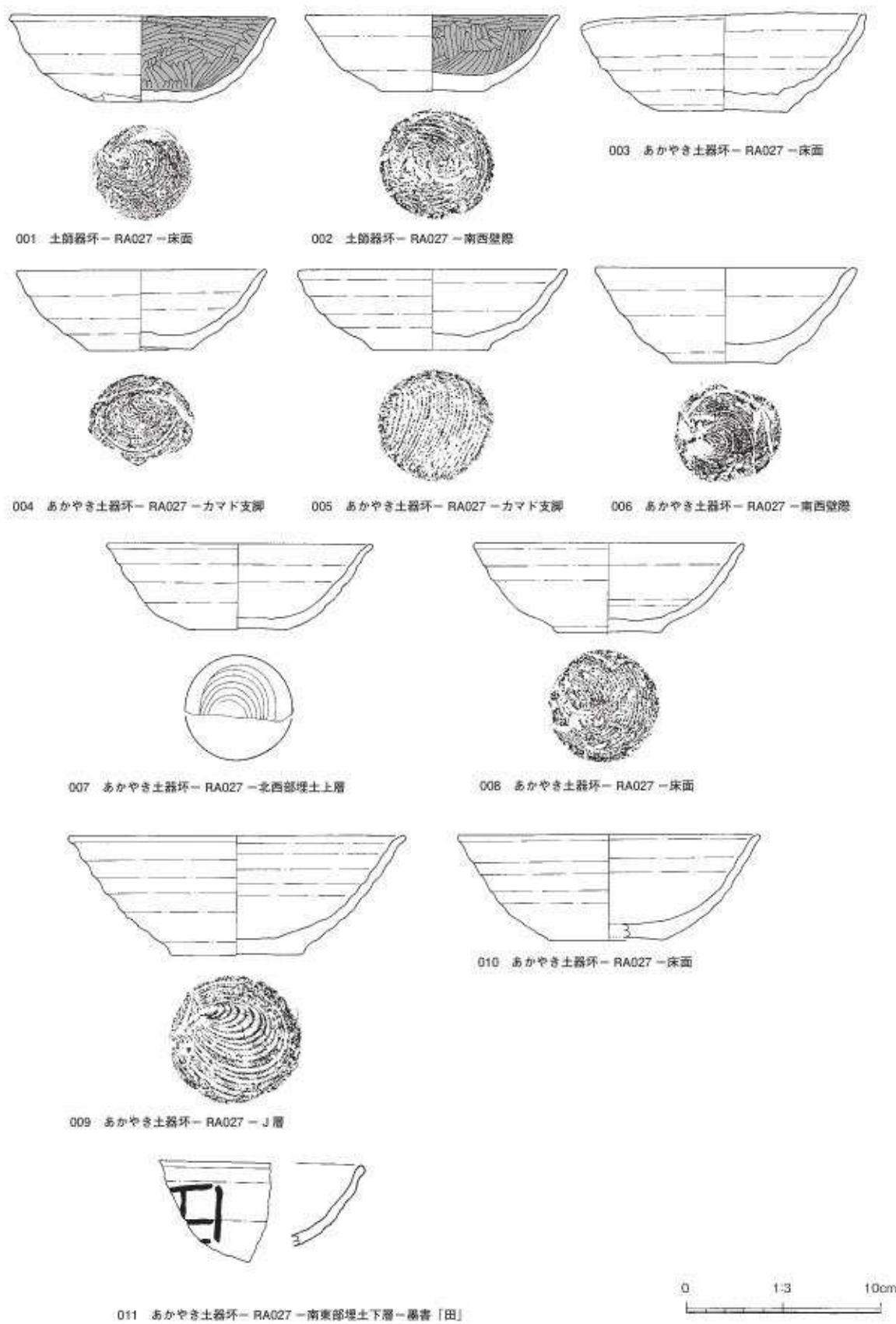
第48図 南仙北遺跡第32次調査 RG139・140・141・142・143・144溝跡



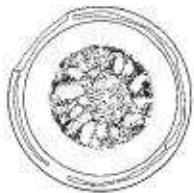
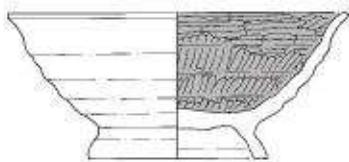
第49図 南仙北遺跡第35次調査区全体図



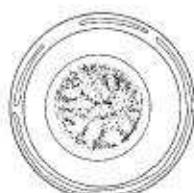
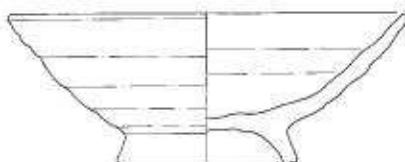
第50図 南仙北遺跡第35次調査 RA017 竪穴住居跡



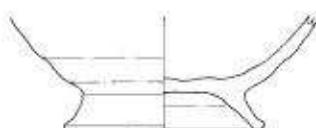
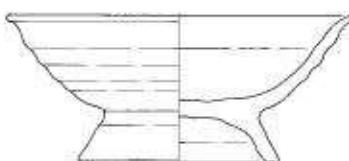
第 51 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (1)



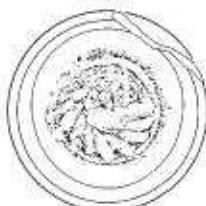
012 土器高台付环 - RA027 - 床面



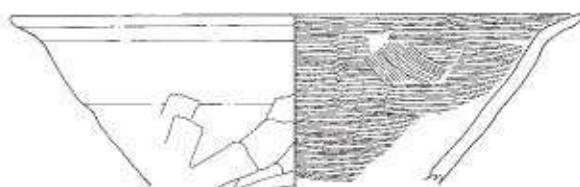
013 あかやき土器高台付环 - RA027 - カマド支脚



015 あかやき土器高台付环 - RA027 - 北東部 J 層



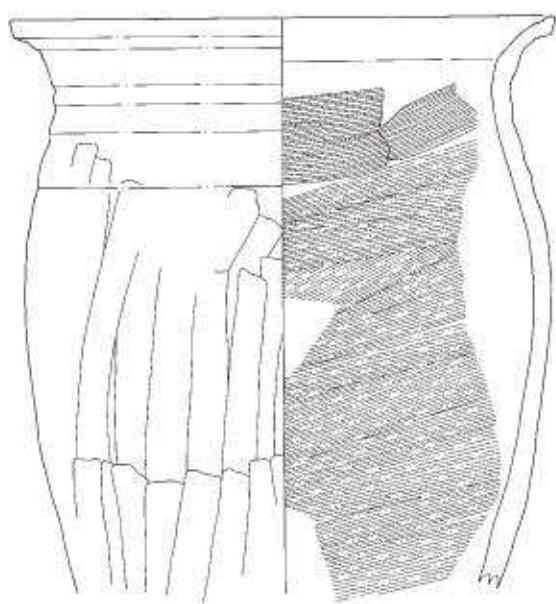
014 あかやき土器高台付环 - RA027 - 南東部埋土下層



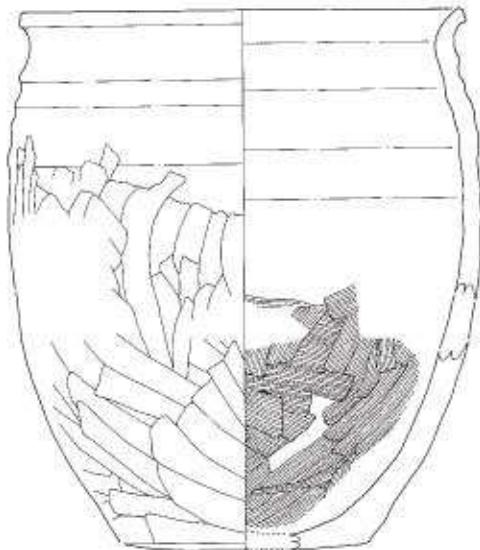
016 あかやき土器环 - RA027 - 南西部 L 层

0 1:3 10cm

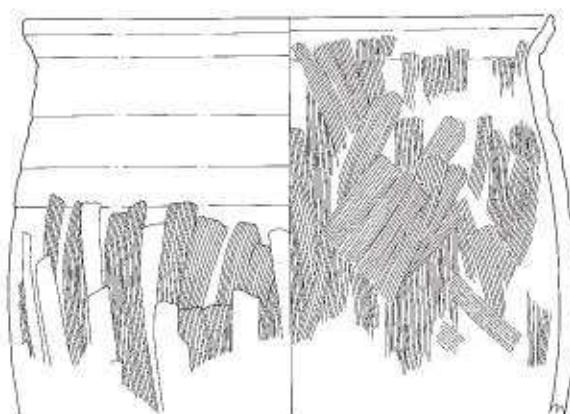
第 52 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (2)



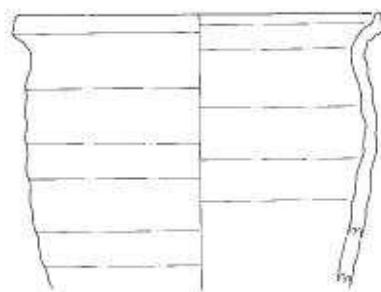
017 あかやき土器甕 - RA027 - カマド南拍部分 J層



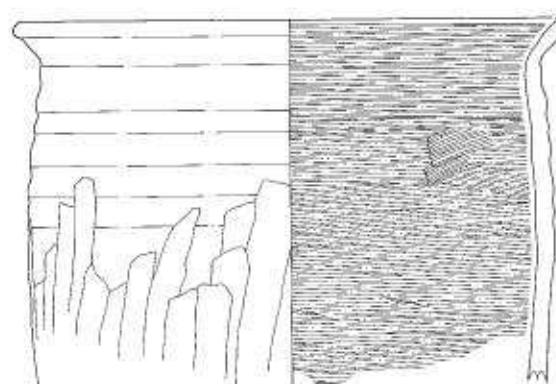
018 あかやき土器甕 - RA027 - J層



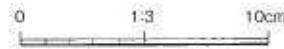
019 あかやき土器甕 - RA027 - カマド北拍 k1層



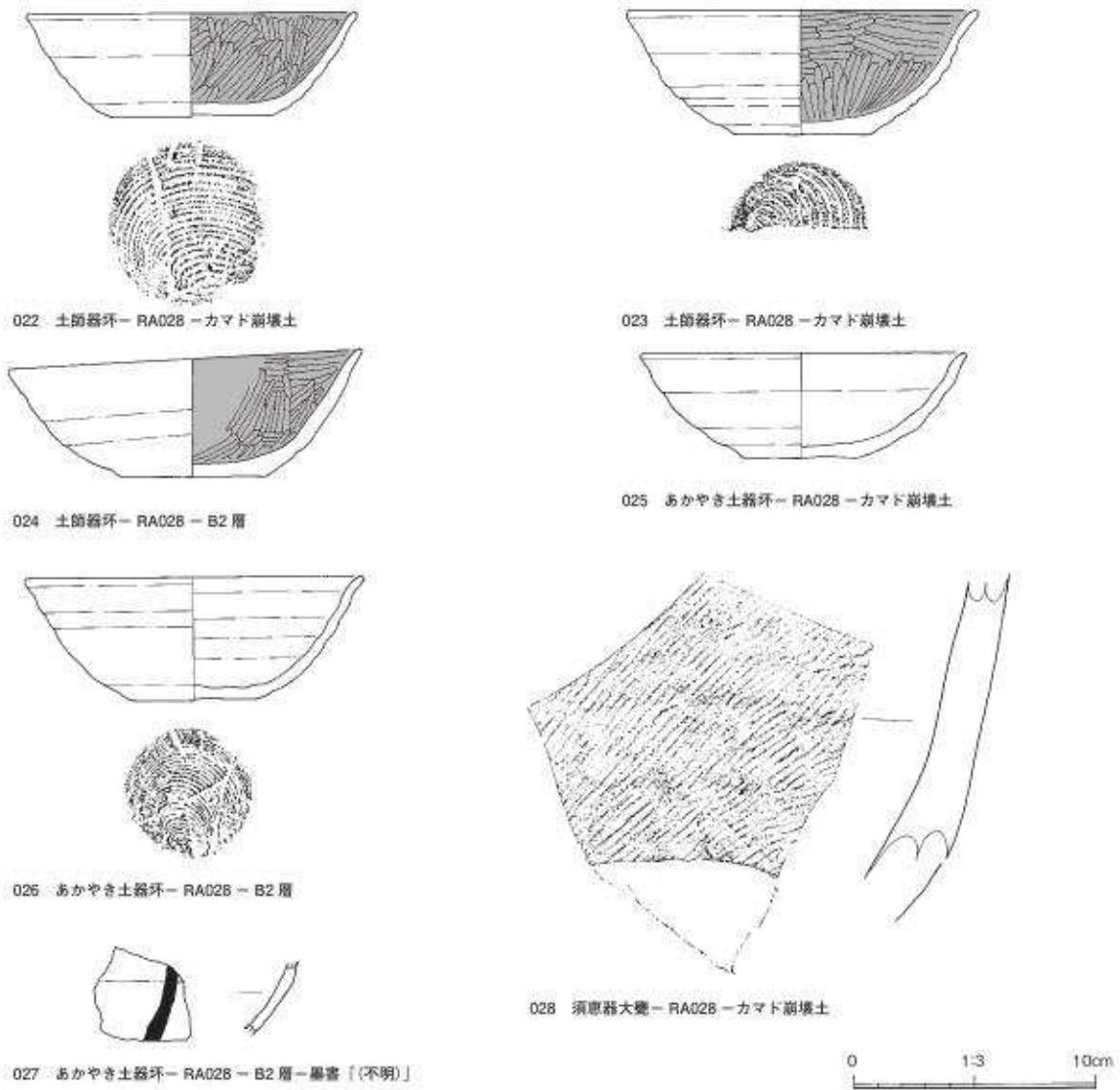
021 あかやき土器甕 - RA027 - カマド支脚



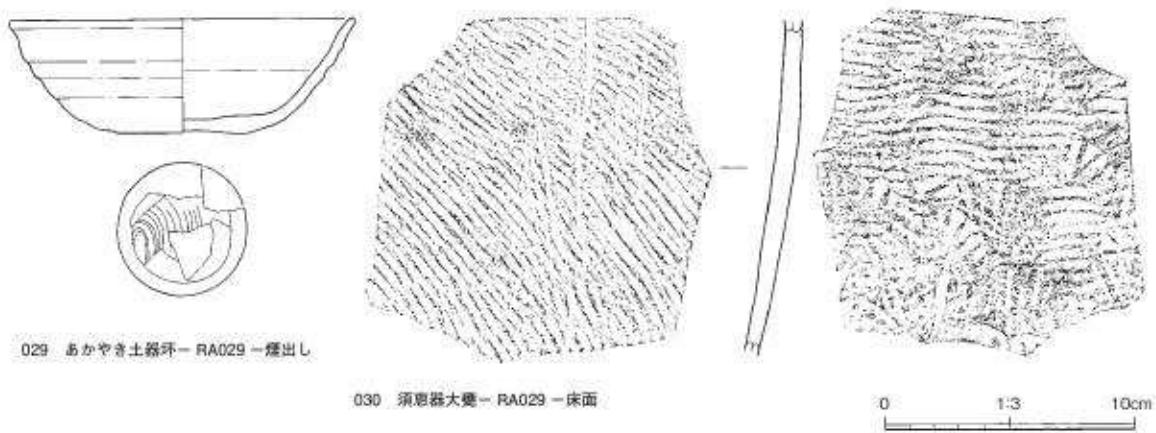
020 あかやき土器甕 - RA027 - 床面



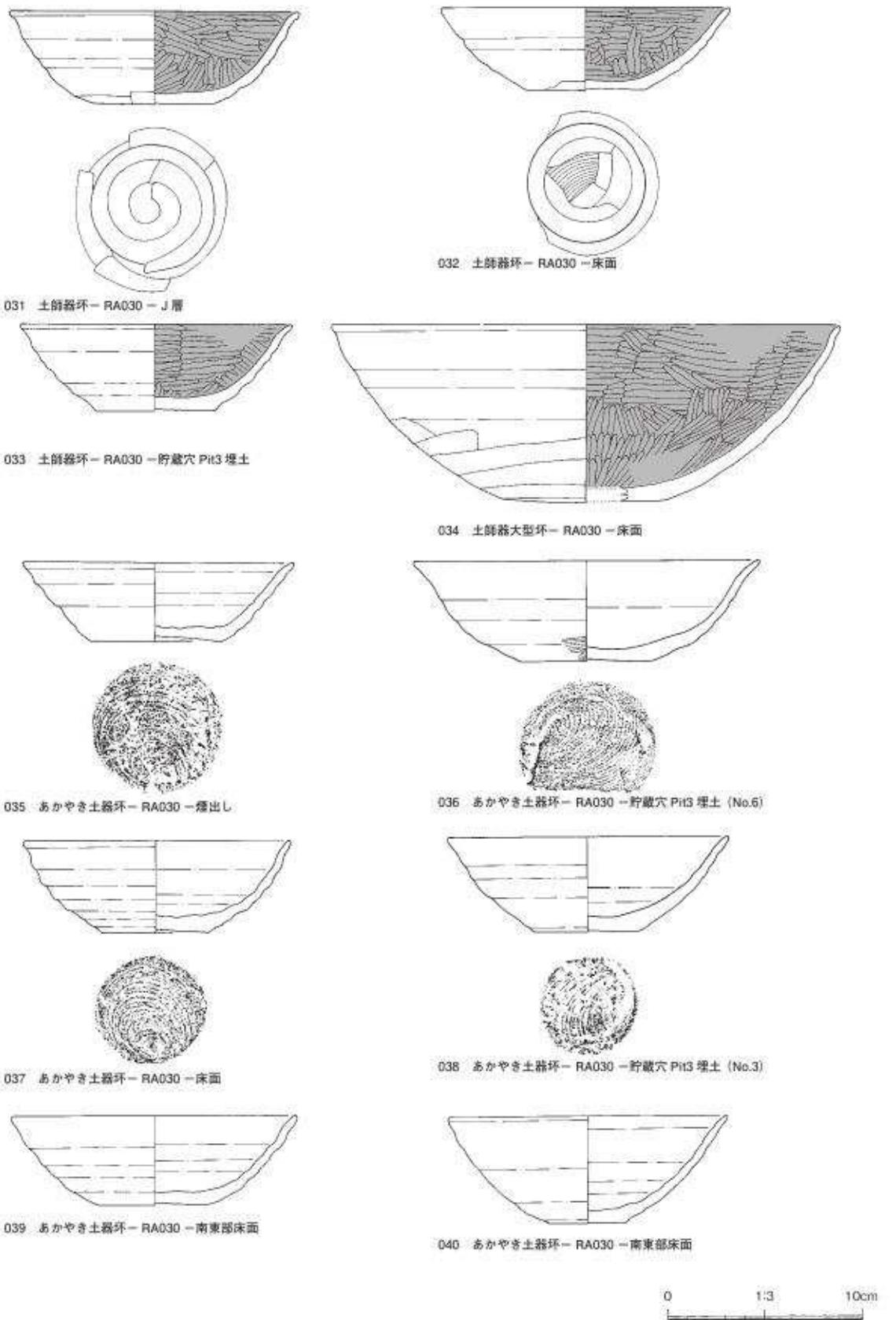
第 53 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (3)



第 54 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA028 出土遺物



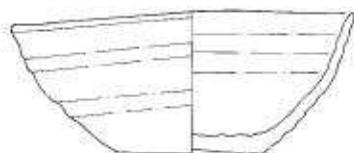
第 55 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA029 出土遺物



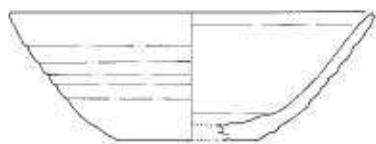
第 56 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA030 出土遺物 (1)



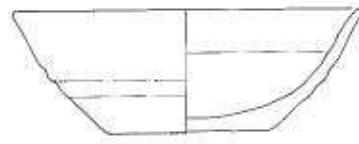
041 あかやき土器環－RA030－L層



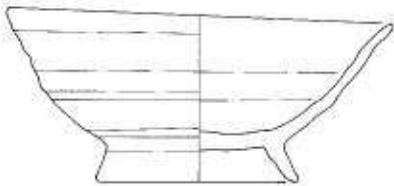
042 あかやき土器環－RA030－B2層



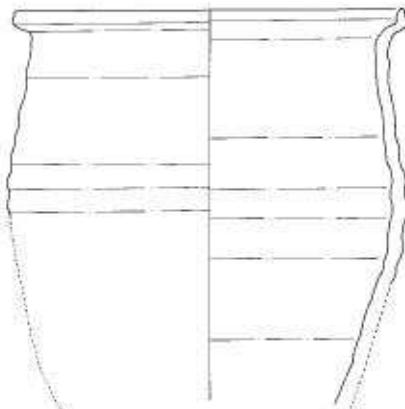
043 あかやき土器環－RA030－南東部床面



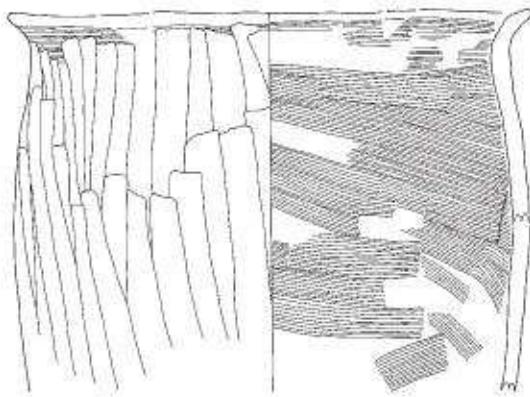
044 あかやき土器環－RA030－B1層



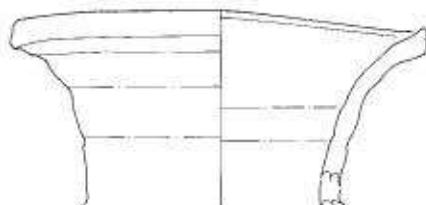
045 あかやき土器高台付環－RA030－貯蔵穴Pi3埋土(No.7)



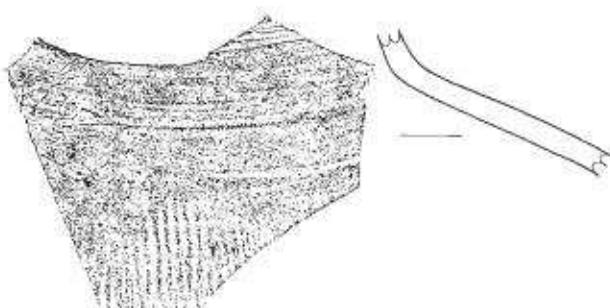
047 あかやき土器壺－RA030－B2層



046 土器壺－RA030－床面



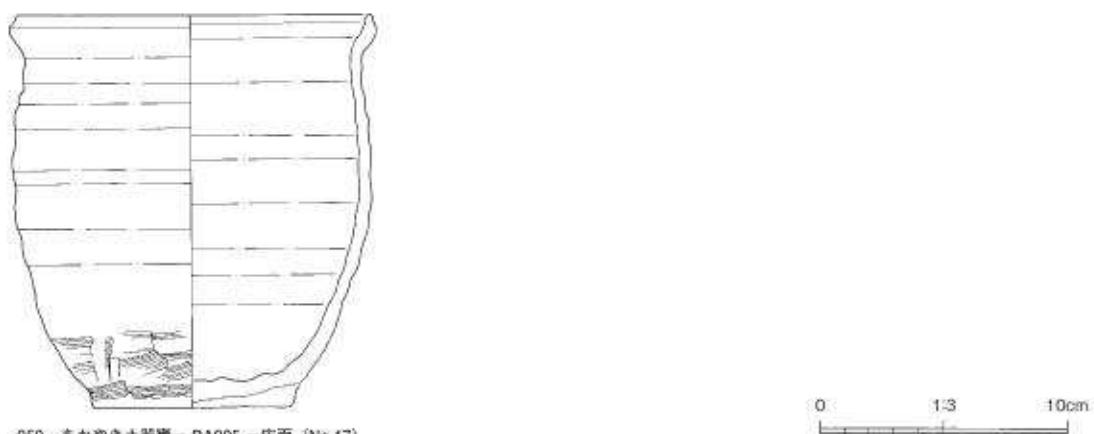
048 須恵器壺－RA030－B1層



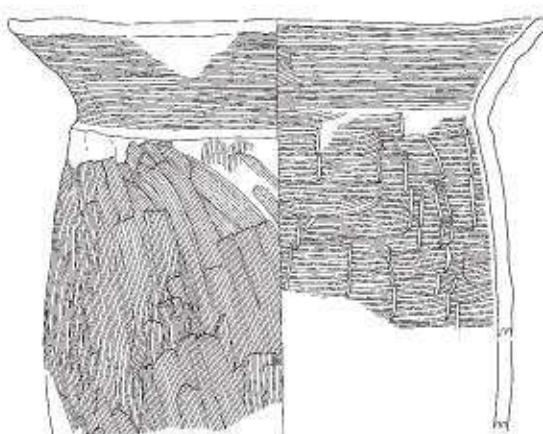
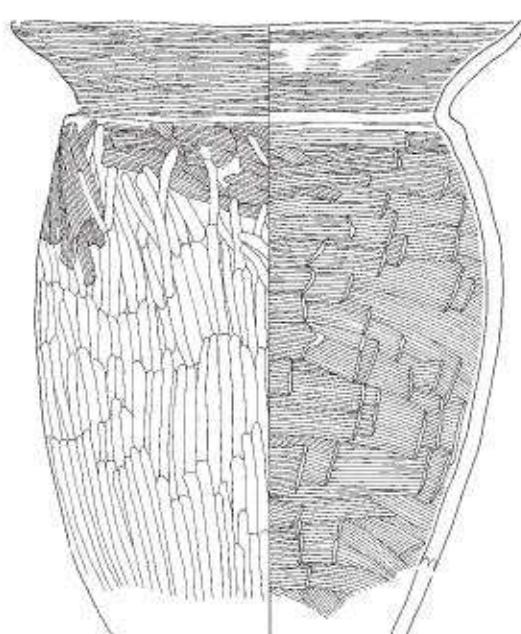
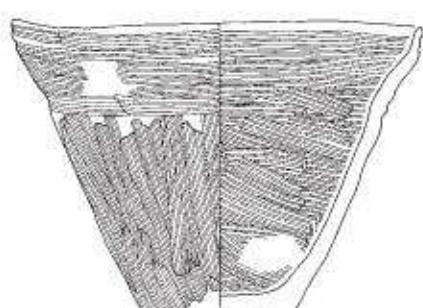
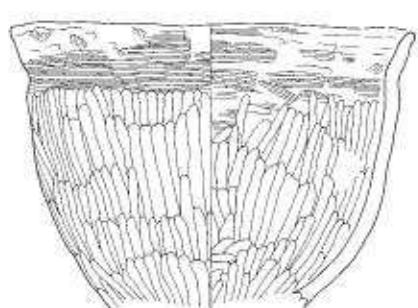
049 須恵器大壺－RA030－B2層

0 1:3 10cm

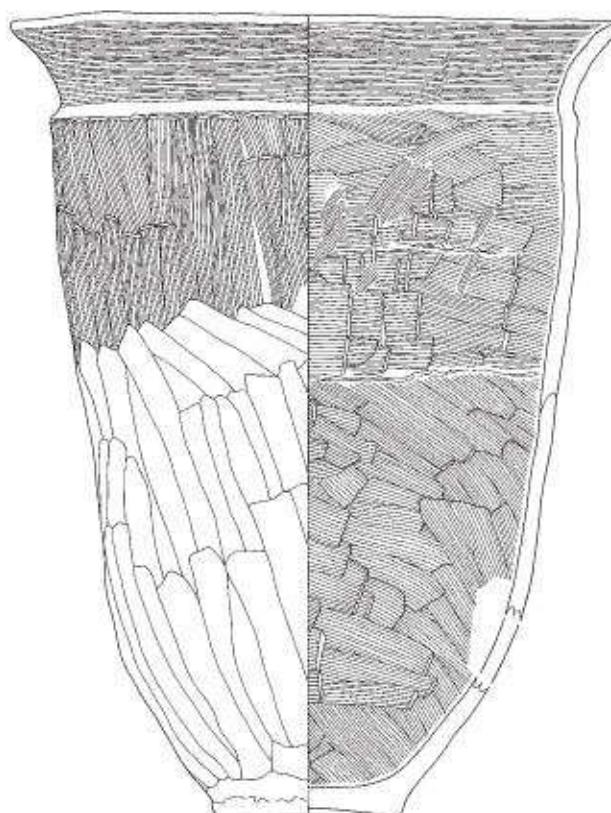
第 57 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA030 出土遺物 (2)



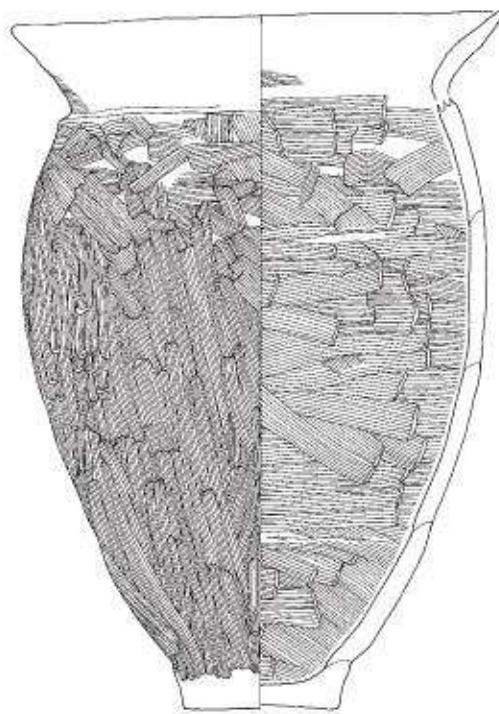
第 58 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA005 出土遺物



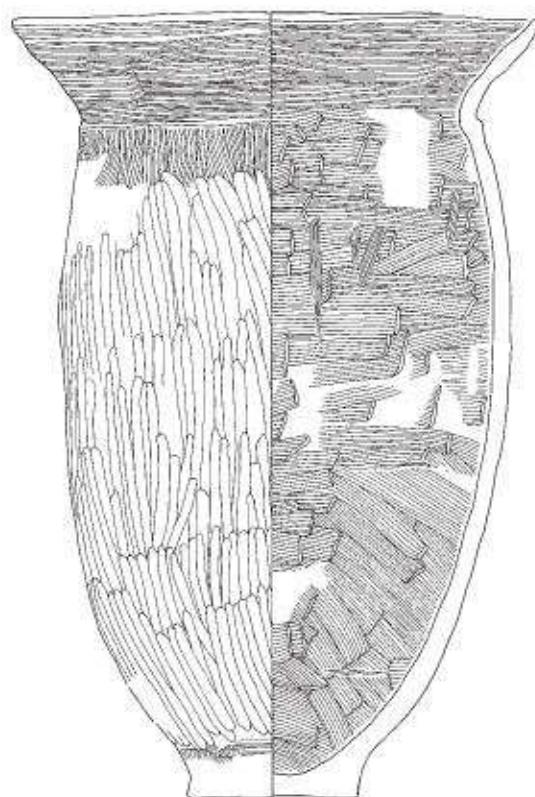
第 59 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 出土遺物 (1)



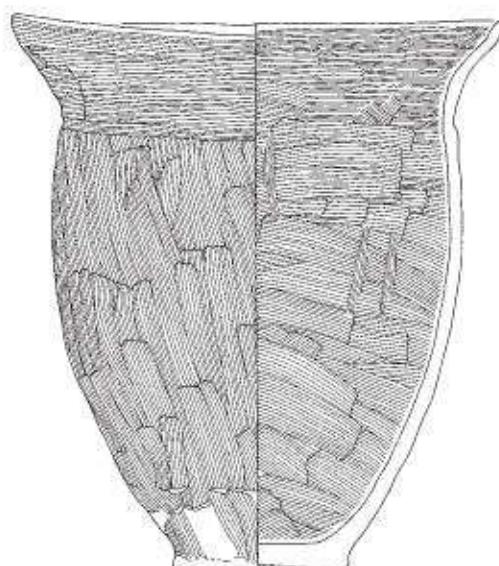
055 土師器甕－RA006－床面 (No.1)



056 土師器甕－RA006－床面 (No.12)



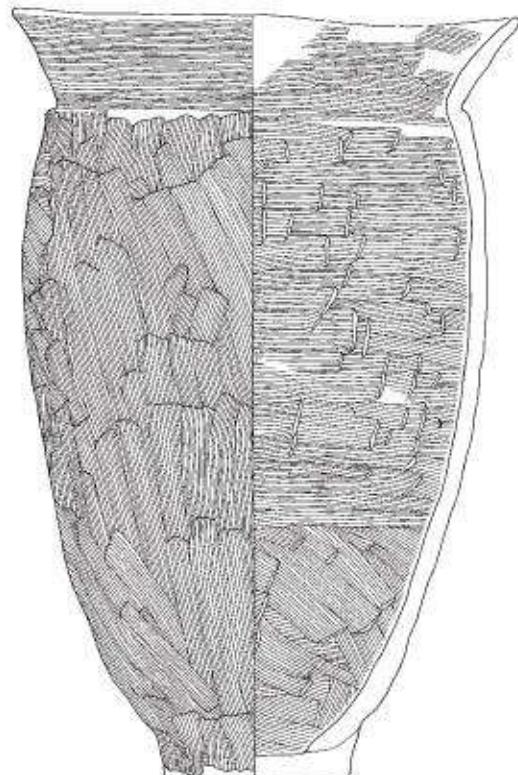
057 土師器甕－RA006－床面 (No.7)



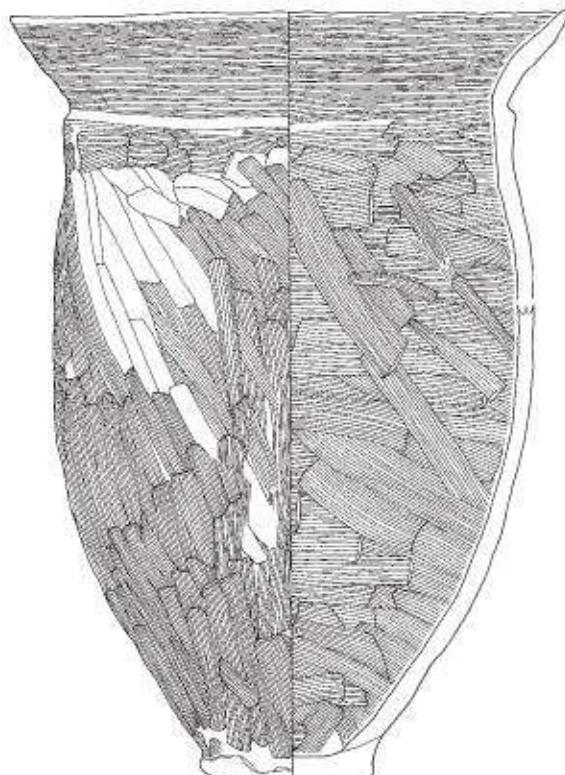
058 土師器甕－RA006－床面 (No.4)

0 1-3 10cm

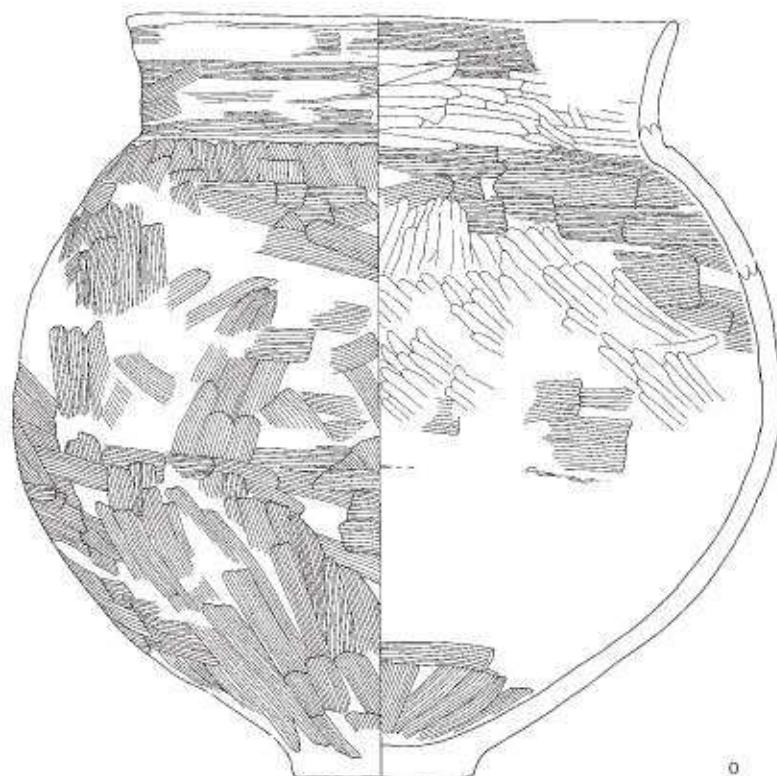
第 60 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 出土遺物 (2)



059 土師器壺—RA006—カマド南袖



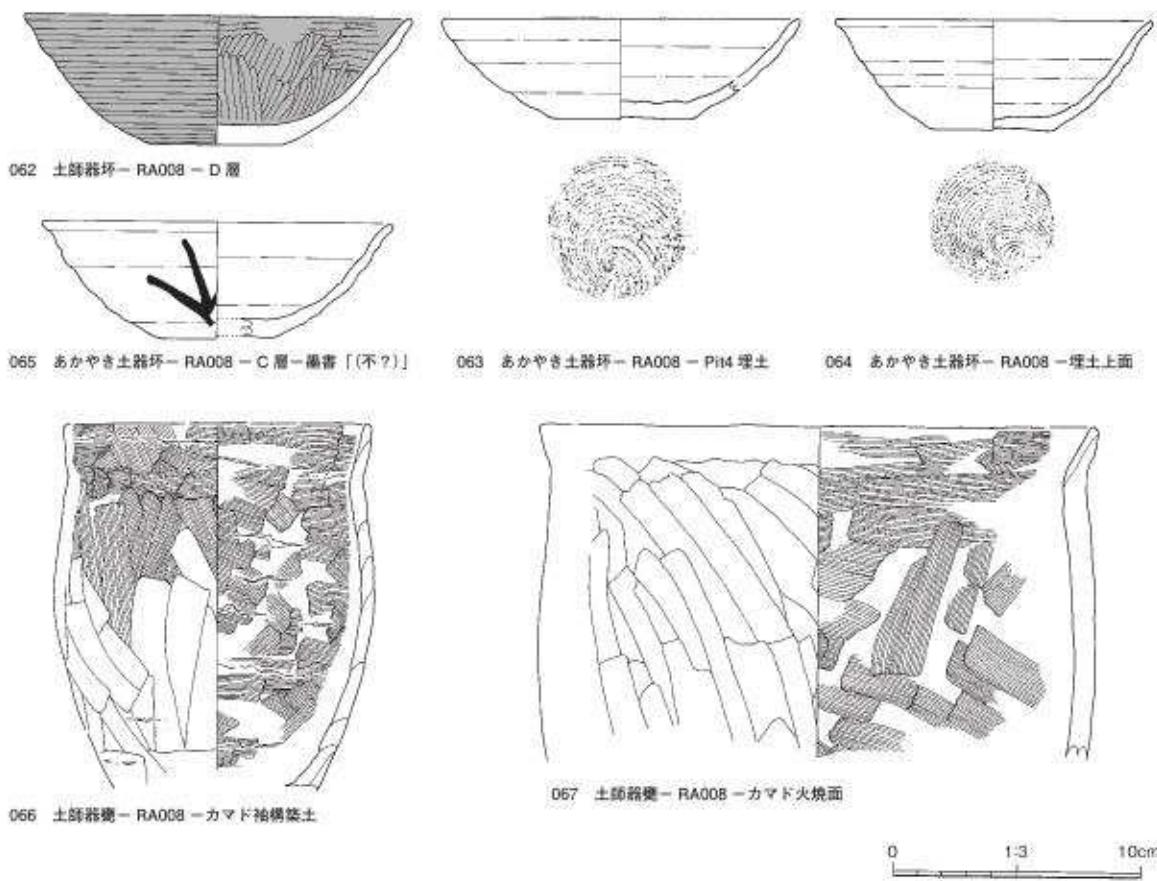
060 土師器壺—RA006—カマド北袖



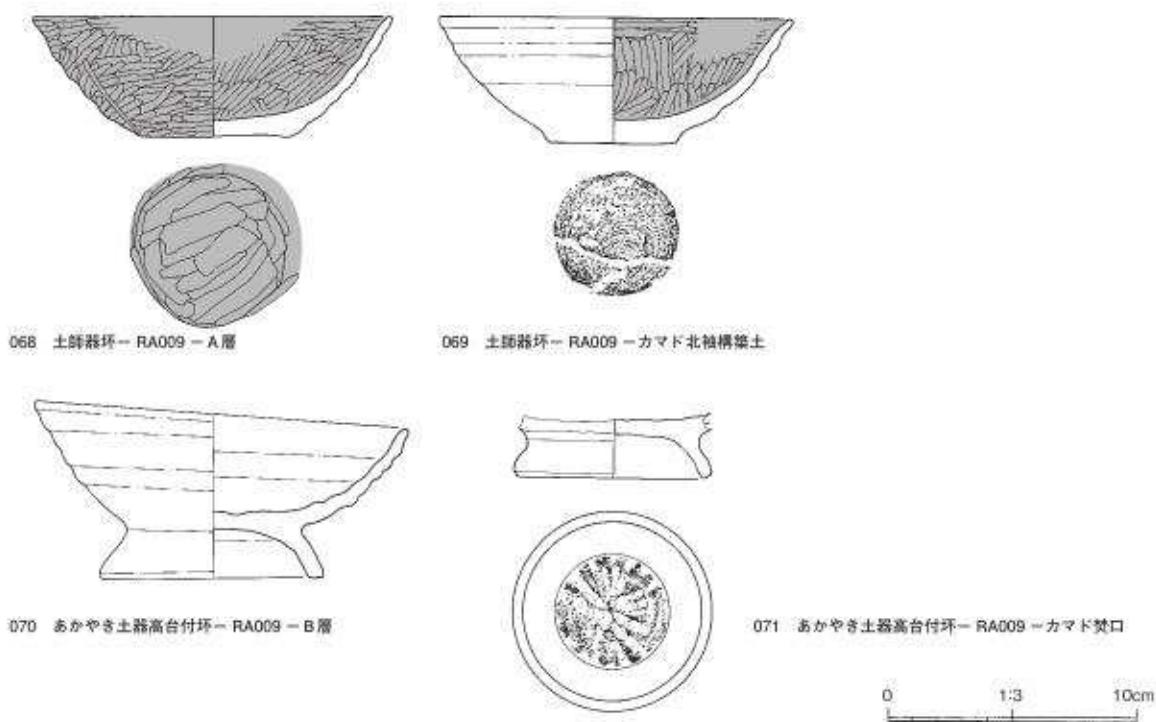
061 土師器球洞壺—RA006—床面 (No.9)

0 1.3 10cm

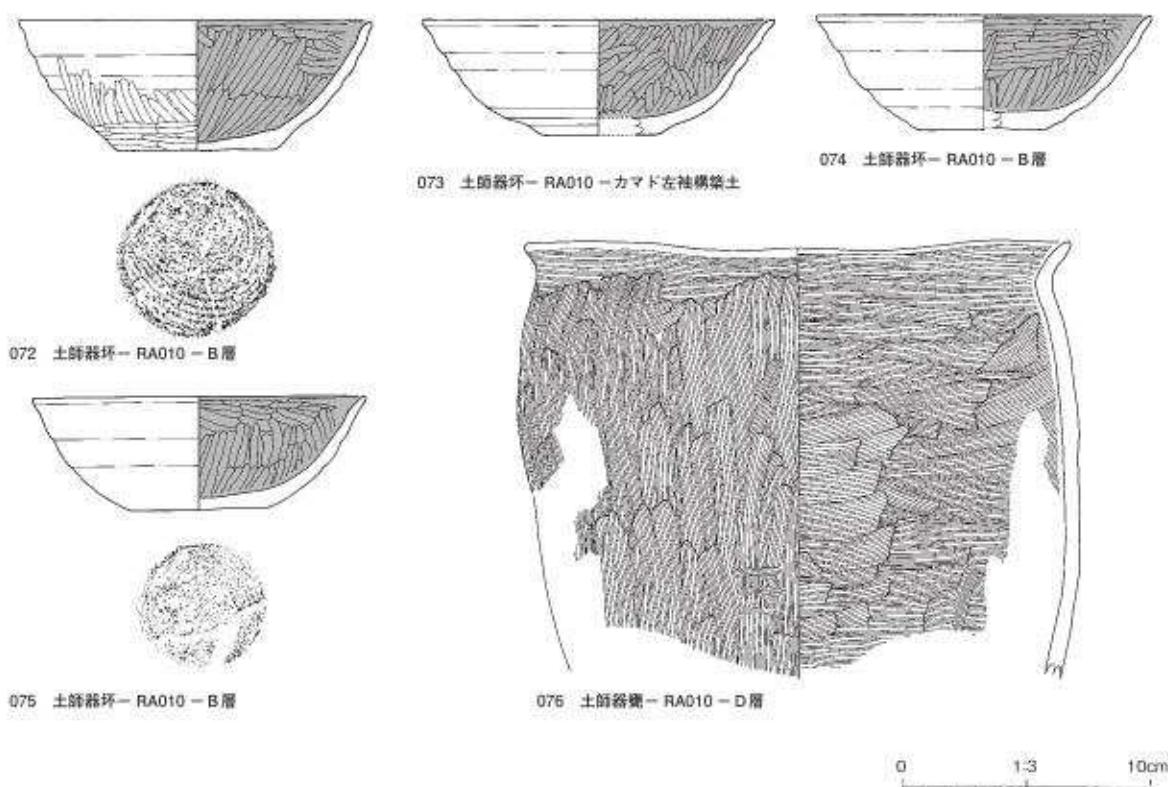
第 61 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 出土遺物 (3)



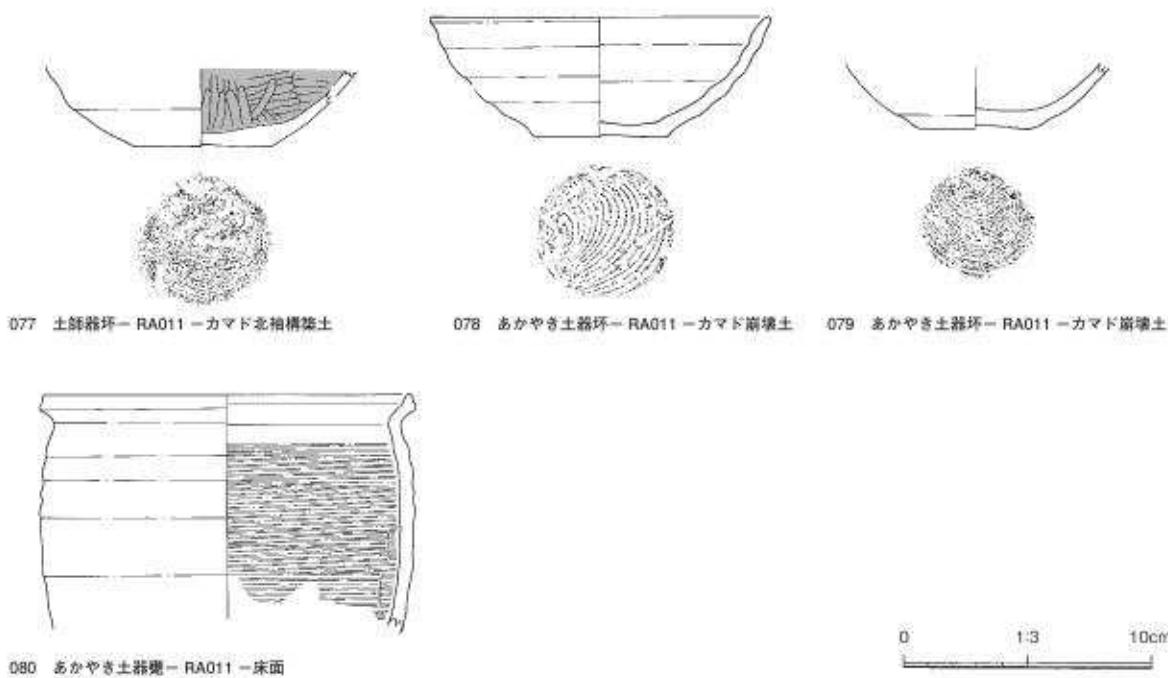
第62図 野古A遺跡第11次調査 RA008出土遺物



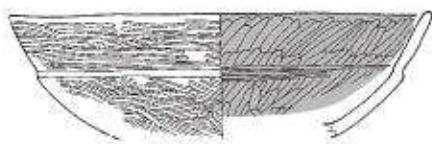
第63図 野古A遺跡第11次調査 RA009出土遺物



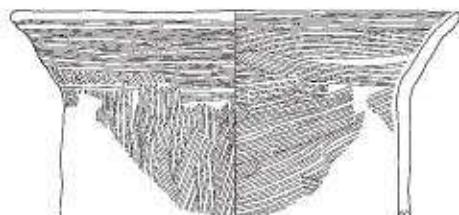
第64図 野古A遺跡第11次調査 RA010出土遺物



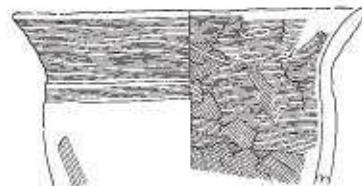
第65図 野古A遺跡第11次調査 RA011出土遺物



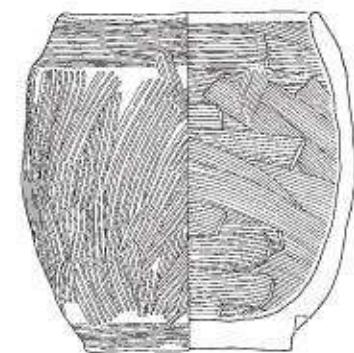
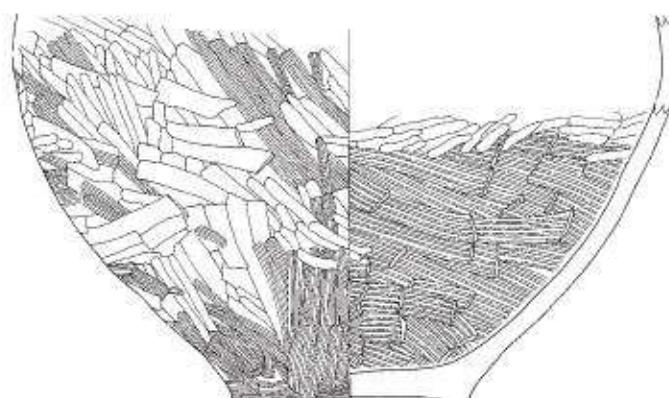
081 土師器環－RA012－縫道表面



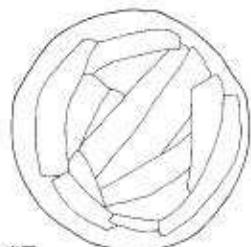
082 土師器甕－RA012－カマド北袖構築土



083 土師器甕－RA012－A層



085 土師器甕－RA012－カマド焚口B層



084 土師器球根甕－RA012－床面

0 1:3 10cm

第66図 野古A遺跡第11次調査 RA012出土遺物



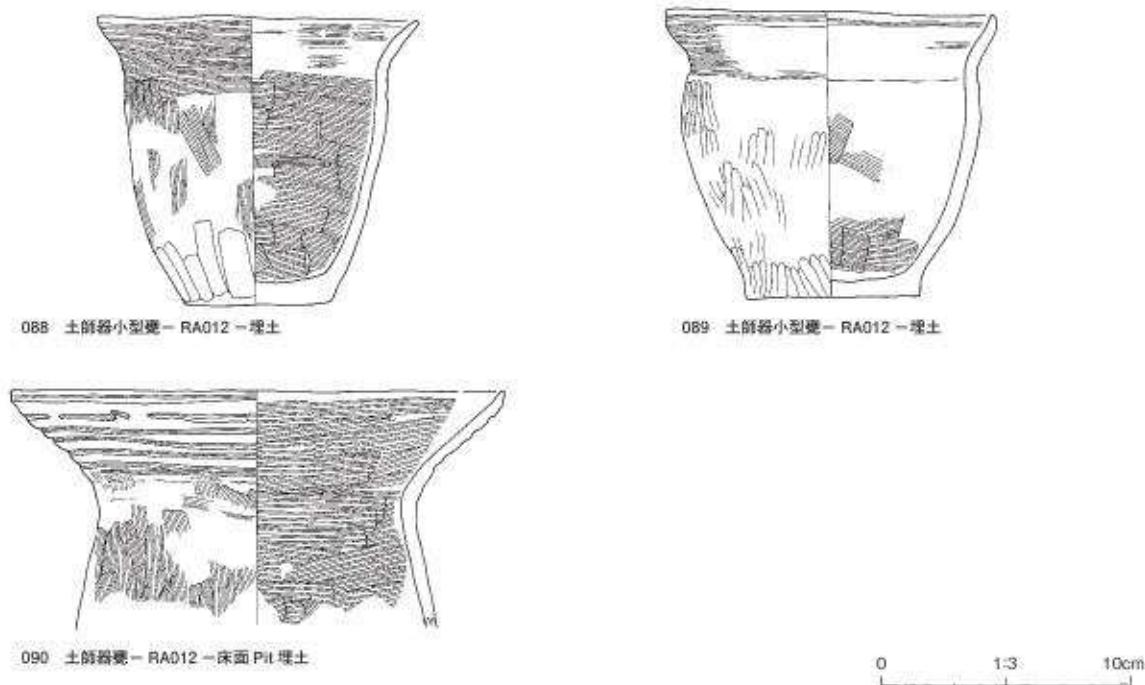
086 土師器球根甕－RA013－カマド焚口B層



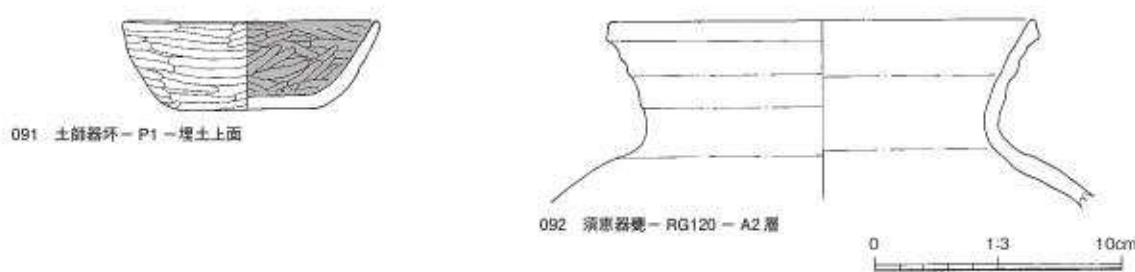
087 土師器高台付甕－RA013－B層

0 1:3 10cm

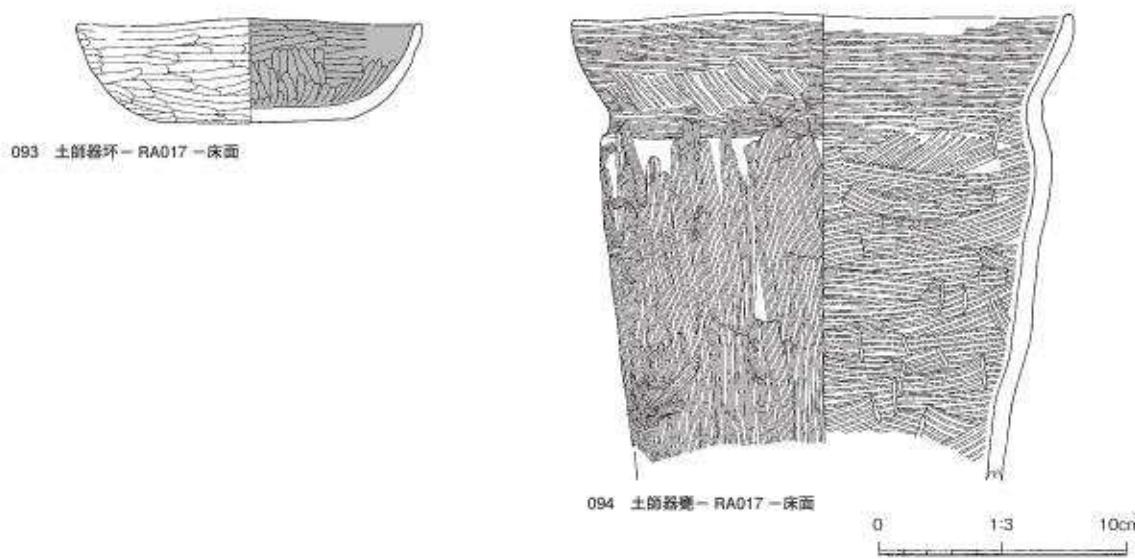
第67図 野古A遺跡第11次調査 RA013出土遺物



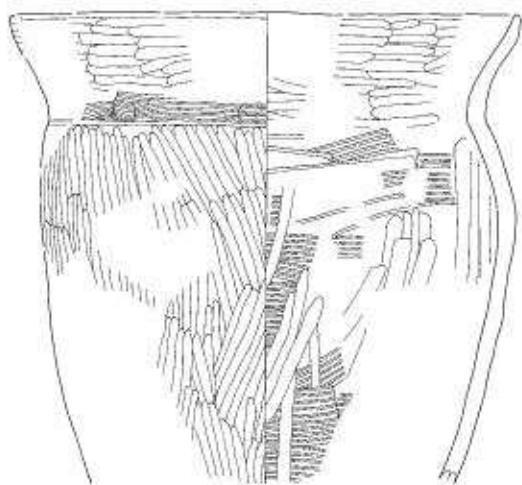
第68図 南仙北遺跡第15次調査 RA012出土遺物



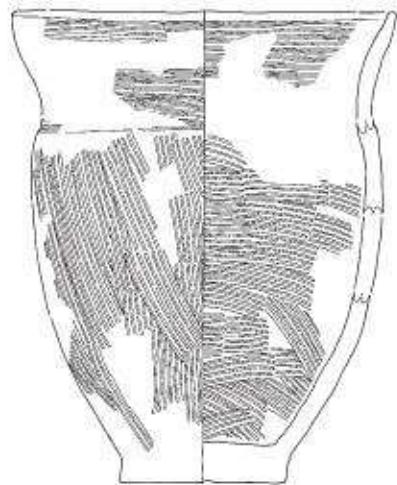
第69図 南仙北遺跡第28次調査出土遺物



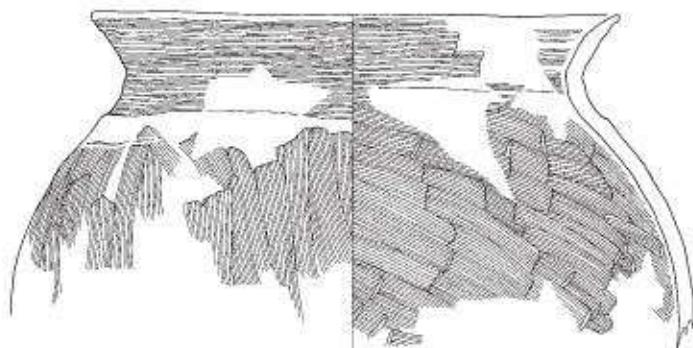
第70図 南仙北遺跡第35次調査 RA017出土遺物



095 土筋器壺 - RA3001 - カマド崩壊土



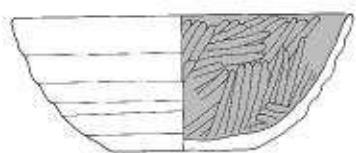
096 土筋器壺 - RA3001 - カマド崩壊土



097 土筋器球腹壺 - RA3001 - 墳土

0 1:3 10cm

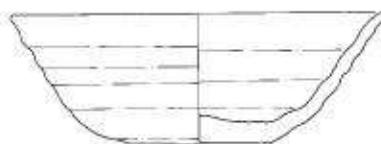
第 71 図 南仙北遺跡第 30 次調査 RA3001 出土遺物



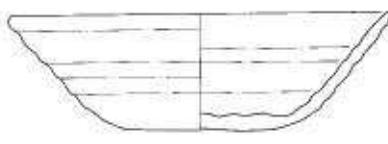
098 土器器环—RG131—底面



099 須惠器环—RG131—B層



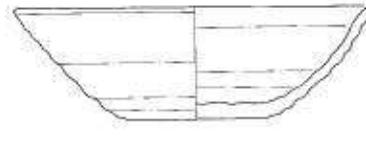
100 須惠器环—RG131—B1層



101 須惠器环—RG131—埋土上面



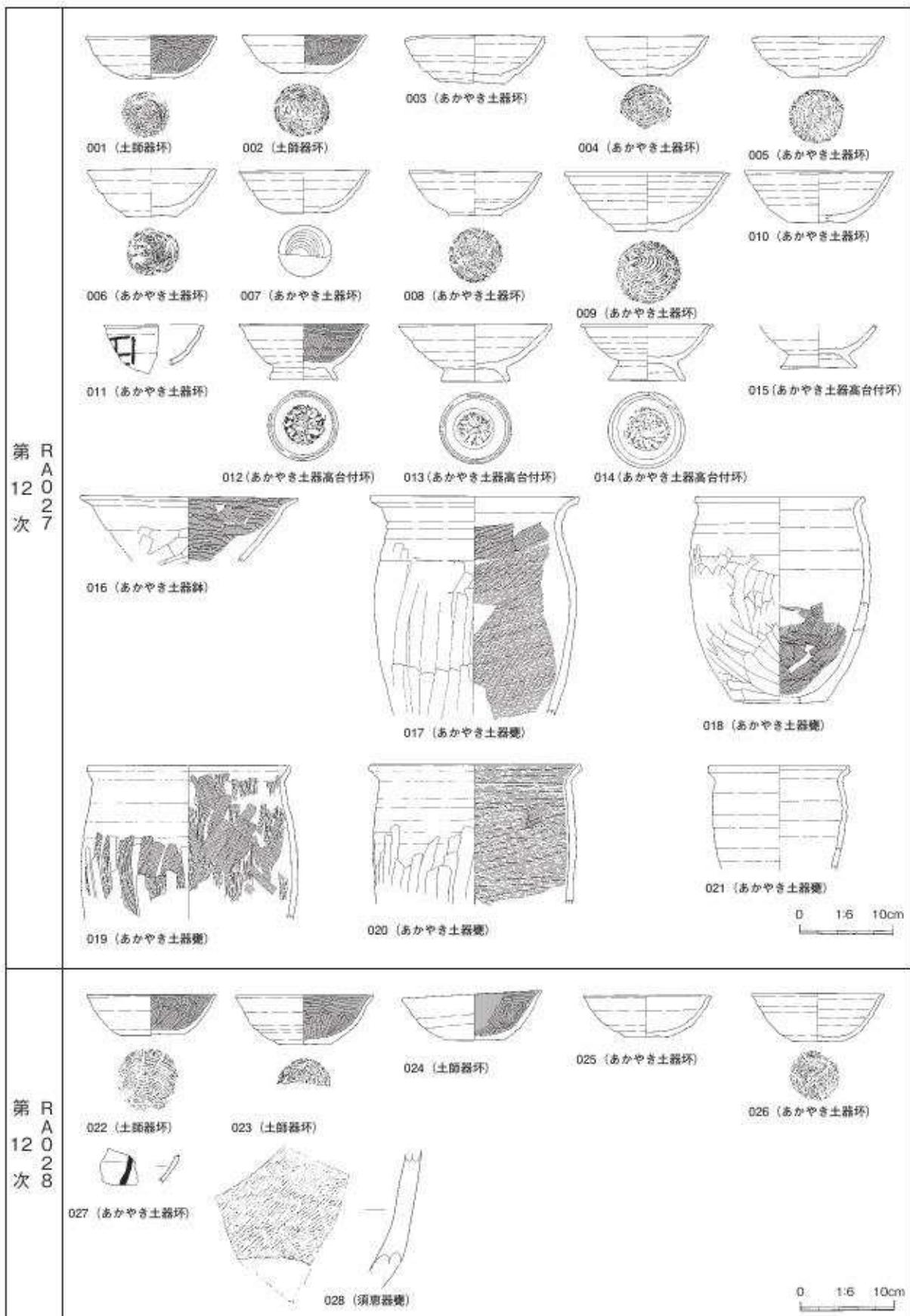
102 須惠器环—RG131—埋土上面



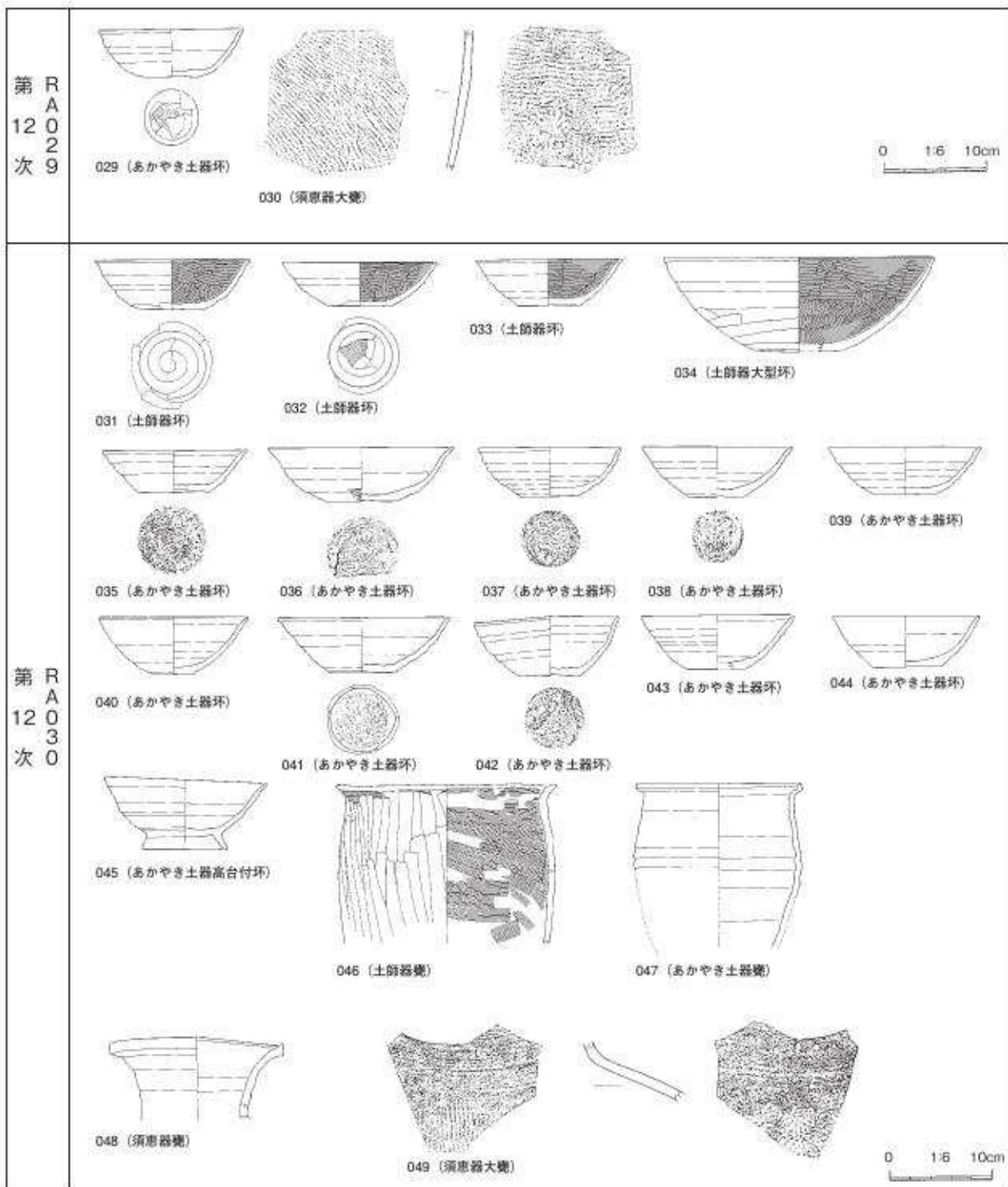
103 須惠器环—調査区内散乱

0 1:3 10cm

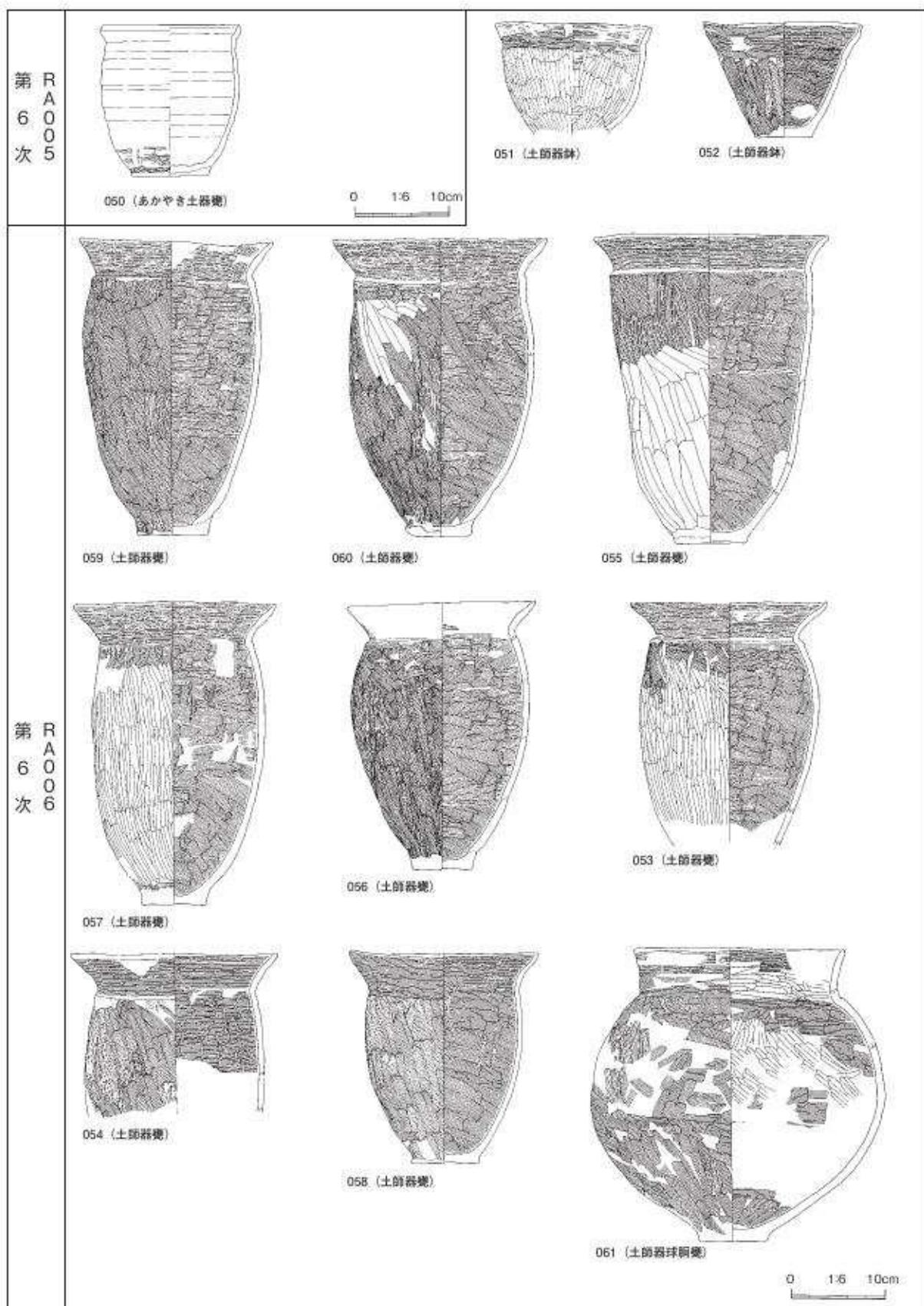
第72図 南仙北遺跡第32次調査出土遺物



第 73 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土土器集成図 (1)



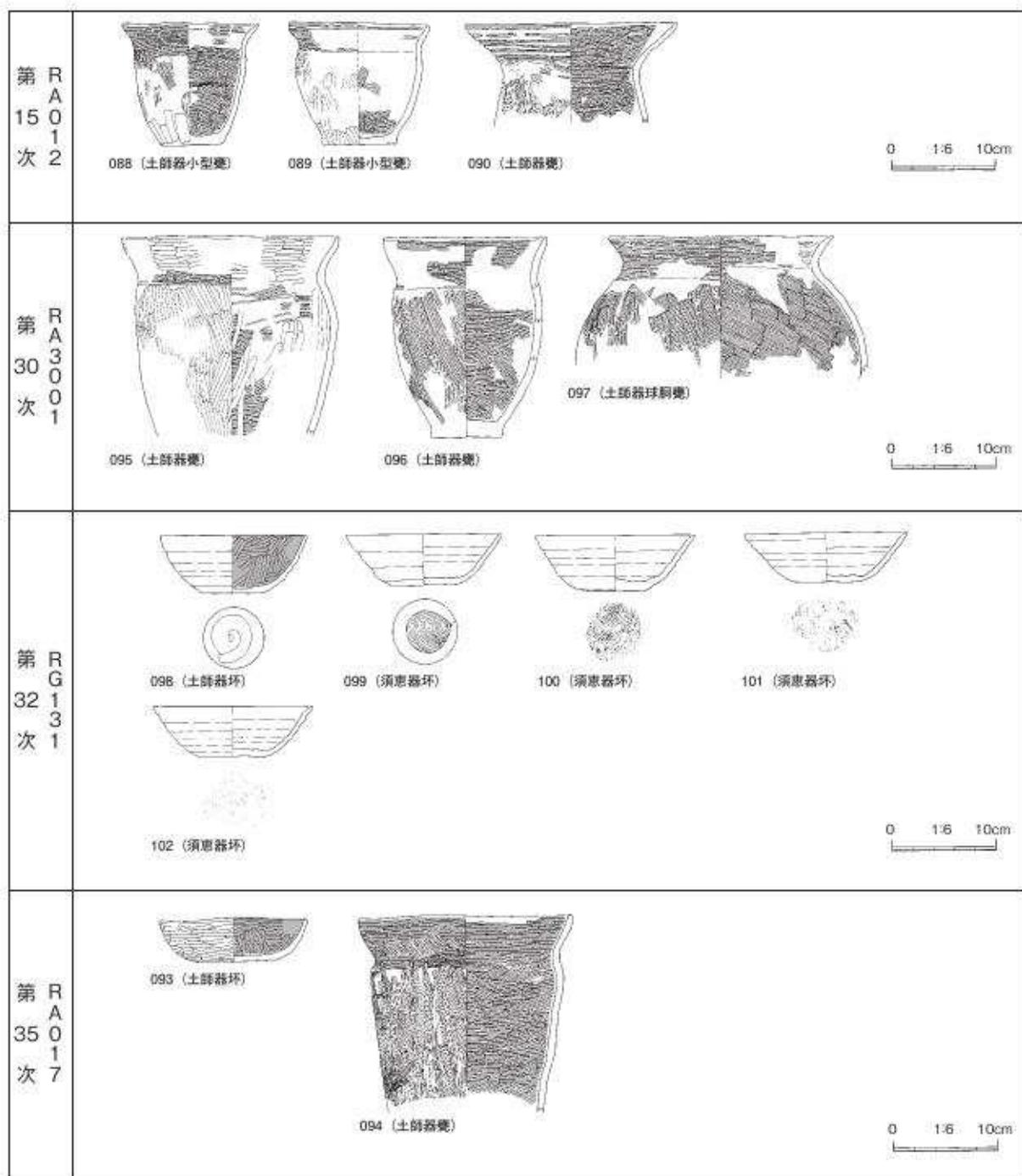
第 74 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土土器集成図 (2)



第 75 図 野古 A 遺跡第 6 次調査出土土器集成図

第 R 11 次 0 0 8	062 (土師器環) 064 (あかやき土器環) 065 (あかやき土器環) 066 (土師器壺) 067 (土師器壺) 068 (土師器環) 069 (土師器環)	063 (あかやき土器環) 070 (あかやき土器高台付壺) 071 (あかやき土器高台付壺)	0 1:6 10cm
第 R 11 次 0 0 9	072 (土師器環) 073 (土師器環)	074 (土師器環) 075 (土師器壺)	076 (土師器壺)
第 R 11 次 0 1 0	077 (土師器環) 078 (あかやき土器環)	079 (あかやき土器壺)	080 (あかやき土器壺)
第 R 11 次 0 1 1	081 (土師器環) 082 (土師器壺)	083 (土師器壺)	0 1:6 10cm
第 R 11 次 0 1 2	086 (土師器環)	087 (土師器高台付壺)	088 (土師器壺)
第 R 11 次 0 1 3	085 (土師器壺)	084 (土師器壺洞窓)	0 1:6 10cm

第 76 図 野古 A 遺跡第 11 次調査出土土器集成図



第 77 図 南仙北遺跡第 15・30・32・35 次調査出土土器集成図

表

遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積(m ²)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
福荷	01N	1	H6	試掘確認	本宮字稻荷16-3他	2,143 (対象14,595)	1994.5.30～ 1994.11.7	古代土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2	H8	試掘確認	本宮字稻荷26-13他	234 (対象2,138)	1996.4.22	古代土坑・溝跡	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3	H9	本調査	本宮字稻荷26-3他	1,066	1997.5.12～ 1997.5.30	平安時代溝跡2	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県282集
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
本宮熊堂A (※注)	0KD	2	H6	試掘確認	本宮字熊堂65-3他	2,835 (対象13,290)	1994.11.7～ 1994.12.9	古代土坑・溝跡・柱穴 縄文時代晚期土器	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2補	H8	試掘確認	本宮字熊堂69-12他	1,679 (対象9,970)	1996.5.14～ 1996.5.16	縄文時代遺物包含層 古代土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		6	H8	本調査	本宮字熊堂65-3他	15,110	1996.7.3～ 1996.10.24	縄文時代堅穴住居跡1・焼土遣模2・土坑20・遺物包含層	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県281集
		7	H8	本調査	本宮字熊堂65-3他	3,800	1996.9.2～ 1996.10.23	古代以降掘立柱建物跡1・土坑2・溝跡・縄文時代晚期遺物包含層	地区面整理 (都市計画道路)	県埋文	県266集
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
本宮熊堂B (※注)	0KO	1	H5	本調査	本宮字稻荷3-20他	14,400	1993.4.7～ 1993.8.12	奈良時代堅穴住居跡2・土坑2・平安時代堅穴住居跡7・土坑12・溝跡4	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県226集
		3	H7	試掘確認	本宮字熊堂地内	2,759 (対象6,323)	1995.9.18～ 1995.9.21	古代堅穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3補	H8	試掘確認	本宮字熊堂37他	3,422 (対象26,011)	1996.4.23～ 1996.5.7	古代堅穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		4	H9	本調査	本宮字熊堂49他	4,181	1997.7.1～ 1997.10.22	奈良時代堅穴住居跡1・平安時代堅穴住居跡7・堅穴状遣模5・土坑4・溝跡2・中世以降掘立柱建物跡1・土坑17・溝跡2	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県308集
		5	H9	本調査	本宮字熊堂31-1	2,910	1997.8.18～ 1997.10.15	奈良時代堅穴住居跡2・平安時代堅穴住居跡4・溝跡2・近世以降土坑1	地区面整理 (都市計画道路)	県埋文	県293集
		8	H11	本調査	向中野字千刈田4-6他	1,289	1999.5.10～ 1999.6.30	古代以降溝跡5・遺物包含層	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		9	H12	本調査	本宮字野古62	186	2000.5.18～ 2000.5.31	なし	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県370集
		10	H12	本調査	本宮字稻荷1他	3,235	2000.4.14～ 2000.6.16	縄文時代階下穴1・奈良時代堅穴住居跡4・土坑2・平安時代溝跡1・古代土坑6・溝跡3	地区面整理 (都市計画道路)	県埋文	県377集
		11	H12	本調査	本宮字熊堂36-1他	660	2000.5.1～ 2000.5.17	平安時代堅穴状遣模1・溝跡2・焼土遣模1	地区面整理 (国道)	県埋文	県370集
		12	H12	本調査	向中野字千刈田4-1他	1,663	2000.10.20～ 2000.11.29	平安時代堅穴住居跡5・柱穴・遺物包含層	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
野吉A	0NK	6	H5	本調査	下鹿妻字北52	550	1993.10.04～ 1993.10.29	奈良時代堅穴住居跡1・土坑1・掘立柱建物2・古代堅穴住居跡1・土坑11・溝跡1・円形周溝1・堅穴状遣模1・柱穴	住宅新築 (区画整理区内)	市教委	本書
		6補	H6	本調査	下鹿妻字小林45-3		1994.8.17～ 1994.9.13				
		7	H6	試掘確認	本宮字野古53-3他	2,602 (対象10,878)	1994.11.7～ 1994.12.9	古代土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		8	H8	試掘確認	下鹿妻字北32-1他	4,442 (対象29,955)	1996.4.8～ 1996.4.16	古代堅穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		9	H9	本調査	本宮字野古46-1他	11,087	1997.5.29～ 1997.6.30	平安時代土坑3・溝跡3	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県282集
		10	H9	本調査	本宮字野古50-4他	1,700	1997.7.1～ 1997.7.31	平安時代土坑1・溝跡1	地区面整理 (都市計画道路)	県埋文	県282集
		11	H12	本調査	下鹿妻字北44-1他	1,080	2000.8.21～ 2000.9.30	奈良時代堅穴住居跡3・平安時代堅穴住居跡4・古代土坑2・溝跡7	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
飯岡沢田	1SD	1	H7	試掘確認	下鹿妻字北地内	384 (対象2,197)	1995.9.21～ 1995.9.22	なし	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2	H8	試掘確認	飯岡新田1地割79-2他	2,965 (対象31,649)	1996.10.28～ 1996.11.1	古代堅穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
飯岡才川	1SW	1	H8	試掘確認	飯岡新田2地割80他	5,672 (対象42,195)	1996.7.24～ 1996.8.2 1996.11.5～ 1996.11.11	古代堅穴住居跡・土坑・溝跡・円形周溝・焼土	地区面整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2	H10	本調査	飯岡新田2地割1-2他	5,600	1998.4.8～ 1998.6.15	縄文時代階下穴3・近世掘立柱建物跡1・溝跡7	県施設建設 (区画整理区内)	県埋文	県311集
		3	H12	本調査	飯岡新田2地割110-1他	1,582	2000.7.17～ 2000.11.29	平安時代堅穴住居跡8・堅穴状遣模4・掘立柱建物跡4・土坑23・溝跡8・円形周溝2・近世土坑墓3	地区面整理 (盛南開発)	県埋文	県393集
		4	H12	本調査	飯岡新田2地割110-1他	288	2000.8.1～ 2000.8.14	平安時代土坑2・溝跡2	地区面整理 (都市計画道路)	県埋文	県370集

※注：本宮熊堂A遺跡と本宮熊堂B遺跡については、両遺跡を直した一連の調査次数となっている。

第1表 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成5～12年度〕(1)

遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
向中野館	OMN	1	H7	試掘確認	飯岡新田2地割才川地内	991 (対象3,762)	1995.9.25～ 1995.9.29	古代整穴住居跡、土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2	H8	試掘確認	飯岡新田2地割126-2他	110 (対象880)	1996.11.14～ 1996.11.15	古代整穴住居跡・土坑・遺物包含層	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3	H10	本調査	飯岡新田2地割124-1他	2,944	1998.5.19～ 1998.8.7	平安時代整穴住居跡10、中世土坑9・溝跡3	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県338集
		4	H10	本調査	飯岡新田2地割124-1他	911	1998.5.19～ 1998.8.7	平安時代整穴住居跡5、中世土坑4・堀跡4	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県321集
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
鶴谷地	OHY	2	H8	試掘確認	向中野字鶴谷地40-11他	975 (対象13,576)	1996.11.14～ 1996.11.15	古代整穴住居跡・土坑・溝跡	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
		4	H12	本調査	飯岡新田2地割71-10他	9,147 (5次調査含む)	2000.6.14～ 2000.11.8	縄文時代陥し穴23、平安時代整穴住居跡39・礎立柱建物跡、近世礎立柱建物跡2他(5次調査含む)	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県414集
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
矢盛	IYM	2	II	本調査	飯岡新田4地割1-2	131	1999.8.26～ 1999.9.2	近世以降柱列跡1・溝跡3・柱穴3	住宅新築 (区画整理区内)	市教委	本書
遺跡名	路号	次數	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
南仙北	OMS	12	H6	本調査	南仙北2丁目68-1	387	1994.6.7～ 1994.6.17	平安時代整穴住居跡1・土坑3・溝跡1・ 古代土坑3	住宅新築	市教委	市年報
		13	H6	本調査	南仙北2丁目66-2	290	1994.10.13～ 1994.10.28	平安時代整穴住居跡4・中世溝跡1	住宅新築	市教委	市年報
		14	H6	本調査	南仙北2丁目226-8他	1,060	1994.12.5～ 1994.12.6	古代溝跡3・土坑1・柱穴1	宅地造成	市教委	市年報
		15	H7	本調査	南仙北2丁目109-4他	77	1995.8.8～ 1995.8.11	縄文時代陥し穴第1・奈良時代整穴住居跡1	住宅新築	市教委	本書
		16	H7	試掘確認	向中野字鶴子地内	1,445 (対象6,583)	1995.9.28～ 1995.10.6	古代土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		17	H7	試掘確認	南仙北2丁目234-1	94 (対象423)	1996.12.19	古代整穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	住宅新築	市教委	本書
		18	H7	試掘確認	南仙北2丁目414-2他	94 (対象423)	1996.3.7	なし	事務所増築	市教委	本書
		19	H8	本調査	南仙北2丁目101-1	対象1,200	1996.9.2～ 1996.9.11	近現代溝跡3	宅地造成	市教委	本書
		20	H8	試掘確認	南仙北2丁目101-3他	36 (対象574)	1996.5.27	なし	住宅増築	市教委	本書
		21	H8	試掘確認	南仙北2丁目4	80 (対象819)	1996.10.2～ 1996.10.4	なし	市道建設	市教委	本書
		22	H8	本調査	南仙北2丁目11-36	59	1996.11.11～ 1996.11.15	古代整穴住居跡1	住宅新築	市教委	本書
		23	H8	試掘確認	向中野字鶴子25-4他	108 (対象1,480)	1996.11.20～ 1996.11.21	古代整穴住居跡・土坑・溝跡	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		24	H8	試掘確認	南仙北2丁目11-38	7	1996.12.16	古代土坑1	住宅増築	市教委	本書
		25	H9	試掘確認	南仙北2丁目地内	160	1997.7.10～ 1997.7.24	なし	市道建設	市教委	本書
		26	H9	試掘確認	南仙北2丁目106-1-6	48 (対象558)	1998.2.16	なし	住宅新築	市教委	本書
		27	H10	本調査	南仙北2丁目78-1-2	346	1998.4.6～ 1998.4.17	古代以降掘立柱建物跡1・土坑7・溝跡4・ 方形周溝1・柱穴	住宅新築	市教委	本書
		28	H10	本調査	南仙北2丁目101-2他	732	1998.4.6～ 1998.4.13	縄文時代陥し穴1・古代以降土坑3・溝跡3	住宅新築	市教委	本書
		29	H10	試掘確認	南仙北2丁目106-1-6	46 (対象120)	1998.4.14	なし	住宅新築	市教委	本書
		30	H10	本調査	南仙北2丁目235地先	362	1998.6.18～ 1998.7.30	奈良時代整穴住居跡1・古代整穴住居跡1・ 古代以降土坑1・溝跡3	公共下水道建設	市教委	本書
		31	H10	試掘確認	南仙北2丁目104他	517	1998.7.6～ 1998.7.10	古代溝跡3	住宅新築	市教委	本書
		32	H11	本調査	向中野字鶴子地内	550	1999.9.6～ 1999.9.30	平安時代溝跡2条・古代以降土坑1・溝跡15	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		33	H11	試掘確認	南仙北2丁目229-31	46 (対象224)	1999.9.14	なし	住宅新築	市教委	本書
		34	H12	本調査	南仙北2丁目235-1他	82 (対象250)	2000.6.5	なし	住宅新築	市教委	本書
		35	H12	本調査	南仙北2丁目233-4	145	2000.6.8～ 2000.6.22	縄文時代陥し穴1・奈良時代整穴住居跡1・ 古代土坑2・柱穴	住宅新築	市教委	本書
		36	H12	本調査	南仙北2丁目109-5	15	2000.8.21	なし	住宅増築	市教委	本書

第2表 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表 [平成5～12年度] (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
R6070	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	10	中～硬	中～密	自然堆積土
	A2	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	40	中～硬	中～密	
	A3	7.5YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	-	40	硬	中～密	
	A4	7.5YR2/4褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	SICL	-	20	-	-	
	A5	7.5YR3/1暗褐色	SICLシルト質堆積土	2.5YR4/4にぶい赤褐色	-	φ2-5mm粒状	10	-	-	
	A6	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	極小粒状	40	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	-	50	中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	30	-	-	
	B3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	10	中	中	
	B4	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	-	-	50	中～硬	中～密	
	B5	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	φ1mm粒状	5	中～硬	密	
	B6	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	φ1mm粒状	15	中～硬	密	
	B7	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	30	中～硬	密	
	B8	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	5YR3/6暗赤褐色	-	φ1mm粒状	5	中～硬	中～密	
	B9	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	-	φ1mm粒状	1	中～硬	中～密	
R6071	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	赤褐色酸化鉄	-	-	30	中～硬	密	水性堆積土
	C2	7.5YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/4褐色	-	-	5	中～硬	中～密	
	C3	7.5YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	密	
R6072-073	A1	10YR3/1暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	-	1	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	密	
R6074	B2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	B3	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	C1	7.5YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/2灰黄褐色	SICLシルト質堆積土	-	25	中～硬	中～密	
遺物包含層 中央トレンチ	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR4/6褐色	SICLシルト質堆積土	-	10	中～硬	中～密	グライ化
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	C1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中	中	
	A2	7.5YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
III-a	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	-	5	中～硬	中～密	
	B2	10YR3/1暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	-	5	中～硬	中～密	
	C1	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR4/3にぶい黄褐色	-	-	15	中	密	
	D-a	7.5YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	-	粉状	5	硬	密	
	D-b	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中	中	
	D-c	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	D-d	10YR2/2暗褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	D-e	10YR2/2暗褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	D-f	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	D-g	10YR3/2暗褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
IV-a	D-h	10YR3/1暗褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	E-a	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中	中	
	E-b	10YR4/3にぶい黄褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中	中	
	F-a	10YR4/4褐色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	F-b	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
IV-b	F-c	10YR3/1暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	-	-	10	中～硬	中	

第3表 本宮熊堂B遺跡第8次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA027	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	密	
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	A5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	中	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	密	
	B2	10YR2/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	J1	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	J2	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	5	中	密	
	J3	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	密	カマド窓塗土
	J4	5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	30	中	中	
	J5	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	硬	密	
	K1	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	K2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	40	中	密	カマド横築土
	K3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	軟	中	
	L	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR5/6明褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	床構築土
RA027Pi11	A	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	—	塊状	20	中	密	貯蔵穴埋土
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA028	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	30	中	中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	20	中	密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	80	中	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	40	中	密	
	L	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	密	床構築土
RA028Pi11	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	柱痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	硬多く含む
RA028Pi12	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
	C2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	粗	
RA028Pi13	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	中	柱痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	
RA028Pi14	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
	B2	—	—	—	—	—	—	—	—	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA029	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	硬	密	
				白色火山灰	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10			
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	軟~中	中	
				SYR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	5			
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	10	軟~中	中	
	B4	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	軟	中	
	B5	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	中	
	L	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	密	床構築土
	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	密	
RA029Pi11	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	2	中	密	
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	軟	粗	
	A4	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	15	軟	粗	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	30	中	密	
	B2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	軟	中	
	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	
RA029Pi12	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	軟	中	
	B1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	軟	粗	
	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	密	
RA029Pi13	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	密	
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	中	
	C3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	30	軟	中	
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	
RA029Pi14	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	中	

第4表 本宮熊堂B 遺跡第12次調査土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA030	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	—	—	b期埋土
				白色火山灰	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	—			
	B1	10YR3/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	—	—	a期埋土
				白色火山灰	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	—			
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	—	—	a期埋土
	B3	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	中	
	J1	SYR3/3暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	SYR5/6明赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	10	中	中	a期カマド窯塗土
				炭化物	SiCLシルト質埴塗土	含む	—			
	J2	SYR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	SYR5/6明赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	10	中	密	
	J3	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	SYR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	中	密	
				炭化物	SiCLシルト質埴塗土	含む	—			
C1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	硬	密		
	C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	SYR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	中	b期煙道埋土
	C3	7.5YR4/2灰褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	硬	密	
	C4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR4/2灰褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	密	a期床構築土
	L	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	—	—	
RA030Pit13	A1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	—	—	—	—	
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	—	—	—	—	b期貯蔵穴埋土
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	
	A4	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
RA030Pit12	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	30	中	密	a期貯蔵穴埋土
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	10	中	中	
RA030Pit13	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	周溝板痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	15	硬	密	周溝埋土
RA030Pit14	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
	A2	—	—	—	—	—	—	—	—	
RA030Pit20	A1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	20	軟	中	a期貯蔵穴埋土
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	—	15			
	A2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	15	軟	軟	
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	—	15			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	塊状	20	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	密	
	J1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20	中	粗	カマド窯塗土
	J2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	SYR5/6明赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	中	
	L1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	床構築土
	L2	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	密	
	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	軟	粗	貯蔵穴埋土
	A2	SYR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴塗土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	中	
RA031Pit1	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	20			
	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	和~塊状	10	中	中	貯蔵穴埋土
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	和~塊状	10	中	中	
RA031Pit12	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	軟	粗	貯蔵穴埋土
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	和~塊状	5			
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	5			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
P1	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	5	軟	粗	柱痕跡
	B1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	中	
	B2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	中	
	B3	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	中	密	
遺物包含層	Ea	10YR2/1黑色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	3	中	密	
				白色火山灰	SiCLシルト質埴塗土	粒状	5			遺物出土
	Eb	10YR2/1黑色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	粉~粒状	—	硬	密	
				白色火山灰	SiCLシルト質埴塗土	粉~粒状	1			
	IIIa	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粉状	1	硬	密	
	IIIb	10YR2/1黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	φ3~5cm塊状	10	中	密	
	IIIc	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴塗土	φ5~8cm塊状	40	中	密	
	IIId	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粉状	1	中	密	
	IIIe	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粉状	1	中	密	
	IVa	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	φ3~4cm塊状	40	硬	密	
	IVb	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴塗土	粒状	10	硬	密	

第5表 本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態			
RA005	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	粒~小塊状	20	中~硬	粗~中
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	10	中~硬	粗~中
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~大塊状	40	中~硬	粗~中
			白色火山灰			少し含む			礫多量に含む
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	粒~小塊状	10	軟~中	中~密
	B3	10YR2/4暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	10	軟~中	中~密
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~大塊状	50	中~硬	粗
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	塊状	40	中~硬	粗
	C1	10YR2/4暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	10	軟~中	中~密
	J0	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	粒状	5	中~硬	中~密
	J1	10YR2/4暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	20	中~硬	中~密
	J2	10YR2/4暗褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	40	中~硬	中~密
	J3	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	塊状	50	軟~中	粗
	J4	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒~小塊状	40	軟~中	粗
			粘土粒			少し含む			
	J5	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	40	中~硬	密
			粘土粒			やや多く含む			カマド崩壊土
	J6	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色 燒土	SiLシルト質埴土	小粒状 多く含む	10	軟~中	粗~中
	J7	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴土	7.5YR3/3暗褐色 燒土・炭化物	SiLシルト質埴土	粒状 少し含む	20	軟~中	粗~中
	J8	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴土	7.5YR4/4褐色 燒土・炭化物	SiLシルト質埴土	小粒状 少し含む	10	軟~中	粗~中
	J9	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴土	塊状	20	中~硬	中~密
	Jb	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴土	塊状	5	中~硬	中~密
	K1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色 燒土・炭化物	SiLシルト質埴土	粒~塊状 少し含む	20	中~硬	粗
	K2	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	—	中~硬	中~密
遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態			
RA006	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	15	硬	密
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	2		
			白色火山灰・炭化物			少し含む			
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	20	硬	密
			白色火山灰・炭化物			少し含む			
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	10	硬	密
	A4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	20	硬	密
			白色火山灰・炭化物			含む			
	A5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	15	硬	密
			10YR6/4にぶい黄褐色	白色火山灰		粒状	15		
	A6	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	5	軟~中	中~密
			白色火山灰			粒状に少し含む			
	A7	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	塊状	50	軟~中	中~密
	A8	10YR2/1黒色	SiLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	15	軟~中	中~密
	A9	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒状	10	軟~中	中~密
			白色火山灰			粒状に含む			
	A10	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴土	粒~小塊状	20	軟~中	中~密
			白色火山灰			粒状に含む			
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒~塊状	15	硬	密
			10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土		粉状	2		
			炭化物			少し含む			
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒~塊状	15	硬	密
			10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土		粉状	2		
			炭化物			少し含む			
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	15	硬	密
			10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土		粉~粒状	7		
			炭化物			含む			
	B4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	5	硬	密
			10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土		粉状	2		
			炭化物			少し含む			

第6表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RA006	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	7.5YR2/3棕暗褐色	焼土	粉状	20	中～硬	中～密	カマド底	
				淡化物		多く含む					
				5YR4/6赤褐色	焼土	含む					
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	粉～粒状	10	中～硬	中～密		
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	—					
	C3	—	—					—	—		
	C4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	小塊状	20	軟～中	中～密		
				燒土・炭化物		多く含む					
	C5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	塊状	40	軟～中	中～密		
				燒土・炭化物		粉～粒状	5				
D1	D1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	—		硬	密	カマド底	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	—		—	密		
	D3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粉状	5	硬	密		
	D4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	塊状	10	硬	密		
	D5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粉～粒状	5				
	D6	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	—	5	中～硬	中～密		
	D7	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	塊状	50				
	D8	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	—	10	軟～中	中～密		
	J1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	小塊状	10				
	J2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	小塊状	15	中～硬	中～密		
J3	J3	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	5		カマド底		
				燒土		—	20				
	J4	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	10	中～硬		中～密	
				燒土・炭化物		多く含む					
	J5	7.5YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	20	中～硬		中	
				燒土・炭化物		多く含む					
	J6	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	5	中～硬		中～密	
				燒土		—	20				
	J7	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	—	中～硬		粗～中	
				燒土		少し含む					
K1	K1	—	シルト	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	粒～塊状	—	—	—	カマド横築土	
	K2	—	シルト	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	粒～塊状	—	—	—		
				SYR4/4にぶい赤褐色	—	塊状					
	K3	7.5YR2/3棕暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	30	軟～中	粗～中		
				炭化物		含む					
K4	K4	SYR2/3棕暗赤褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	10	軟～中	密	カマド横築土	
				燒土・炭化物		多く含む					
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RA006Pit1	A1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	20	軟～中	粗～中	主柱穴、柱痕跡	
				燒土・炭化物		多く含む					
	A2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	10	軟	粗		
				燒土・炭化物		多く含む					
B1	B1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴土	—	20	硬	中～密	主柱穴	
	B2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	—	10	硬	中～密		
	B3	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	—	10	硬	中～密		
RA006Pit2	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粉～粒状	15	中	中	主柱穴	
				燒土・炭化物		含む					
RA006Pit3	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粉状	5	中	中	主柱穴、柱痕跡	
				燒土・炭化物		含む					
	B1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	5	中～硬	中～密	主柱穴	
				10YR4/4褐色	燒土	塊状	10				
RA006Pit4	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粒状	10	中	中	主柱穴	
				燒土・炭化物		多く含む					
RA006Pit5	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	—	5	—	—	貯蔵穴	
				5YR4/6赤褐色	燒土	粒状	5				
	B1	5YR4/6赤褐色	燒土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴土	粉～粒状	—	硬	密		
				炭化物		含む					
C1	C1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/6褐色	—	—	—	硬	密	貯蔵穴	

第7表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA006Pit16	A1	5YR4/6赤褐色	焼土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	10	硬	密	貯藏穴
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	10			
				炭化物・土器		多く含む				
	B1	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粒状	5			
				炭化物		含む				
	B2	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粒状	2	硬	密	貯藏穴
				5YR4/6赤褐色	焼土	塊状	10			
RA006Pit7	A1	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	5	硬	密	貯藏穴
				焼土・炭化物		含む				
RA006Pit18	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	10	硬	密	
	A2	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	2			
RA006Pit9	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	20	硬	密	
	A2	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	10			
RA006Pit10	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10	中～硬	中～密	
				炭化物		含む				
RA006Pit11	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	5	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	30		中～硬	中～密
	A3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	5			
	A4	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	30			
RA006Pit12	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	2	硬	密	貯藏穴
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	5			
	A3	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	5			
RA006Pit13	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	5			
RA006Pit14	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20			
RA006Pit15	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
				燒土粒		含む				
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	30			
	B2	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	5			
RA006Pit16	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記備考
	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	炭化物		含む				
RA006Pit18	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10	硬	密	貯藏穴
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粒状	5			
RA006Pit19	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5			
RA006Pit20	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	硬	密	貯藏穴
				炭化物・土器		多く含む				
	A2	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	5			
				炭化物・土器		多く含む				
	A3	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	5			
				炭化物・土器		多く含む				
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	塊状	40			
RA006測溝	E1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	15	硬	密	
	E2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10			
	E3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10			
	E4	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	5			
	E5	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	20			
	E6	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	2			
				燒土粒・炭化物		含む				
	E7	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10			
	E8	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5			
				燒土・炭化材		含む				
	E9	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	中～硬	中～密	
	E10	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10			
	E11	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
	E12	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10			
				燒土・炭化材		含む				

第8表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RB001柱穴1	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	
	B1	10YR2/4暗褐色	SILシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	
	B2	10YR2/4暗褐色	SILシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	
RB001柱穴2	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中～硬	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中～硬	中	
RB001柱穴3	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/1黒色	SILシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中	中～密	
RB001柱穴4	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	粗～中	柱底跡
	A2	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	塊状	40	軟～中	粗	
	B1	10YR2/4暗褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	小塊状	20	中	中	
	B2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒状	10	中	中	
RB002柱穴1	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	—	—	—	—	柱底跡
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	—	—	—	—	
	B2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	—	—	—	—	
	B3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	—	—	—	—	
RB002柱穴2	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	粒状	20	硬	密	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	白色火山灰	SILシルト質埴土	粉状	—	—	—	
RB002柱穴3	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	粉～粒状	5	硬	密	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	白色火山灰	SILシルト質埴土	粉～粒状	10	硬	密	
RB002柱穴4	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	粉～粒状	15	中～硬	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	粉～粒状	5	硬	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD002	A1	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中～硬	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	塊状	30	中～硬	中～密	
RD003	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	塊状	30	中～硬	粗～中	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中～硬	粗～中	
	B1	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中～硬	粗～中	
	C1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	小塊状	30	中～硬	粗～中	
	D1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	中～密	
	D2	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	10	軟～中	中～密	
RD004	A1	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	粒状	10	軟～中	中～密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	中～密	
RD005	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	中～密	柱底跡
		白色火山灰		やや多く含む						
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	軟～中	中～密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	—	5	中～硬	中～密	
		白色火山灰		粒状						
	A4	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	—	10	中～硬	中～密	
RD006	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	—	軟～中	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	小粒～小塊状	—	軟～中	中～密	
RD007	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒～小塊状	5	軟～中	中～密	柱底跡
	A2	10YR2/1黒色	SILシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	10	軟～中	中～密	
RD008	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	粒状	30	軟～中	中～密	柱底跡
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	—	軟～中	中～密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴土	小塊状	—	軟	密	

第9表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(4)

造構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
R0009	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	5	硬	密	土器多く含む 人為堆積
	A2	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	粒状	10	硬	密	
				白色火山灰		粉状				
	A3	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	粒状	20	硬	密	
				微小砂		粒状				
	B1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
				微小砂		粒状				
	B2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	10	硬	密	
				微小砂		粒状				
	C1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	
R0010	C2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	20	硬	密	人為堆積
	C3	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	小粒状	5			
	C4	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	10	硬	密	
	C5	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	5	硬	密	
	C6	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	塊状	30	硬	密	
R0011	B1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	粉~粒状	10	—	—	人為堆積
	B2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	5	—	—	
	B3	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	10	—	—	
	B4	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	5	—	—	
R0012	B5	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	5	—	—	小礫含む
RG001	A1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	5	硬	密	
				氯化物		多く含む				
R0001	A2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	塊状	5	硬	密	※注記概要
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	5			
				氯化物		含む				
	B1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	15	硬	密	
	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粉~粒状	10	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	15	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉状	5			
	B1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	10	硬	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	30	硬	密	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	
RZ001	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	10	硬	密	※注記概要
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	2			
				白色火山灰		少し含む				
	A2	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	5	硬	密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	粉~粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粉~粒状	5			
	A4	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	—	—	硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	2			
	B2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	粒状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒状	5			
	C1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	

第10表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(5)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
R2001	B1	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	5	硬	密	
				白色火山灰		少し含む				
	B2	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~小塊状	10	硬	密	
				白色火山灰		少し含む				
	B3	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	15	硬	密	
				燒土・炭化物		少し含む				
	B4	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	粒状	10	中~硬	中~密	
	B5	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~小塊状	10	硬	密	
				白色火山灰		少し含む				
	C1	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	10			
				白色火山灰		少し含む				
	C2	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	20	硬	密	
				10YR3/3暗褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10			
	C3	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	
	C4	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	40	硬	密	
	C5	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	粒状	10	硬	密	
	C6	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	20	硬	密	
	C7	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	粉~粒状	10	硬	密	
	C8	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	10	硬	密	
	C9	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	30			
	C10	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴塗土	塊状	10	硬	密	
				10YR5/4にぶい黄褐色	粘土	粒状	2			
	C11	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	20	硬	密	
	C12	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
	C13	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	40	硬	密	
	C14	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	20	硬	密	
	C15	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	30	硬	密	
	C16	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	15	硬	密	
	C17	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	10	硬	密	
	C18	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	10			
	C19	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	15	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	20			
	C20	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	10			
	C21	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	15			
	C22	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
	C23	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10			
	C24	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	30	硬	密	
	C25	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	40	硬	密	
	C26	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	
	C27	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	5	硬	密	
	C28	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	粉~粒状	15	硬	密	
	C29	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	20	硬	密	
	C30	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	40	硬	密	
	C31	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	30	硬	密	
	C32	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	10	硬	密	
	D1	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2			
	D2	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	小粒状	2	硬	密	
	D3	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	粒~塊状	5	硬	密	
	D4	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
	D5	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	粒状	2	硬	密	
	D6	10YR2/2黒褐色	SiLOシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
	D7	10YR4/6褐色	SiLOシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLOシルト質埴土	塊状	5	硬	密	

第 11 表 野古 A 遺跡第 6 次調査土層観察表(6)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
R2001	E1	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	硬	密	人為堆積	
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉~粒状	5				
				酸化鉄化木板		含む					
	E2	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	硬	密		
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉~粒状	10				
				酸化鉄化木板		含む					
	E3	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	硬	密		
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉~粒状	30				
				酸化鉄化木板		含む					
	E4	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	硬	密		
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉~粒状	5				
				酸化鉄化木板		含む					
L1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	床構築土	床構築土	
			10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	5					
	L2	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	塊状	20	硬	密		
	L3	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	10				
	F1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	中~硬	中~密		
R2001Pit	F2	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	5				
				10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5				
	F3	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	—	SILシルト質壤土	粉~粒状	20				
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
P1	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	中~密		
				白色火山灰		粉状					
P2	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密		
				白色火山灰		粉状					
P3	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	—	—	—	—		
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	—	—				
	B2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	—	—				
	B3	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	—	—				
P4	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密		
				白色火山灰		粉状					
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	粉状	2				
P5	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密		
				10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	2				
				炭化物		含む					
	A2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	粒~塊状	10				
P6	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	硬	密	硬多く含む	
P7	A1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	塊状	25	硬	密	柱痕跡	
	B1	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粉状	5				
				白色火山灰		粒状					
	B2	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒状	10				
	B3	10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質壤土	粉状	5	中~硬	中~密		

第12表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(7)

透構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RC001柱穴1	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	20	中～硬	中～密	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	20	中～硬	中～密	
	B2	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	-	20	中～硬	中～密	
RC001柱穴2	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	40	中～硬	中～密	
RC001柱穴3	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	10	-	粗	柱痕跡
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	10	中～硬	中～密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴壌土	-	30	中～硬	中～密	
透構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG002	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色 炭化物	SILシルト質壌土	粒状 少し含む	1	中	中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色 炭化物	SILシルト質壌土	粒状 少し含む	5	中	中	
	A3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壌土	粒～塊状	10	中	中	
	A4	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壌土	粒～塊状	20	中	中	
	A5	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/2黒褐色 10YR6/8明黄褐色	SILシルト質埴壌土 SILシルト質壌土	粒～塊状 粒～塊状	20 10	軟	粗	
	B1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	10	軟	中	
	B2	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	15	軟	中	
	B3	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	20	軟	中	
	B4	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	30	軟	中	
	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壌土	塊状	20	硬	密	
RG003	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR2/3黒褐色	SILシルト質埴壌土	塊状	30	硬	密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒状	1	硬	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒状	5	硬	密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒状	5	中	中	
	B4	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	10	中	中	
	B5	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	5	中	中	
	B6	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	20	中	中	
	B7	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	30	軟～中	粒～中	
	B8	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒状	1	軟～中	粒～中	
	B9	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壌土	10YR6/8明黄褐色	SILシルト質壌土	粒～塊状	20	中	中	

第13表 矢盛遺跡第2次調査土層観察表

造構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態			
RD114	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	10	硬	密
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	5	硬	密
RD115	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	5	硬	密
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
RD116	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	20	硬	密
	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒~塊状	5	硬	密
RD117	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	20	硬	密
RD118	—	—	—	—	—	上面に含む	—	—	※注記罹災
	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒状	1	中	中
RD119	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴壩土	塊状	20	中	中
	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒状	2	硬	密
RD120	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒状	2	硬	密
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	少し含む	—	—	—
RD121	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	少し含む	—	—	—
RD122	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	2	硬	密
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	5	硬	密
RD123	C1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴壩土	塊状	30	硬	密
造構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他
	層名	土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態			
RG115	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	2	硬	密
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	—	—
RG116	A2	—	—	—	—	—	—	—	—
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	2	硬	密
RG117	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	2	硬	密
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	5	硬	密
RG118	A1	—	—	—	—	—	—	—	—
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴壩土	粒状	5	硬	密
RG119	A1	—	—	—	—	—	—	—	—
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
造構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他
	層名	土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態			
P11	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	—	—	—	—	—	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	—	—	—	—	—	—
P12	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	—	—	—	—	—	—
	B3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	—	—	—	—	—	—
P13	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒~塊状	15	硬	密
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
P14	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P15	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P16	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P17	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	20	硬	密
P19	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒状	5	硬	密
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	20	硬	密
P20	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	30	硬	密
	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	15	硬	密
P21	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P22	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	塊状	20	中	密
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	粒~塊状	10	硬	密
P23	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	塊状	10	硬	密
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	5	—	—
P25	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉~粒状	5	硬	密
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	塊状	40	硬	密
P26	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P27	A1	—	—	—	—	—	—	—	—
P29	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	5	硬	密
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	20	硬	密
P30	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粒状	5	硬	密
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	塊状	20	硬	密
P31	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密
P32	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壩土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壩土	粉状	10	硬	密

第14表 南仙北遺跡第27次調査土層観察表

造構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RD121	A1	10YR4/6褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR6/6明黄褐色	CL埴塗土	塊状	30	軟~中	粗~中	φ1cm小石含む	
	A2	10YR4/4褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	10	中~硬	中		
	B1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR6/6明黄褐色	CL埴塗土	粉状	40	中~硬	中		
	B2	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR6/4にぶい黄褐色	CL埴塗土	粒状	30	中	中		
	C1	10YR4/4褐色	CL砂壤土					軟	粗	φ0.5cm小石少量含む	
RD122	A1	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	10	中	粗~中		
	B1	10YR6/4にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	20	中	中		
RD123	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記釋炎	
	A2	-	-	-	-	-	-	-	-		
	B1	-	-	-	-	-	-	-	-		
	B2	-	-	-	-	-	-	-	-		
RD124	A1	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	5~10	軟~中	粗~中	φ0.5cm小石含む	
	A2	10YR4/4褐色	SC砂質土	10YR4/6褐色	CL埴塗土	粒~塊状	10	中	中		
	B1	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SC砂質土	粒状	10	中	中		
	B2	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	5~10	軟~中	粗~中		
	C1	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒~塊状	10~20	中	中		
	D1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR6/6明黄褐色	CL埴塗土	粒~塊状	30~40	中	粗~中		
	D2	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	20~30	中	中		
	D3	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒状	30~40	軟~中	粗~中		
造構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RG120	A1	10YR2/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質塗土	粒状	5	硬	中~密		
	A2	10YR2/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質塗土	粒状	2	硬	密		
	B1	10YR2/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質塗土	粒状	10	硬	密		
	B2	10YR2/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiLシルト質塗土	粒~塊状	30	硬	密		
	C1	10YR2/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質塗土	粒状	30	硬	密		
RG121	A1	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/4褐色	CL埴塗土	粒~塊状	10~20	軟~中	粗~中	砂・小石やや多く含む	
	A2	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒~塊状	5~10	軟~中	粗~中	小石やや多く含む	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土						中	粗	砂礫・粘土含む
	B2	10YR3/2黒褐色	SiGLシルト質埴塗土						中~硬	粗~中	
RG122	A1	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒~塊状	10	軟~中	粗~中		
	B1	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒~塊状	30	中	中		
	C1	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/4暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	塊状	10~20	軟~中	粗~中		
	C2	10YR2/3黒褐色	SiGLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SiGLシルト質埴塗土	粒~塊状	20~30	軟~中	粗~中		
	D1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiGLシルト質埴塗土					中	中	やや粘性あり	

第 15 表 南仙北遺跡第 28 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA3001	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土					中	—	
	A2	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴塗土					中	—	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土					中	—	
	M	—	—					—	—	
	A5	—	—					—	—	
	J1	—	—					—	—	
	L	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色		粉状	5	中	中	床構築土
RA3002	A1	—	—					—	—	
	A2	—	—					—	—	
	B1	—	—					—	—	
RG3003	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色		小粒状	5	中	中	
				10YR2/1黒色		小粒状	5			
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色		小粒状	5	中	中	
				10YR2/1黒色		小粒状	10			

第 16 表 南仙北遺跡第 30 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG3101	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	17	中	粗～中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	70	中	粗～中	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	10	中	粗～中	
	M	10YR2/3黒褐色	SL砂塗土							φ0.5～5cm塊
RG3102	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		小粒状	7	中	粗～中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	50	中	粗～中	
	B3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	3	中	粗～中	
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	80	中	粗～中	
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色		粒状	5	中	粗～中	グライ化
RG3102Pit	C1	10YR2/1黒色	SL砂塗土	10YR2/2黒褐色		粉状	30	歛	粗～中	
RG3103	D1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	30	中	粗～中	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D3	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色		粉～粒状	10～20	中	粗～中	
	D5	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D6	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5	中	粗～中	
	D7	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10～30	中	粗～中	
	D8	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10	中	粗～中	
RG3103Pit	E1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10～30	中	中～密	
	E2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	30	中	中～密	
	E3	10YR4/8褐色	SiCLシルト質埴土	10YR4/3にぶい黄褐色		粉～粒状	20	中	中～密	
RG3103Pit	F1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴塗土	10YR4/3にぶい黄褐色		粉～粒状	5	中	中	

第 17 表 南仙北遺跡第 31 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD128	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG130	A1	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	7.5YR2/1黒色	SL砂壤土	—	20	中～硬	中～密	—
	A2	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	—	—	—	中～硬	密	—
	A3	7.5YR3/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	30	中～硬	中～密	—
	M	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	10YR1.7/1黒色	SL砂壤土	—	20	中～硬	中～密	—
				10YR7/2I+ぶい黄褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	10	—	—	—
				白色火山灰	—	含む	—	—	—	—
	B1	10YR2/1黒色	SL砂壤土	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	10	中～硬	中～密	—
	B2	10YR3/1黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	—	—	—	中～硬	中～密	グライ化
	B3	10YR2/2黒褐色	SL砂壤土	—	—	—	—	中	中	—
RG131	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	—	40	—	—	—
	A2	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/3暗褐色	SL砂壤土	—	20	—	—	—
	A3	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	—	—	—	—	—	グライ化
	B1	10YR3/1黒褐色	SL砂壤土	—	—	—	—	—	—	グライ化
RG132	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG133	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG134	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG135	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG136	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG137	A1	10YR3/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR1.7/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	—	15	中～硬	中～密	—
RG138	A1	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	10YR3/2黒褐色	SL砂壤土	小塊状	20	中～硬	中～密	—
	A2	10YR1.7/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	小粒状	5	硬	密	—
	A3	7.5YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SL砂壤土	—	10	硬	密	—
	A4	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色	SL砂壤土	—	30	硬	密	グライ化
RG139	A1	10YR3/3暗褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粒状	10	中	中	—
	A2	10YR3/3暗褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粒～塊状	30	中～硬	中～密	—
	B1	10YR4/6褐色	HG重壤土	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	塊状	15	硬	中～密	—
	B2	10YR3/4暗褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	—	10	中	中	—
RG140	A1	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	10YR6/8明黃褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉～塊状	30	中～硬	中～密	—
RG141	A1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR6/8明黃褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉状	30	硬	中～密	—
RG142	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉状	5	中	中	—
	A2	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉～塊状	15	中～硬	中～密	—
	B1	10YR3/4暗褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR7/8黃褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	30	硬	中～密	—
RG143	A1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉状	2	中～硬	中～密	—
	B1	10YR2/1黒色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉状	30	中～硬	中～密	—
RG144	A1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR7/8黃褐色	SiOLシルト質埴塗土	塊状	30	中～硬	中～密	—
RG145	A1	10YR2/2黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	20	中～硬	中～密	—
	B1	10YR2/3黒褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	—	25	中～硬	密	—
RG146	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第 18 表 南仙北遺跡第 32 次調査観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA017	K1	10YR4/4褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	粉状	5~10	硬	密	カマド構築土
	K2	10YR4/6褐色	SiOLシルト質埴塗土	10YR2/2黒褐色	—	—	—	—	—	—
	J1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記櫛莢
	J2	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記櫛莢
	L	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記櫛莢

第 19 表 南仙北遺跡第 35 次調査観察表

種別	番号	平素 区分	通説名	筋号	次級	遺傳名	合遺N.	形態		筋土		寸法(100)測定部-腹元のみ					筋肉調査		基準等-特徴						
								区分	筋程	只数位置	部位	筋基	口幅	横径	体格	直徑	口幅/直徑	口幅/筋基	外側	内側					
SI	001	2	本宮腰筋	001	012	88027	19	上筋膜	筋	90.5	表面	4.4	12.8	—	3.0	2.6	3.1	△筋糸切縫頭部	筋部近くヘラケズリ	ヘラミガナ 黒色斑塊					
SI	002	—	本宮腰筋	001	012	88027	19	あかやき土槽	筋	90.6	筋膜	3.9	12.0	—	3.9	2.9	3.3	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に黒斑合む				
SI	003	2	本宮腰筋	001	012	88027	19	あかやき土槽	筋	90.6	表面	5.1	14.7	—	3.8	2.9	3.8	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	口幅室込み				
SI	004	—	本宮腰筋	001	012	88027	19	あかやき土槽	筋	カマド支脚	—	4.1	13.0	—	3.4	2.4	3.2	△筋糸切縫頭部	—	外側スス状斑に黒、内側 スス柄・コゲ状斑合む					
SI	005	7	本宮腰筋	001	012	88027	44	あかやき土槽	筋	カマド支脚B.2	—	4.1	14.9	—	3.9	2.3	3.4	△筋糸切縫頭部	—	—					
SI	006	—	本宮腰筋	001	012	88027	55	あかやき土槽	筋	90.6	筋膜	9.0	12.6	—	3.6	2.4	3.8	△筋糸切縫頭部	—	—	外側スス状斑化				
SI	007	—	本宮腰筋	001	012	88027	112	あかやき土槽	筋	筋膜	4.5	12.8	—	3.2	2.7	3.1	△筋糸切縫頭部	筋部周囲ヘラケズリ	—	外側-内面口筋膜スス状 変化					
SI	008	—	本宮腰筋	001	012	88027	16	あかやき土槽	筋	90.7	表面	4.6	14.0	—	3.6	2.6	3.9	△筋糸切縫頭部	—	—					
SI	009	—	本宮腰筋	001	012	88027	55	あかやき土槽	筋	90.4	—	6.1	11.4	—	3.6	2.6	3.9	△筋糸切縫頭部	—	—	外側スス状斑化				
SI	010	—	本宮腰筋	001	012	88027	19	あかやき土槽	筋	90.8	表面	5.8	15.6	—	3.0	2.6	3.8	△筋糸切縫頭部	—	—					
SI	011	14	本宮腰筋	001	012	88027	201	あかやき土槽	筋	筋膜	9.0	筋膜	—	—	—	—	—	—	外側体側に墨書き「田」						
S2	012	—	本宮腰筋	001	012	88027	17	上筋膜	高台付近	90.8	表面	4.8	13.8	—	3.0	2.6	3.8	△筋糸切縫合部接着	—	ヘラミガナ 黒色斑塊 (やや濃淡)	筋部菊花紋				
S2	013	2	本宮腰筋	001	012	88027	42	あかやき土槽	高台付近	カマド支脚C.1	—	6.2	16.0	—	3.2	2.6	3.8	△筋糸切縫合部接着	—	筋部着の葉					
S2	014	—	本宮腰筋	001	012	88027	76	あかやき土槽	高台付近	90.8	表面	5.9	14.8	—	3.0	2.6	3.8	△筋糸切縫合部接着	—	筋部着の葉					
S2	015	—	本宮腰筋	001	012	88027	75	あかやき土槽	高台付近	筋膜	—	—	—	—	—	—	△筋糸切縫合部接着	—	ヘラミガナ 黒色斑塊 (やや濃淡)	筋部菊花紋 筋土に墨書き合む					
S2	016	—	本宮腰筋	001	012	88027	28	あかやき土槽	筋	筋膜	—	—	22.3	—	—	—	—	—	—	—	—				
S3	017	3	本宮腰筋	001	012	88027	91	あかやき土槽	筋	カマド支脚C.1	—	22.3	21.2	—	—	—	—	△筋糸束	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋部上部ヘラケズリ	筋部外側				
S3	018	3	本宮腰筋	001	012	88027	71	あかやき土槽	筋	ベルトB	筋	27.4	11.8	18.0	10.0	—	—	△筋糸束	ヘラケズリ	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋部上部ヘラケズリ				
S3	019	—	本宮腰筋	001	012	88027	95	あかやき土槽	筋	カマド支脚	筋	—	25.2	22.7	—	—	—	△筋糸束	ヘラケズリ	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋部上部ヘラケズリ				
S3	020	—	本宮腰筋	001	012	88027	70	あかやき土槽	筋	筋膜	—	—	22.0	21.2	—	—	—	△筋糸束	カキヌ	外側口輪筋スス状斑化 筋土に墨書き合む					
S3	021	3	本宮腰筋	001	012	88027	66	あかやき土槽	筋	カマド支脚	—	—	16.8	14.0	—	—	—	—	—	—	—				
								形態		筋土							寸法(100)測定部-腹元のみ		筋群別筋等		筋肉調査	基準等	基準等-特徴		
神3	番号	平素 区分	通説名	筋号	次級	遺傳名	合遺N.	区分	筋程	只数位置	部位	筋基	口幅	横径	体格	直徑	口幅/直徑	口幅/筋基	外側	内側					
SI	022	—	本宮腰筋	001	012	88028	10	上筋膜	筋	90.6	—	4.2	12.4	—	3.6	2.1	3.2	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に墨書きむ				
SI	023	—	本宮腰筋	001	012	88028	11	上筋膜	筋	90.6	—	5.1	14.4	—	3.6	2.6	3.8	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊 (濃とし)	筋土に墨書きむ				
SI	024	4	本宮腰筋	001	012	88028	40	上筋膜	筋	90.6	筋膜	5.2	14.5	—	3.0	2.4	3.8	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に墨書きむ				
SI	025	—	本宮腰筋	001	012	88028	5	あかやき土槽	筋	筋膜	—	4.3	12.4	—	3.8	2.6	3.1	△筋糸切縫頭部(厚 筋)	—	—	全体に墨書き				
SI	026	—	本宮腰筋	001	012	88028	12	あかやき土槽	筋	90.6	筋膜	5.2	14.0	—	3.2	2.1	3.8	△筋糸切縫頭部	—	—	全体に墨書き				
SI	027	14	本宮腰筋	001	012	88028	33	あかやき土槽	筋	ベルトC.2側	筋	—	—	—	—	—	—	△筋糸束	—	—	筋部外側に墨書き「平 羽」				
SI	028	—	本宮腰筋	001	012	88028	13	筋膜	大豊	—	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	ヘラミガナ	—					
								形態		筋土							寸法(100)測定部-腹元のみ		筋群別筋等		筋肉調査	基準等	基準等-特徴		
神30	番号	平素 区分	通説名	筋号	次級	遺傳名	合遺N.	区分	筋程	只数位置	部位	筋基	口幅	横径	体格	直徑	口幅/直徑	口幅/筋基	外側	内側					
SI	029	4	本宮腰筋	001	012	88029	25	あかやき土槽	筋	筋膜出し	—	4.5	12.8	—	3.6	2.6	3.1	△筋糸切縫頭部	—	—	筋土に墨書きむ				
SI	030	—	本宮腰筋	001	012	88029	11	筋膜	大豊	筋膜	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	タタキ(墨筋)	—	筋部外側に墨書き				
								形態		筋土							寸法(100)測定部-腹元のみ		筋群別筋等		筋肉調査	基準等	基準等-特徴		
神40	番号	平素 区分	通説名	筋号	次級	遺傳名	合遺N.	区分	筋程	只数位置	部位	筋基	横高	口幅	横径	体格	直徑	口幅/直徑	口幅/筋基	外側	内側				
SI	031	4	本宮腰筋	001	012	88030	81	上筋膜	筋	筋膜	—	4.7	14.8	—	3.2	1.8	3.1	△筋糸切縫ヘラケズリ	筋部近くヘラケズリ	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に墨書きむ				
SI	032	—	本宮腰筋	001	012	88030	85	上筋膜	筋	2番②ベルト	筋膜	4.2	14.8	—	3.0	2.6	3.5	△筋糸切縫ヘラケズリ	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に墨書きむ				
SI	033	—	本宮腰筋	001	012	88030	103	上筋膜	筋	筋膜A.12	筋土	4.4	14.3	—	3.0	2.2	3.2	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋土に墨書きむ				
SI	034	4	本宮腰筋	001	012	88030	9	上筋膜	大豊	筋膜A.1	筋膜	5.9	26.0	—	3.4	3.1	2.9	△筋糸切縫頭部	—	ヘラミガナ 黒色斑塊	筋部下部ヘラケズリ 青筋				
SI	035	5	本宮腰筋	001	012	88030	17	あかやき土槽	筋	筋膜A.10.7	—	4.2	12.9	—	3.6	2.7	3.5	△筋糸切縫頭部	—	—	筋部下部ヘラケズリ				
SI	036	—	本宮腰筋	001	012	88030	1	あかやき土槽	筋	筋膜A.9.13	筋土	5.1	17.8	—	3.8	2.6	3.5	△筋糸切縫頭部	—	—	筋部下部ヘラケズリ 青筋				
SI	037	—	本宮腰筋	001	012	88030	9	あかやき土槽	筋	筋膜	90.11	筋膜	4.8	12.3	—	3.4	2.6	3.8	△筋糸切縫頭部	—	—	筋部下部ヘラケズリ			
SI	038	—	本宮腰筋	001	012	88030	2	あかやき土槽	筋	筋膜A.9.13.6	埋土	4.3	14.4	—	3.2	2.6	3.9	△筋糸切縫頭部	—	—	筋部下部ヘラケズリ				
SI	039	—	本宮腰筋	001	012	88030	31	あかやき土槽	筋	筋膜	4.8	14.8	—	3.6	2.6	3.2	△筋糸切縫頭部(寒 筋)	—	—	全筋に墨書き					
SI	040	—	本宮腰筋	001	012	88030	35	あかやき土槽	筋	筋膜	5.4	14.7	—	3.0	2.6	3.8	△筋糸切縫頭部(寒 筋)	—	—	筋部コガ灰状斑化 全筋に墨書き					
SI	041	5	本宮腰筋	001	012	88030	7	あかやき土槽	筋	筋膜	90.12	—	5.2	16.3	—	3.0	2.6	3.2	△筋糸切縫頭部	—	—	全筋に墨書き			
SI	042	—	本宮腰筋	001	012	88030	77	あかやき土槽	筋	筋膜	5.6	12.8	—	3.8	2.6	3.5	△筋糸切縫頭部	—	—	筋部外側墨書きへり 青筋					
SI	043	—	本宮腰筋	001	012	88030	33	あかやき土槽	筋	筋膜	5.1	14.5	—	3.6	2.6	3.9	△筋糸切縫頭部(寒 筋)	—	—	全筋に墨書き					
SI	044	—	本宮腰筋	001	012	88030	91	あかやき土槽	筋	筋膜	5.1	14.9	—	3.2	2.3	3.9	△筋糸切縫頭部(寒 筋)	—	—	全筋に墨書き					
SI	045	5	本宮腰筋	001	012	88030	4	あかやき土槽	高台付近	筋膜A.9.13.6.7	埋土	6.9	15.5	—	3.0	—	—	△筋糸切縫頭部	—	—	全筋に墨書き、口輪筋含み				
SI	046	—	本宮腰筋	001	012	88030	27	土筋膜	筋	筋膜	—	27.9	28.8	—	—	—	—	△筋糸切縫頭部	—	—	口輪筋ナダ、口筋ヘラ ケズリ	口輪筋ナダ、口筋ヘラ ケズリ	全筋にやや墨書き		
SI	047	—	本宮腰筋	001	012	88030	159	土筋膜	筋	筋膜	52	—	15.7	16.1	—	—	—	—	—	—	—	—			
SI	048	5	本宮腰筋	001	012	88030	175	筑筋膜	筋	筋膜	51	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	口輪筋含み			
SI	049	—	本宮腰筋	001	012	88030	157	筑筋膜	筋	筋膜	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	口輪筋含み			
SI	050	—	本宮腰筋	001	012	88030	157	筑筋膜	筋	筋膜	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	口輪筋含み			

第 20 表 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土土器観察表

序号	番号	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	形態		出土		寸法(cm)実測値・復元のみ						差別判断等	表面状態	査定等・特徴
									平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高				
序四	62	-	野古A	EAK	011	38039	20	土器類	外	深窓	0	1.3	11.6	-	5.6	2.9	3.1	-	内面	内面	
62	63	-	野古A	EAK	011	38038	20	あかやき土器	外	P114	埋土	4.9	16.4	-	5.5	2.6	2.1	内面系切無調査	-	-	外土に黒色含む
62	64	-	野古A	EAK	011	38038	20	あかやき土器	外	-	埋土上部	4.4	17.8	-	5.0	2.1	2.1	内面系切無調査	-	-	外土・内面スズ状斑化物、土上に墨色含む
62	65	14	野古A	EAK	011	38038	20	あかやき土器	外	38区	C1	4.6	16.0	-	4.6	2.0	2.3	底面一部欠損	-	-	墨量「不」
62	66	-	野古A	EAK	011	38038	16	土器類	小型	カマド灰地	6	-	12.2	11.0	-	-	-	-	NHAK-011-01	NHAK	土上黒色含む、輪縁少肉質
62	67	-	野古A	EAK	011	38038	8	土器類	便	カマド	火燒面	-	12.2	21.3	-	-	-	-	NHAK-011-01	NHAK	土上に墨色含む
形態									寸法(cm)実測値・復元のみ												査定等・特徴
序四	番号	写真	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高	外西	内面	査定等・特徴
63	68	3	野古A	EAK	011	38039	46	土器類	外	深窓	8	4.8	14.4	-	4.0	2.4	3.0	内面系切無調査	NHAK-011-01	内面	外土に墨色含む
63	69	3	野古A	EAK	011	38039	4	土器類	外	カマド北地	8	1.3	14.0	-	5.2	2.7	2.8	内面系切無調査	-	-	内面系切無調査(墨)
63	70	3	野古A	EAK	011	38039	35	あかやき土器	高台付外	深窓	8	7.5~ 9.0	14.8	-	3.0	-	-	-	-	-	内面系切無調査(墨)
63	71	-	野古A	EAK	011	38039	11	あかやき土器	高台付外	カマド灰口	-	-	-	-	7.4	-	-	-	-	-	輪縁裏花紋、土上に墨色含む
形態									寸法(cm)実測値・復元のみ												査定等・特徴
序四	番号	写真	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高	外西	内面	査定等・特徴
64	72	16	野古A	EAK	011	38010	20	土器類	外	ペルト	63	5.1	14.2	-	6.2	2.3	2.7	内面系切無調査	NHAK-011-01	内面	内面系切無調査(墨)
64	73	-	野古A	EAK	011	38010	2	土器類	外	カマド北地	42	4.8	14.2	-	4.0	3.0	3.1	一期欠損、内面系切無調査	-	-	外土スズ状斑化物、土上に墨色含む
64	74	-	野古A	EAK	011	38010	19	土器類	外	深窓	52	4.5	13.4	-	5.0	2.7	3.0	二期欠損、内面系切無調査	-	-	内面系切無調査(墨)
64	75	-	野古A	EAK	011	38010	33	土器類	外	深窓	8	4.5	12.8	-	5.4	2.0	3.0	内面系切無調査	-	-	内面系切無調査(墨)
64	76	-	野古A	EAK	011	38010	1	土器類	便	深窓	8	-	12.0	21.4	-	-	-	-	NHAK-011-01	NHAK	内面コガ灰斑化物
形態									寸法(cm)実測値・復元のみ												査定等・特徴
序四	番号	写真	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高	外西	内面	査定等・特徴
65	77	-	野古A	EAK	011	38011	7	土器類	外	カマド北地	8	-	-	-	5.4	-	-	内面系切無調査	-	-	外土に墨色含む(墨)
65	78	-	野古A	EAK	011	38011	9	あかやき土器	外	カマド付唇	8	4.8	12.8	-	5.4	2.6	2.8	内面系切無調査	-	-	内面ニゲ灰斑化物
65	79	-	野古A	EAK	011	38011	9	あかやき土器	外	カマド付唇	8	-	-	-	4.8	-	-	内面系切無調査	-	-	内面ニゲ灰斑化物
65	80	-	野古A	EAK	011	38011	10	あかやき土器	便	38区	裏面	-	14.0	15.1	-	-	-	-	NHAK-011-01		
形態									寸法(cm)実測値・復元のみ												査定等・特徴
序四	番号	写真	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高	外西	内面	査定等・特徴
66	81	-	野古A	EAK	011	38012	9	土器類	外	深窓	底面	-	17.0	-	-	-	-	丸窓(欠損)	NHAK	NHAK-011-01	内面
66	82	-	野古A	EAK	011	38012	2	土器類	便	カマド北地	8	-	18.0	14.0	-	-	-	-	NHAK-011-01	NHAK	底面丸窓(欠損)
66	83	-	野古A	EAK	011	38012	21	土器類	便	38区	8	-	14.2	-	-	-	-	-	NHAK-011-01	NHAK	底面丸窓(欠損)
66	84	-	野古A	EAK	011	38012	1	土器類	便	10.2	底面	-	-	-	9.6	-	-	ヘラケソリ内面調査	NHAK-011-01	NHAK	
66	85	10	野古A	EAK	011	38012	2	土器類	便	カマド灰口附近	85	13.5	15.2	13.4	9.2	1.2	1.8	水滴痕	NHAK-011-01	NHAK	外土に墨色含む
形態									寸法(cm)実測値・復元のみ												査定等・特徴
序四	番号	写真	遺跡名	船号	次数	遺物名	合標示	区分	基準	平面位置	層位	幅	口径	外径	底径	底厚	口径/底径	口径/底高	外西	内面	査定等・特徴
67	86	-	野古A	EAK	011	38013	11	土器類	外	カマド灰口附近	8	-	16.0	-	-	-	-	丸窓(欠損)	NHAK	NHAK-011-01	内面
67	87	-	野古A	EAK	011	38013	9	土器類	高台付外	底面	8	-	-	-	-	-	-	NHAK	-	一般	柱状窓

第 21 表 野古 A 遺跡第 11 次調査出土土器観察表

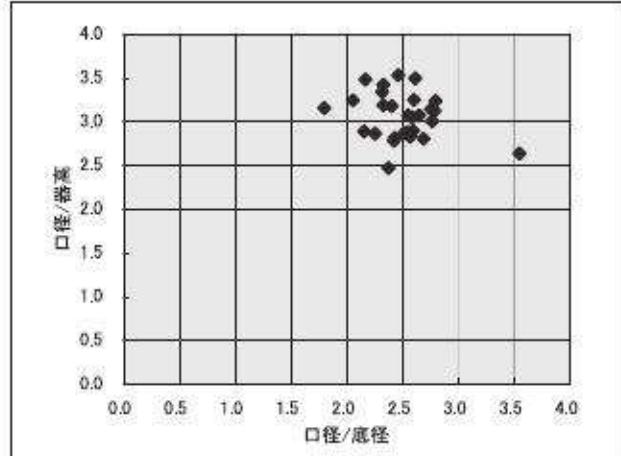
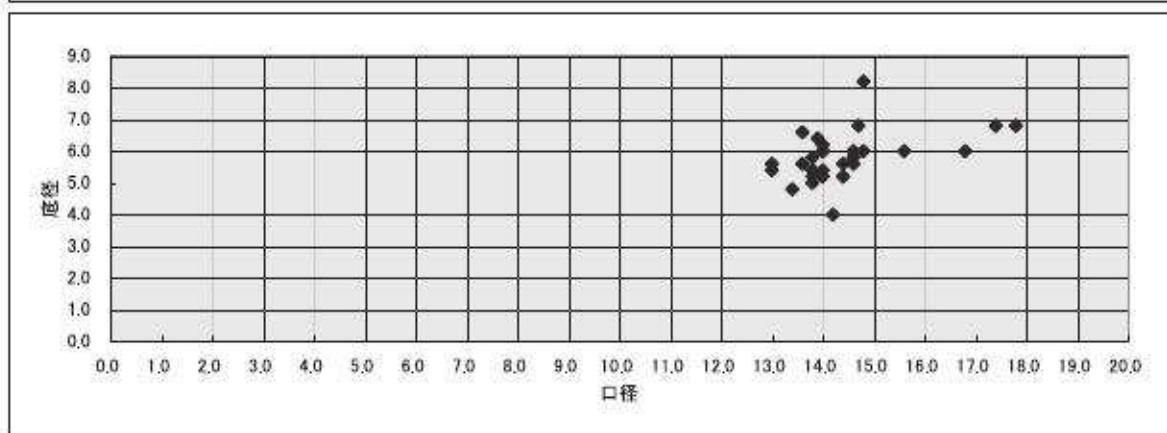
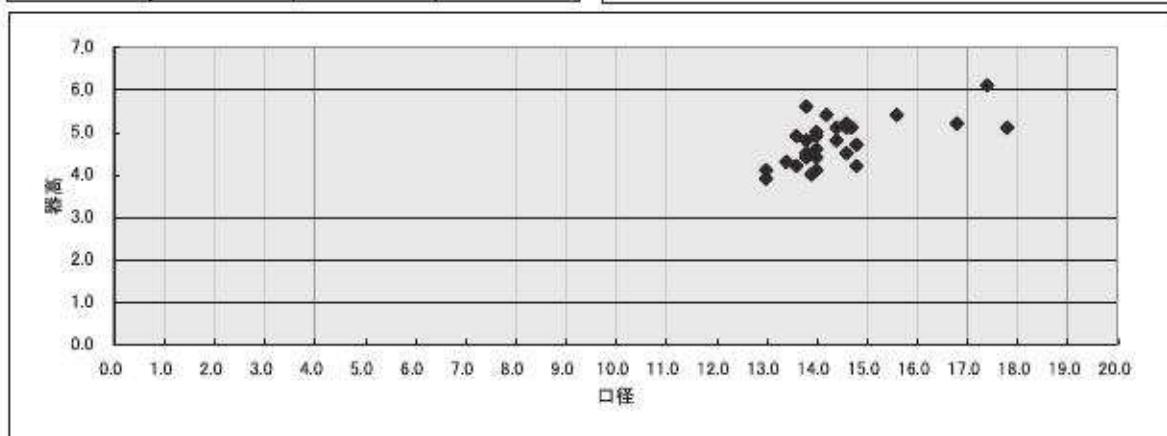
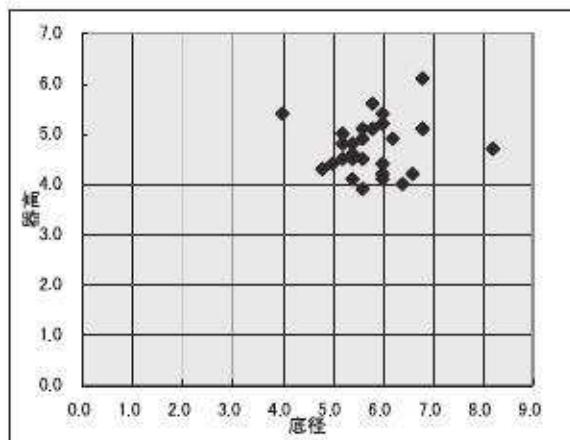
探査	番号	年月 測定	遺跡名	施号	次数	遺構名	台標號	区分	器種	浮遊		出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴	
										平面位置	座標	高さ	口径	体積	底径	口径/底径	口径/高さ	底径/高さ	外因	内因	器物調査			
38	359	7	野古A	DK5	204	38005	13	あかやき土器	小型甕	80.11	深部	15.5	14.9	14.4	8.0	-	-	-	底部切削痕	下部V字形		外東ス状痕化物		
59	351	7	野古A	DK5	206	38005	14	土器底	小型甕	80.16	表面	-	16.3	15.0	-	-	-	-	-	底部V字形	下部V字形		内面コガ灰灰化物、地土に黒色含む	
33	352	7	野古A	DK5	208	38005	15	土器底	小型甕	80.17	横ベルト	82	11.8	10.5	13.4	8.0	-	-	-	V字形	口縁部ナグ、体部V字形		地土に黒色含む	
59	353	-	野古A	DK5	208	38005	16	土器底	甕	80.18	表面	-	25.8	19.8	-	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		外東ス状痕化物	
52	354	-	野古A	DK5	208	38005	17	土器底	甕	80.19	表面	-	21.4	18.8	-	-	-	-	-	口縁部ナグ、体部V字形	底部V字形		外東・内面コガ灰灰化物、地土に黒色含む	
69	355	7	野古A	DK5	208	38005	18	土器底	甕	80.2	表面	32.9	24.5	21.1	7.6	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		地土に黒色含む	
60	356	7	野古A	DK5	208	38005	19	土器底	甕	80.12	表面	37.9	18.7	18.6	8.2	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		外東・内面コガ灰灰化物、地土に黒色含む	
69	357	-	野古A	DK5	208	38005	20	土器底	甕	80.7	表面	31.4	28.8	18.0	8.8	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		外東・内面コガ灰灰化物、地土に黒色含む	
83	358	8	野古A	DK5	208	38005	21	土器底	甕	80.8	表面	21.8	19.5	18.2	7.0	-	-	-	外東側	V字形		内面コガ灰灰化物		
81	359	8	野古A	DK5	208	38005	22	土器底	甕	80.9	表面	26.8	23.3	18.5	7.2	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		地土に黒色含む	
81	360	-	野古A	DK5	208	38005	23	土器底	甕	80.9	表面	35.9	22.4	18.1	8.0	-	-	-	-	底部V字形	底部V字形		地土に黒色含む	
81	361	8	野古A	DK5	208	38005	24	土器底	甕	80.9	表面	38.5	22.9	18.7	7.0	-	-	-	外東側	V字形		外東・内面コガ灰灰化物		

第22表 野古A遺跡第6次調査出土土器観察表

探査	番号	年月 測定	遺跡名	施号	次数	遺構名	台標號	区分	器種	浮遊		出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴	
										平面位置	座標	高さ	口径	体積	底径	口径/底径	口径/高さ	底径/高さ	外因	内因	器物調査			
38	358	11	南仙北	DK5	215	38012	1	土器底	小型甕	80.1	-	11.5	12.8	10.6	5.0	/	/	/	/	底部不規則	底部上半	口縁部ナグ、体部V字形	外東ス状痕化物	
58	359	11	南仙北	DK5	215	38012	2	土器底	小型甕	80.1	-	11.5	12.4	12.0	7.0	/	/	/	/	底部不規則	底部V字形	口縁部ナグ、体部V字形	全体に半や堅薄	
68	360	11	南仙北	DK5	215	38012	3	土器底	甕	80.1	-	-	20.6	14.6	-	/	/	/	-	底部多孔隙底	体部V字形	口縁部ナグ		
浮遊										出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴			
探査	番号	年月 測定	遺跡名	施号	次数	遺構名	台標號	区分	器種	平面位置	座標	高さ	口径	体積	底径	口径/底径	口径/高さ	底径/高さ	外因	内因				
49	391	11	南仙北	DK5	218	P1	1	土器底	甕	瑞士上部	-	2.5	10.2	-	8.0	1.7	2.9	-	ヘラスガキ	ヘラスガキ、黑色鉛		外東半や堅薄		
59	392	-	南仙北	DK5	218	58120	1	土器底	甕	-	42	-	17.2	-	-	/	/	-	-	-	-	外東・内面自然端		
浮遊										出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴			
探査	番号	年月 測定	遺跡名	施号	次数	遺構名	台標號	区分	器種	平面位置	座標	高さ	口径	体積	底径	口径/底径	口径/高さ	底径/高さ	外因	内因				
70	393	12	南仙北	DK5	215	38017	2	土器底	甕	80.2	-	4.1	14.0	-	8.0	1.8	2.4	-	ヘラスガキ	ヘラスガキ、黑色鉛		外東半や堅薄		
70	394	12	南仙北	DK5	215	38017	3	土器底	甕	80.1	-	-	10.2	-	18.2	/	/	-	-	口縁部コニニアハケ	口縁部ナグ、体部ハケ	外東ス状痕化物	全体に半や堅薄	
浮遊										出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴			
71	395	-	南仙北	DK5	218	583001	4	土器底	甕	カマド焼付窯	1	-	20.6	19.8	-	/	/	/	-	底部V字形	底部V字形	口縁部ナグ、体部ハケ	地土に黒色含む	
71	396	11	南仙北	DK5	218	583001	5	土器底	小型甕	カマド焼付窯	-	18.3	15.4	14.5	9.5	/	/	-	-	底部V字形	底部V字形	口縁部ナグ、体部ハケ	地土に黒色含む	
71	397	-	南仙北	DK5	218	583001	6	土器底	中型甕	カマド焼付窯	-	-	21.2	27.4	-	/	/	-	-	底部V字形	底部V字形	口縁部ナグ、体部ハケ	全体に半や堅薄	
浮遊										出土		寸法(cm)測定部・復元のみ						考察切面等	器物調査		量査等・特徴			
72	398	-	南仙北	DK5	212	38131	173	土器底	外	上部	底部	5.4	13.8	-	5.8	2.4	2.6	底部ヘラケズリ・再焼付	底部V字形	口縁部ナグ、体部ハケ	地土に黒色含む			
72	399	12	南仙北	DK5	212	38131	142	土器底	外	底部	6	4.3	14.8	-	8.0	2.8	3.0	底部系切後ヘラケズリ	底部V字形	ヘラスガキ、黑色鉛				
72	400	-	南仙北	DK5	212	38131	159	土器底	外	底部	8	5.2	15.0	-	5.5	2.7	2.9	底部系切無	底部V字形					
72	401	12	南仙北	DK5	212	38131	170	土器底	外	底部	10	4.1	16.4	-	8.0	2.8	3.3	底部系切無	底部V字形					
72	402	-	南仙北	DK5	212	38131	175	土器底	外	底部	12	4.8	15.6	-	8.0	2.5	3.1	底部系切無	底部V字形					
72	403	12	南仙北	DK5	212	38131	203	土器底	内	底部	-	4.1	16.6	-	9.8	2.7	3.2	底部系切無	底部V字形					

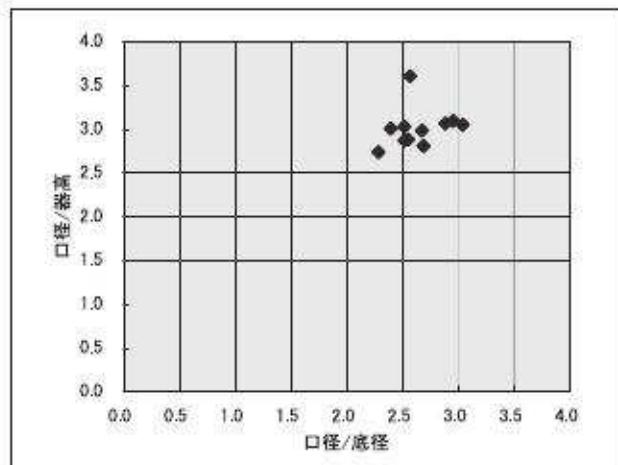
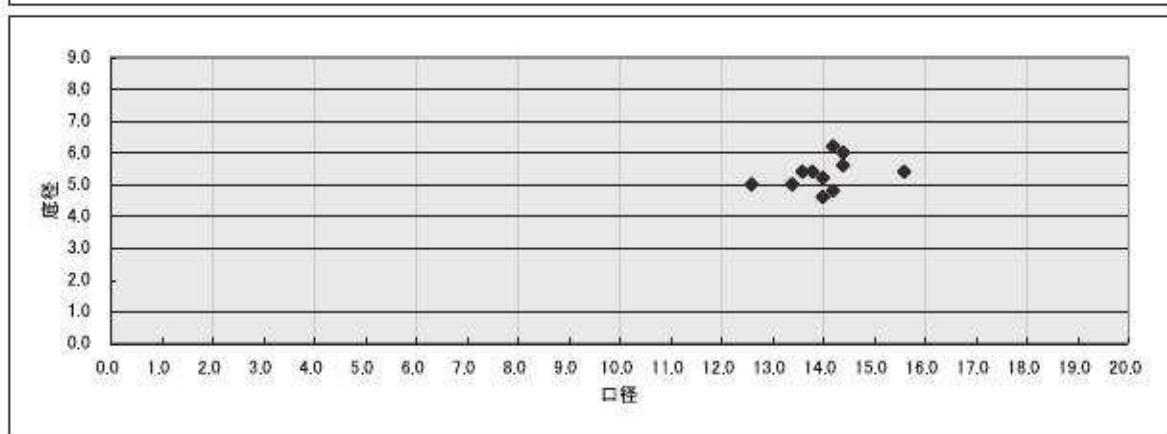
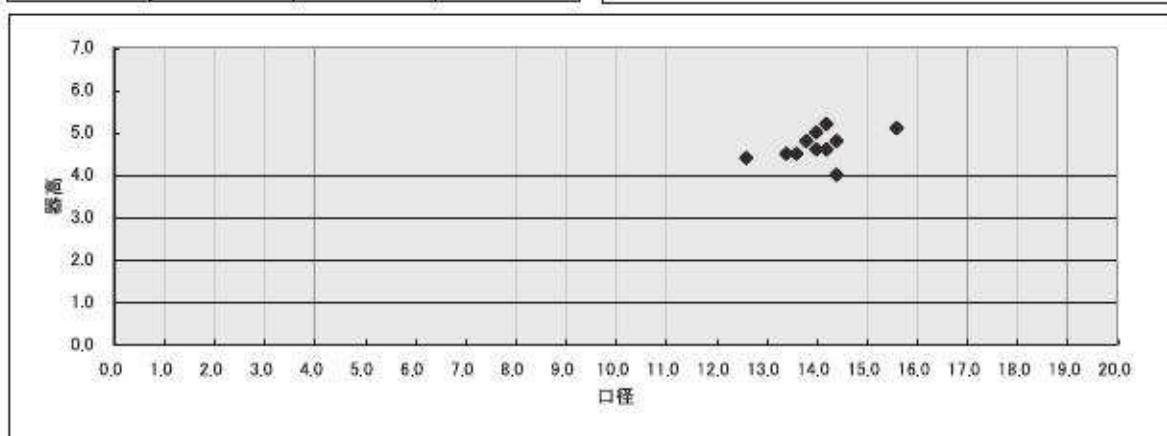
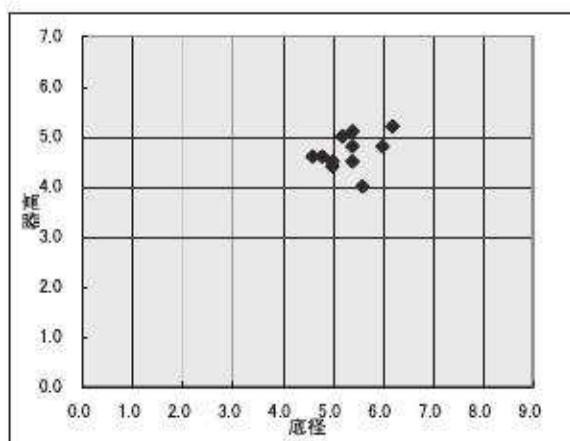
第23表 南仙北遺跡第15・28・30・32・35次調査出土土器観察表

坏 [29点]	最大值(cm)	最小值(cm)	平均值(cm)
器高	6.1	3.9	4.8
口径	17.8	13.0	14.4
底径	8.2	4.0	5.8
口径/底径	3.6	1.8	2.5
口径/器高	3.5	2.5	3.0



第24表 本宮熊堂B遺跡第12次調査出土坏検討表

坏 [11点]	最大值(cm)	最小值(cm)	平均值(cm)
器高	5.2	4.0	4.7
口径	15.6	12.6	14.0
底径	6.2	4.6	5.3
口径/底径	3.0	2.3	2.6
口径/器高	3.6	2.7	3.0



第25表 野古A遺跡第11次調査RA008～011出土坏検討表

写 真 図 版



本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A O 2 7 出土土器（平安時代）



本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A O 3 0 出土土器（平安時代）

第 1 図版 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土遺物



001 R A O 27 (土器器坏)



003 R A O 27 (あかやき土器坏)



005 R A O 27 (あかやき土器坏)



013 R A O 27 (あかやき土器高台付坏)



017 R A O 27 (あかやき土器麿)



018 R A O 27 (あかやき土器麿)



021 R A O 27 (あかやき土器麿)



024 R A O 28 (土師器环)



029 R A O 29 (あかやき土器环)





031 R A O 3 0 (土師器坏)



034 R A O 3 0 (土師器大型坏)



035 R A O 3 0 (あかやき土器坏)



041 RAO 30 (あかやき土器環)



045 RAO 30 (あかやき土器高台付环)



048 RAO 30 (須恵器甕)



野古A遺跡第6次調査RA005出土土器（奈良時代）



野古A遺跡第11次調査RA008・009・010出土土器（平安時代）

第6図版 野古A遺跡第6次・11次調査出土遺物



050 RA005 (あかやき土器鉢)



051 RA006 (土師器鉢)



052 RA006 (土師器鉢)



055 RA006 (土師器鉢)



057 RA006 (土師器鉢)

第7図版 野古A遺跡第6次調査出土遺物 (1)



058 R A O O 6 (土師器甕)



059 R A O O 6 (土師器甕)



061 R A O O 6 (土師器球腹甕)

第8図版 野古A遺跡第6次調査出土遺物 (2)



062 R A O 0 8 (土師器坏)



068 R A O 0 9 (土師器坏)



069 R A O 0 9 (土師器坏)



070 R A O 0 9 (あかやき土器高台付坏)



072 R A O 1 0 (土師器壊)



085 R A O 1 2 (土師器壺)

第 10 図版 野古 A 遺跡第 11 次調査出土遺物 (2)



088 第15次RAO12（土師器壺）



089 第15次RAO12（土師器壺）



090 第15次RAO12（土師器壺）



091 第28次P1（土師器壺）



096 第30次RA3001（土師器壺）

第11図版 南仙北遺跡第15次・28次・30次調査出土遺物



099 RG 131 (須恵器坏)



101 RG 131 (須恵器坏)



103 調査区南西 (須恵器坏)

第 12 図版 南仙北遺跡第 32 次調査出土遺物



093 R A O 17 (土師器壊)



094 R A O 17 (土師器壊)

第 13 図版 南仙北第 35 次調査出土遺物



011 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A 0 2 7
墨書「田」(あかやき土器坏)



027 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A 0 2 8
墨書「(不明)」(あかやき土器坏)



064 野古 A 遺跡第 11 次調査 R A 0 0 8
墨書「(不?)」(あかやき土器坏)



061 野古 A 遺跡第 11 次調査 R A 0 0 8
刻書「△」(土師器坏)

第 14 図版 墨書・刻書土器

幸枝 今吉・書類少金表

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはっくつちょうさほうこく2							
書名	盛岡地区遺跡群発掘調査報告書II							
副書名	盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5~12年度発掘調査② 稲荷遺跡、本宮熊堂A遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡、飯岡沢田遺跡、飯岡才川遺跡、向中野館遺跡、細谷池遺跡、矢盛遺跡、南仙北遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市教育委員会 遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 Tel019-635-6600							
発行年月日	2009年3月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 度	東経 度	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いとうわいせき 稻荷遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 49°	141° 7' 41'	1次:1994.5.30-11.7 2次:1996.4.22	2,143 234	土地区画整理事業等
いとうわいせき 本宮熊堂 A 遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 41° 19°	141° 8' 8"	2次:1994.11.7-12.9 2補:1996.5.14-5.16	2,835 1,679	
いとうわいせき 本宮熊堂 B 遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 21° 30°	140° 45' 40"	3次:1995.9.18-9.21 3補:1996.4.23-5.7 8次:1995.5.10-6.30 12次:2000.10.20-11.29	2,759 3,422 1,289 1,663	
いとうわいせき 野古 A 遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 45°	141° 8' 4"	6次:1993.10.4-10.29 6補:1994.8.17-9.13 7次:1994.11.7-12.9 8次:1996.4.8-4.16 11次:2000.8.21-9.30	計550 2,602 4,442 1,080	
いとうわいせき 飯岡沢田遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 42°	141° 8' 13"	1次:1995.9.21-9.22 2次:1996.10.28-11.1	384 2,965	
いとうわいせき 飯岡才川遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 44°	141° 8' 0"	1次:1996.7.24-8.2, 11.5-11.11	5,672	
いとうわいせき 向中野館遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 41°	141° 8' 19"	1次:1995.9.25-9.29 2次:1996.11.14-11.15	991 110	
いとうわいせき 細谷地遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 42°	141° 8' 19"	2次:1996.11.14-11.15	975	
いとうわいせき 矢盛遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 27°	141° 8' 5"	2次:1999.8.26-9.2	131	
いとうわいせき 南仙北遺跡	岩手県盛岡市	03201		39° 40° 37°	141° 8' 53"	15次:1995.8.8-8.11 16次:1995.9.28-10.6 17次:1995.12.19 22次:1996.11.11-11.15 23次:1996.11.20-11.21 24次:1996.12.16 27次:1998.4.6-4.17 28次:1998.4.6-4.13 30次:1998.6.18-7.30 31次:1998.7.6-7.10 32次:1999.9.6-9.30 35次:2000.6.8-6.22	77 1,445 94 59 108 7 346 732 362 517 550 145	

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
稻荷遺跡 第1次調査	集落	古代	土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第2次調査		古代	土坑, 溝跡		試掘確認調査
本宮熊堂A遺跡 第2次調査	集落	縄文 古代	土坑, 溝跡, 柱穴	晩期土器	試掘確認調査
第2次補足調査		縄文 古代	遺物包含層 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
本宮熊堂B遺跡 第3次調査	集落	古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第3次補足調査		古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第8次調査		古代以降	溝跡5, 遺物包含層	土師器, 須恵器, あかやき土器	
第12次調査		平安時代	堅穴住居跡5, 柱穴, 遺物包含層	土師器, 須恵器, あかやき土器	墨書き器「田」
野古A遺跡 第6次・6次補足調査	集落	奈良時代 平安時代 古代	堅穴住居跡1 堅穴住居跡1, 挖立柱建物跡2 堅穴住居跡1, 土坑11, 溝跡1, 円形周溝1, 壓穴状遺構1, 柱穴	土師器 土師器, 須恵器, あかやき土器 土師器, 須恵器, あかやき土器	
第11次調査		奈良時代 平安時代 古代	堅穴住居跡3 堅穴住居跡4 土坑2, 溝跡7	土師器 土師器, 須恵器, あかやき土器	
飯岡沢田遺跡 第1次調査	集落		なし		試掘確認調査
第2次調査		古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
飯岡才川遺跡 第1次調査	集落	古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 円形周溝, 柱穴		試掘確認調査
向中野館遺跡 第1次調査	集落	古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第2次調査		古代	堅穴住居跡, 土坑, 遺物包含層		試掘確認調査
細谷地遺跡 第1次調査	集落	古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡		試掘確認調査
矢盛遺跡 第2次調査	集落	近世以降	柱列跡1, 溝跡3, 柱穴		
南仙北遺跡 第15次調査	集落	縄文時代 奈良時代	陥し穴跡1 堅穴住居跡1	土師器	口縁多条沈銀甕
第16次調査		古代	土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第17次調査		古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査
第22次調査		古代	堅穴住居跡1		
第23次調査		古代	堅穴住居跡, 土坑, 溝跡		試掘確認調査
第24次調査		古代	土坑		試掘確認調査
第27次調査		古代以降	挖立柱建物跡1, 土坑7, 溝跡4, 方 形周溝1, 柱穴	あかやき土器	
第28次調査		縄文時代 古代以降	陥し穴跡1 土坑3, 溝跡3	土師器, 須恵器	
第30次調査		奈良時代 古代 古代以降	堅穴住居跡1 堅穴住居跡1 土坑1, 溝跡3	土師器	
第31次調査		古代	溝跡3	須恵器, あかやき土器	試掘確認調査
第32次調査		平安時代 古代以降	溝跡2 土坑1, 溝跡15	土師器, 須恵器, あかやき土器	
第35次調査		縄文時代 奈良時代 古代	陥し穴跡1 堅穴住居跡1 土坑2, 柱穴	土師器	
要 約		盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延喜2年(803)に豪族が造営した古代城壁「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。本書掲載のうち特に、本宮熊堂B遺跡東部に位置する第12次調査では平安時代9世紀後半の堅穴住居跡が、野古A遺跡東部に位置する第6次・11次調査では奈良時代8世紀前半の堅穴住居跡・土坑墓及び平安時代10世紀前半の堅穴住居跡・円形周溝墓等が確認された。平安時代の遺構からは墨書き土器・刻書き土器が出土しており、盛南地区遺跡群全体でのそれらの出土の多さは、志波城造営以後の在地エミシ集団(俘囚)と朝廷による律令統治との関係の一端を示すものと考えられた。			

盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅱ

-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5~12年度発掘調査(2)-

稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・

飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・

細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡

平成21年3月15日

編集 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1

電話 019-635-6600 フックス 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html>

発行 独立行政法人都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 株式会社橋本印刷

〒020-0015 岩手県盛岡市本町通一丁目15-29